

令和5年度 若草園増築改修・三日町保育園増築工事

図面リスト

D- 1	建築本体工事 特記仕様書 1		S- 1	構造設計標準仕様		E- 1	電気設備工事 特記仕様書
D- 2	建築本体工事 特記仕様書 2		S- 2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図		E- 2	照明器具姿図・分電盤図 若草園増築改修
D- 3	配置図 案内図 敷地求積図	若草園増築改修	S- 3	木構造 特記仕様書 1		E- 3	電灯設備図 若草園増築改修
D- 4	配置図・申請外敷地関係図	若草園増築改修 三日町保育園増築工事	S- 4	木構造 特記仕様書 2		E- 4	非常用照明設備図 若草園増築改修
D- 5	面積表及び求積図	若草園増築改修	S- 5	基礎伏図 基礎詳細図	若草園増築改修	E- 5	コンセント設備図 若草園増築改修
D- 6	仕上表	若草園増築改修 三日町保育園増築工事	S- 6	床伏図	若草園増築改修	E- 6	自動火災報知設備図 若草園増築改修
D- 7	全体平面図	若草園増築改修	S- 7	梁伏図・小屋伏図	若草園増築改修		
D- 8	増築部平面詳細図	若草園増築改修	S- 8	壁量算定図	若草園増築改修	EM-1	三日町保育園電灯設備図・コンセント設備図 照明器具姿図・分電盤図
D- 9	既存改修部分詳細図	若草園増築改修	S- 9	接合金物位置図	若草園増築改修		
D-10	立面図	若草園増築改修					
D-11	断面図	若草園増築改修					
D-12	矩計詳細図	若草園増築改修					
D-13	天井伏図	若草園増築改修					
D-14	屋根伏図	若草園増築改修				M- 1	機械設備工事 特記仕様書
D-15	法規チェック表	若草園増築改修	DM- 1	三日町保育園増築工事平面図・立面図・矩計図		M- 2	給排水衛生雨水排水設備図 若草園増築改修
D-16	法規チェック表 2	若草園増築改修	DM- 2	三日町保育園構造図		M- 3	冷暖房設備図 若草園増築改修
D-17	展開図 1	若草園増築改修					
D-18	展開図 2	若草園増築改修					
D-19	建具家具キープラン	若草園増築改修 三日町保育園増築工事					
D-20	建具表	若草園増築改修 三日町保育園増築工事				M- 5	三日町保育園設備図 三日町保育園増築工事
D-21	家具表	若草園増築改修 三日町保育園増築工事					
D-22	外構図(工事全体計画図)	若草園増築改修 三日町保育園増築工事					
D-23	水路位置・フェンス位置図						

建築工事 特記仕様書

1 工事概要
2 工事名称 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事
3 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町三日町
4 用途地域等 都市計画区域(内・外)用途地域(無指定)
5 主要用途 児童福祉施設等(保育園)・・・[081810]
6 敷地面積 m²
7 工事の概要 増築 木造(在来工法) 平屋建て
8 着工前の提出 青(白)焼細小(A3版)2つ折製本2部、青(白)焼(A2版)2つ折製本1部を工事打合せとして提出のこと
9 別送工事
10 特記仕様書の範囲

13. 特別な材料の工法
14. 建築基準法による風圧力等の指定
15. 設計 G.L.
16. 技能士

表: 特記仕様項目表. 項目: 1. 適用基準等, 2. 工事実績情報の登録, 3. 施工体制, 4. 発材の処理等.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 5. 電気保安技術者, 6. 施工条件, 7. 公害対策, 8. 安全対策, 9. 環境対策, 10. 工事現場のイメージアップ, 11. 事故報告, 12. 建築材料等.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 13. 設備工事との取合い, 14. 火災保険等, 15. 公共事業労務費調査に対する協力, 16. 完成写真.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 17. 工事経過記録, 18. 完成図等, 19. 完成写真, 20. 設備工事との取合い, 21. 火災保険等, 22. 公共事業労務費調査に対する協力.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 23. 不法無線局の排除, 24. 仮囲い, 25. 仮囲い, 26. 仮囲い, 27. 仮囲い, 28. 仮囲い, 29. 仮囲い, 30. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 31. 仮囲い, 32. 仮囲い, 33. 仮囲い, 34. 仮囲い, 35. 仮囲い, 36. 仮囲い, 37. 仮囲い, 38. 仮囲い, 39. 仮囲い, 40. 仮囲い.

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacvtv.ne.jp

普通合板, 複合フローリング等
ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
測定は, 測定する者及び使用する測定機器等の測定仕様等に定めるもの他, 以下のとおりとする.

表: 適用工事. 適用工事: 建築基準法の指定, 建築基準法の指定.

表: 図示. 図示: 現状平均地盤高.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 17. 工事経過記録, 18. 完成図等, 19. 完成写真, 20. 設備工事との取合い, 21. 火災保険等, 22. 公共事業労務費調査に対する協力.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 23. 不法無線局の排除, 24. 仮囲い, 25. 仮囲い, 26. 仮囲い, 27. 仮囲い, 28. 仮囲い, 29. 仮囲い, 30. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 31. 仮囲い, 32. 仮囲い, 33. 仮囲い, 34. 仮囲い, 35. 仮囲い, 36. 仮囲い, 37. 仮囲い, 38. 仮囲い, 39. 仮囲い, 40. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 41. 仮囲い, 42. 仮囲い, 43. 仮囲い, 44. 仮囲い, 45. 仮囲い, 46. 仮囲い, 47. 仮囲い, 48. 仮囲い, 49. 仮囲い, 50. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 51. 仮囲い, 52. 仮囲い, 53. 仮囲い, 54. 仮囲い, 55. 仮囲い, 56. 仮囲い, 57. 仮囲い, 58. 仮囲い, 59. 仮囲い, 60. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 61. 仮囲い, 62. 仮囲い, 63. 仮囲い, 64. 仮囲い, 65. 仮囲い, 66. 仮囲い, 67. 仮囲い, 68. 仮囲い, 69. 仮囲い, 70. 仮囲い.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 71. 仮囲い, 72. 仮囲い, 73. 仮囲い, 74. 仮囲い, 75. 仮囲い, 76. 仮囲い, 77. 仮囲い, 78. 仮囲い, 79. 仮囲い, 80. 仮囲い.

3. 建設発生土の処理
4. 山留め
5. 濁水・湧水処理対策

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 1. 既成コンクリート杭地盤, 2. 掘削打撃併用工法, 3. 鋼管杭, 4. 地盤改良.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 5. 杭の載荷試験, 6. 地盤の載荷試験, 7. 床下防潮層, 8. 土間コン断熱材.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 9. 砂利地盤, 10. 鉄筋の種類, 11. 溶接金網, 12. 鉄筋の継手, 13. 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 14. 杭頭の補強, 15. 柱の帯筋, 16. はり貫通孔の補強, 17. 圧接完了後の接取試験.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 18. 設計基準強度, 19. レーダーミックスコンクリート, 20. スランプ, 21. 打放し仕上げの種類.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 22. セメントの種類, 23. 型枠, 24. 軽量コンクリート, 25. 寒中コンクリート, 26. 無筋コンクリート.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 27. 流動化コンクリート, 28. 鉄筋の製作工場, 29. 施工管理技術者, 30. 鋼材の種類.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 31. 鉄筋の製作工場, 32. 鋼材の種類, 33. 鋼材の種類.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 34. 鋼材の種類, 35. 鋼材の種類, 36. 鋼材の種類.

4. 高力ボルト
5. 溶接部の試験
6. 錆止め塗装
7. 耐久措置

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 8. アンカーボルトの保持及び埋込み工法, 9. 柱底均しモルタル, 10. 溶融亜鉛めっき.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 1. 補強コンクリートブロック造, 2. コンクリートブロック塀壁及び塀, 3. A.L.Cパネル.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 3. 押し出し成形セメント板, 4. アスファルト防水.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 5. 防水保証, 6. 防水保証, 7. 防水保証.

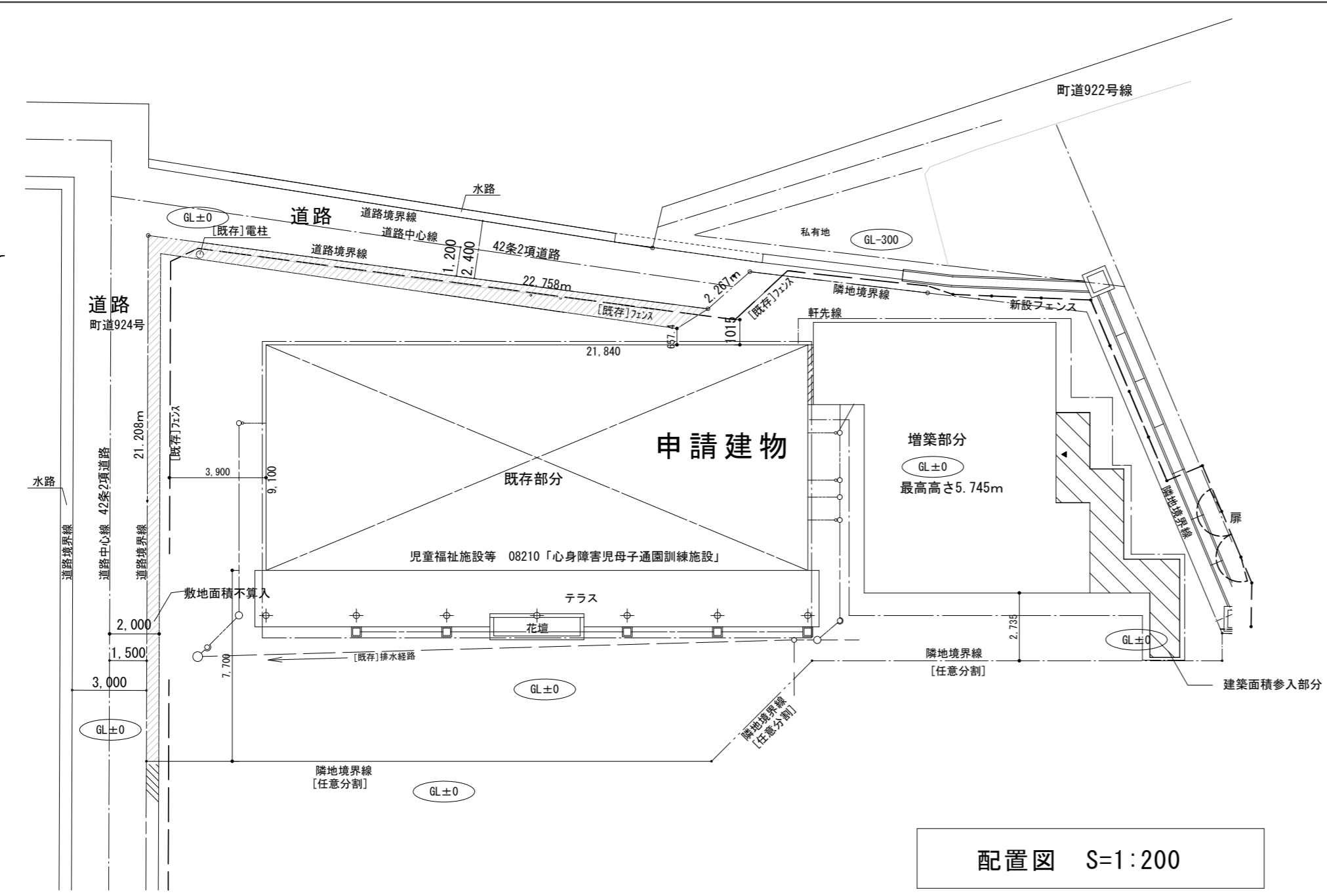
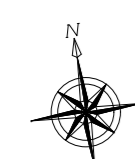
表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 8. 防水保証, 9. 防水保証, 10. 防水保証.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 11. 防水保証, 12. 防水保証, 13. 防水保証.

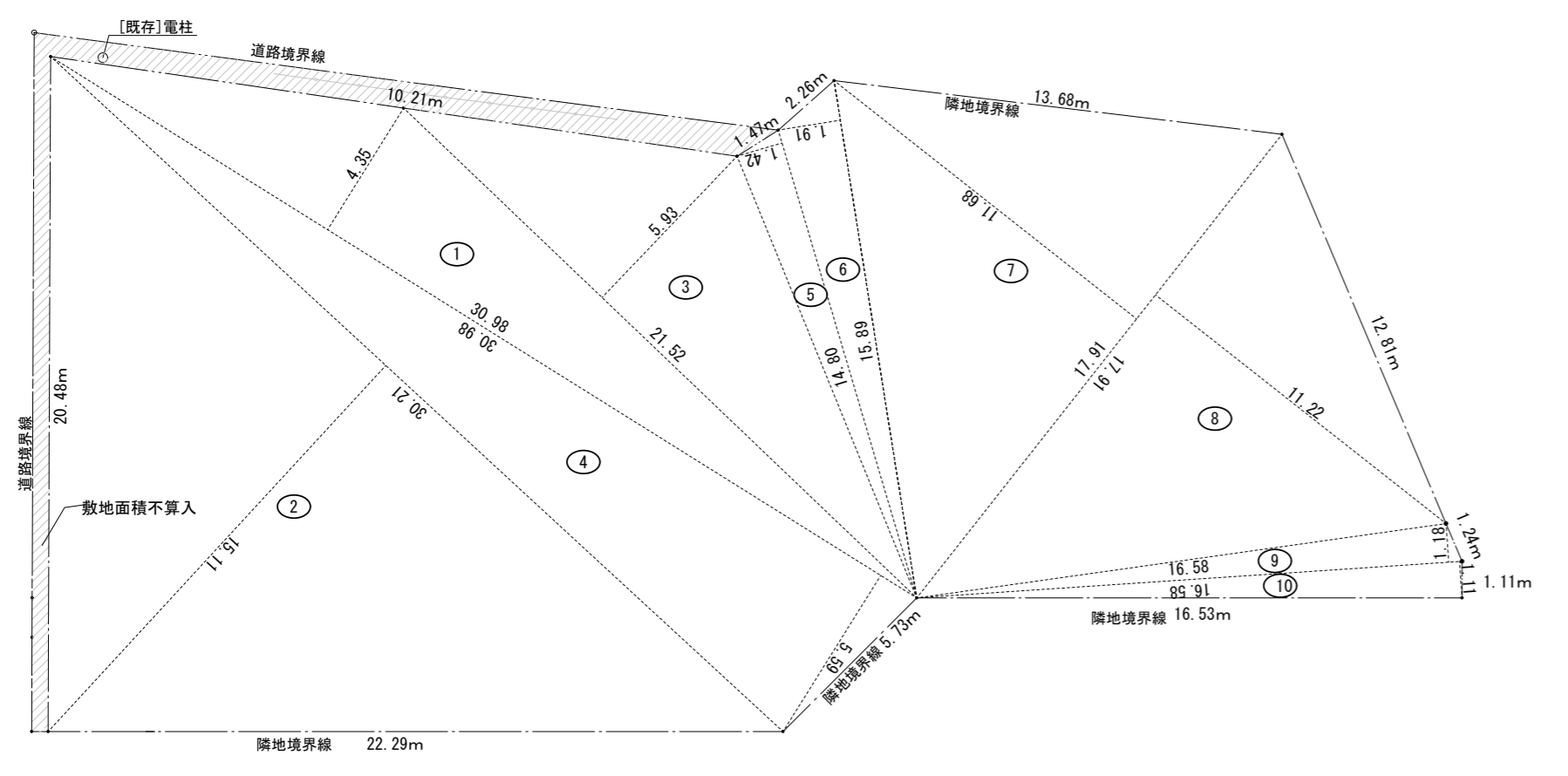
表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 14. 防水保証, 15. 防水保証, 16. 防水保証.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 17. 防水保証, 18. 防水保証, 19. 防水保証.

表: 特記仕様項目表 (続). 項目: 20. 防水保証, 21. 防水保証, 22. 防水保証.



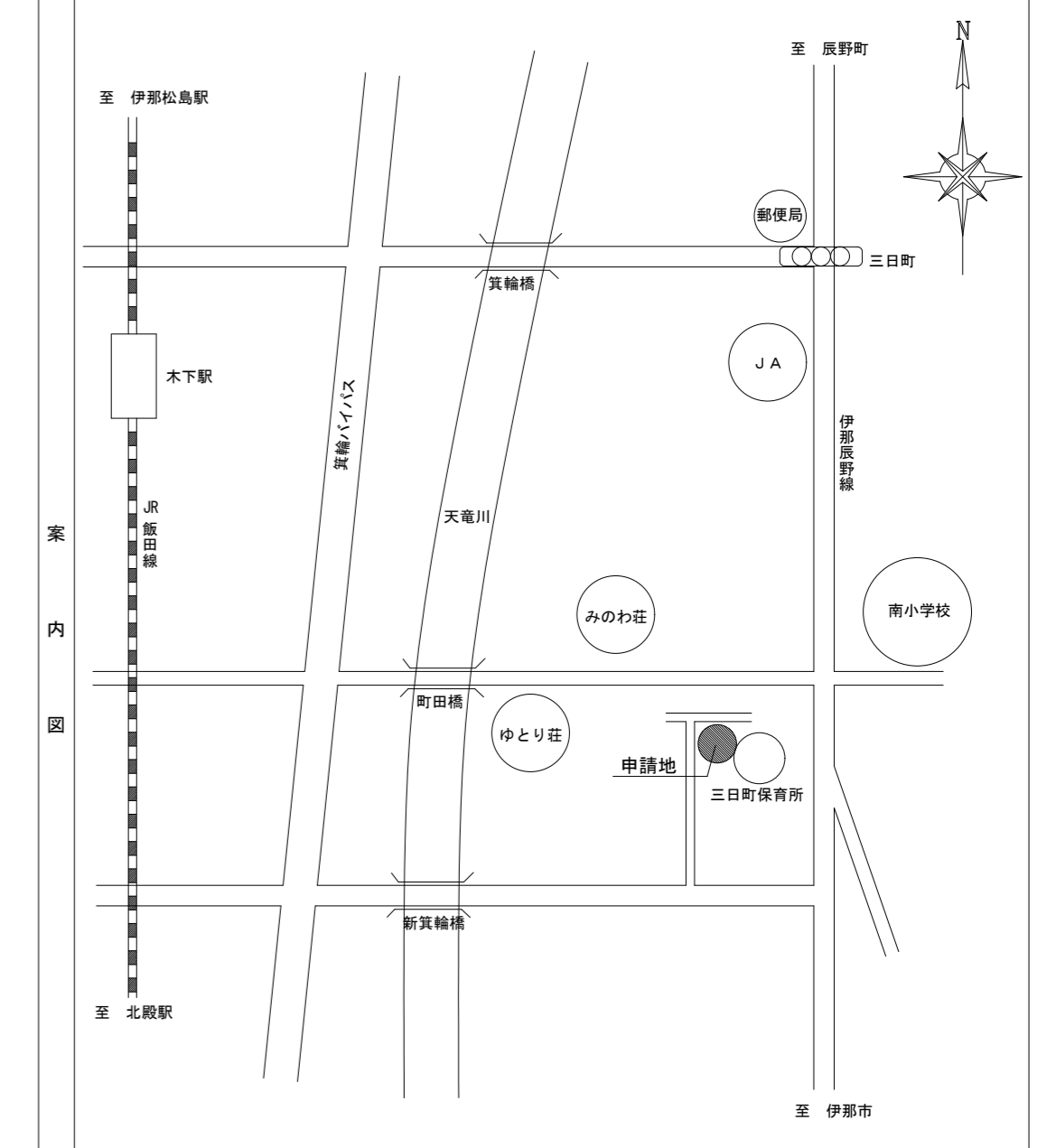
配置図 S=1:200



敷地面積求積図

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	30.98	4.35	134.7630	67.38150
2	30.21	15.11	456.4731	228.23655
3	21.52	5.93	127.6136	63.80680
4	30.98	5.59	173.1782	86.58910
5	14.80	1.42	21.0160	10.50800
6	15.89	1.91	30.3499	15.17495
7	17.91	11.68	209.1888	104.59440
8	17.91	11.22	200.9502	100.47510
9	16.58	1.18	19.5644	9.78220
10	16.58	1.11	18.4038	9.20190
合計				695.75050
敷地面積				695.75 m ²

工事名		令和4年度 若草園増築工事		
建築主	箕輪町長 白鳥政徳			
住所	上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 10298			
建築場所	上伊那郡 箕輪町 大字三日町 1456(内)			
用途地域	指定なし			
防火地域	指定なし			
43条許可	有	無		
道路後退	有	無		
日影制限	有	無		
主要用途	児童福祉施設等 (08210) [心身障害児母子通園訓練施設] --- 特殊建築物 [建築基準法 別表第1-(2)] [消防法 別表第1-(6)-ハ]			
工事種別	増築			
耐火建築物	その他の建築物			
構造	木造 (在来工法)			
階数	1 階			
最高高さ	5.745 m			
最高軒高	3.300 m			
階高	---			
居室の床高	0.30 m			
除却部分面積	---			
建ぺい率の上限	70 % (基準 60 %)			
容積率の上限	200 %			
前面道路幅員	4.0 m (現況: 3.0 m)			
敷地に接する道路の長さ	30.7m			
敷地面積	695.75 m ²			
面積 (m ²)	建築面積	申請部分	既存部分	合計
		114.78	238.49	353.27
	2階床面積	---	---	---
	1階床面積	96.78	198.74	295.52
	延床面積	96.78	198.74	295.52
	自動車庫等	---	---	---
	容積率算定面積	295.52		
	建ぺい率	50.77%		
	容積率	42.47 %		



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265 - 79 - 2685 Fax 0265 - 79 - 2685

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・4
Scale 1/200

Title 令和5年度 若草園増築改修
・三日町保育園増築工事

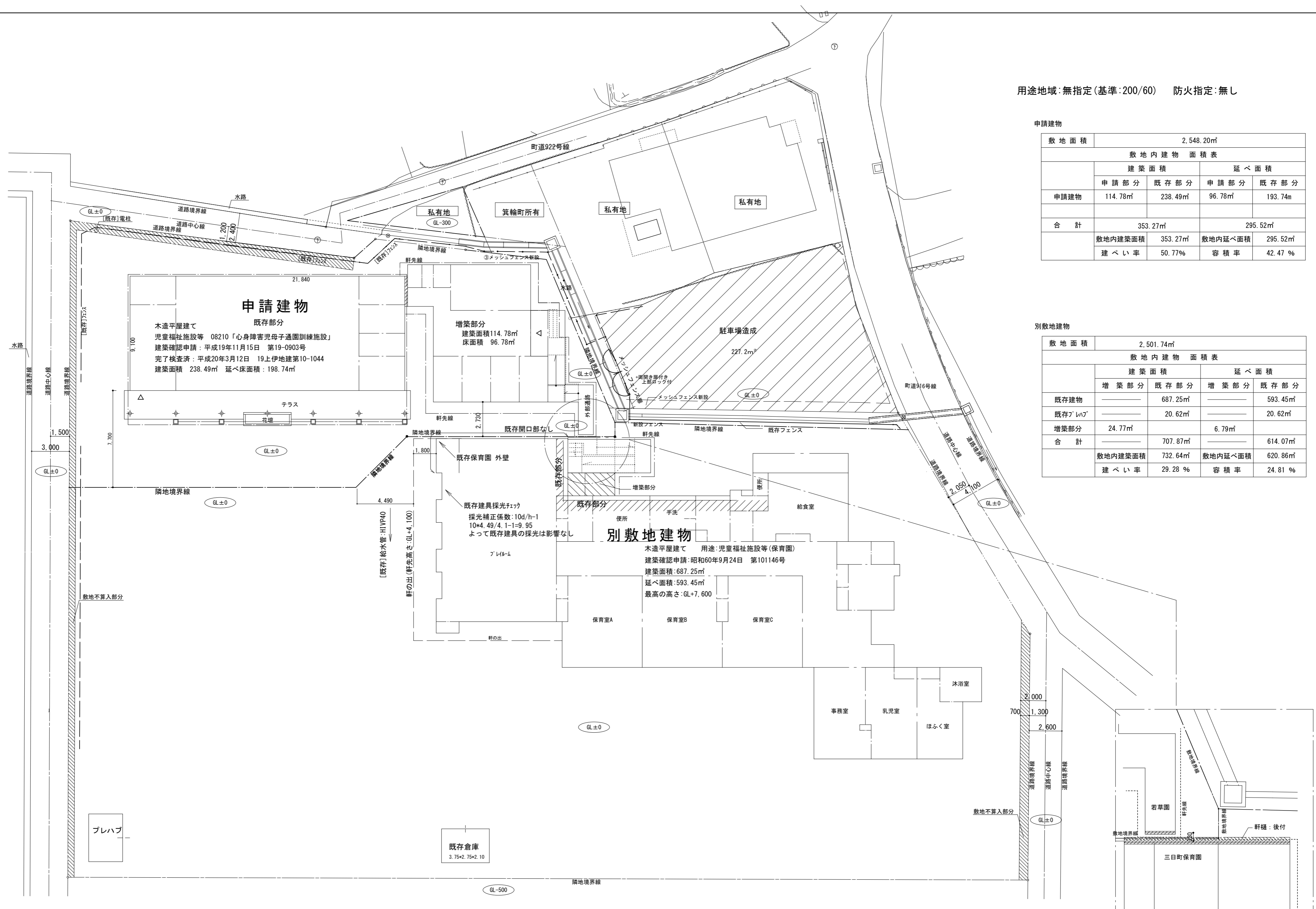
Drawing Title 若草園増築改修
配置図・案内図・敷地求積図

Sheet No. D-03 / D-22
整理番号 23001

用途地域：無指定(基準:200/60) 防火指定：無し

申請建物		敷地内建物面積表			
敷地面積	2,548.20㎡				
	建築面積		延べ面積		
	申請部分	既存部分	申請部分	既存部分	
申請建物	114.78㎡	238.49㎡	96.78㎡	193.74㎡	
合計	353.27㎡		295.52㎡		
	敷地内建築面積		敷地内延べ面積		
	353.27㎡		295.52㎡		
	建ぺい率		容積率		
	50.77%		42.47%		

別敷地建物		敷地内建物面積表			
敷地面積	2,501.74㎡				
	建築面積		延べ面積		
	増築部分	既存部分	増築部分	既存部分	
既存建物		687.25㎡		593.45㎡	
既存プレハブ		20.62㎡		20.62㎡	
増築部分	24.77㎡		6.79㎡		
合計		707.87㎡		614.07㎡	
	敷地内建築面積		敷地内延べ面積		
	732.64㎡		620.86㎡		
	建ぺい率		容積率		
	29.28%		24.81%		



2申請関係 配置図 SCALE 1/200

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-horiii@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 設計担当者
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

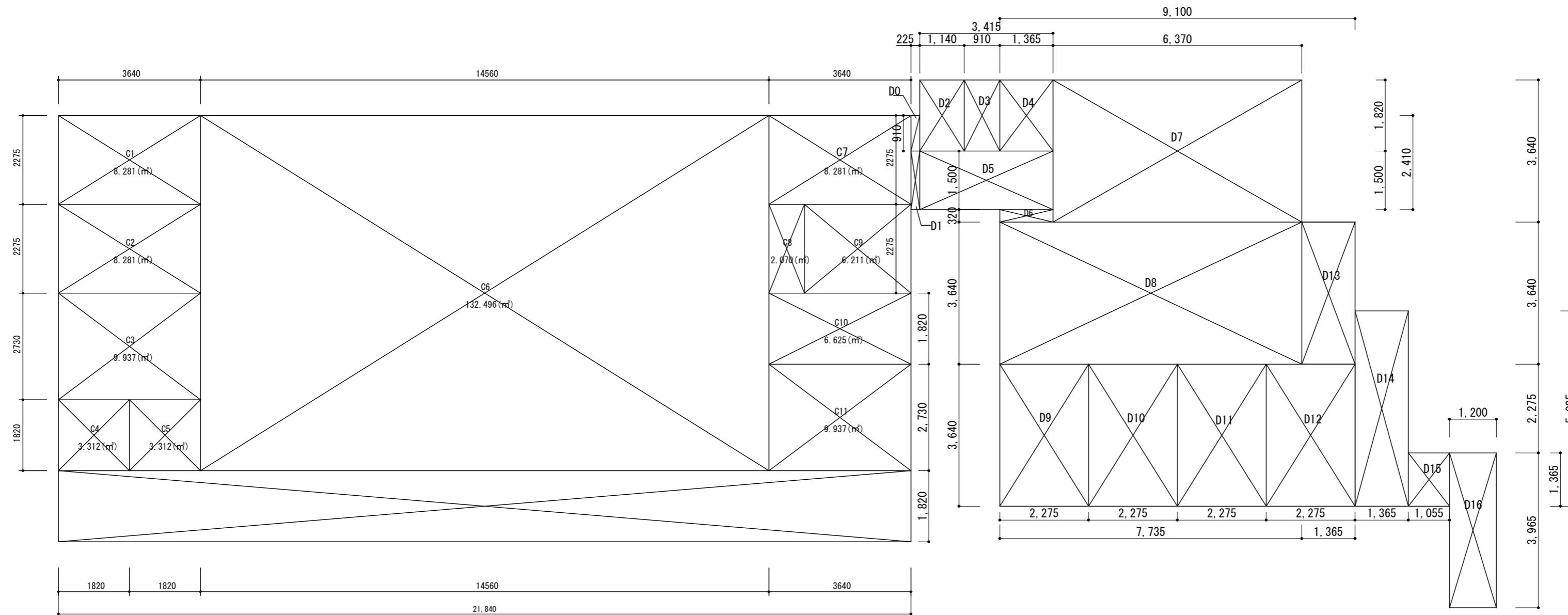
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・2
 Scale 1/200

Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

Drawing Title 配置図・申請外敷地関係図
 Sheet No. D-04 / D-22
 整理番号 23001

本図面はA2作成(100%印刷) A3図面(70.7%)→141.4%(A2) A4印刷(50%)



既存部分 床面積根拠表

No	計算式 (m)	面積 (㎡)
C1	3.640 × 2.275	8.281000
C2	3.640 × 2.275	8.281000
C3	3.640 × 2.730	9.937200
C4	1.820 × 1.820	3.312400
C5	1.820 × 1.820	3.312400
C6	14.560 × 9.100	132.496000
C7	3.640 × 2.275	8.281000
C8	0.910 × 2.275	2.070250
C9	2.730 × 2.275	6.210750
C10	3.640 × 1.820	6.624800
C11	3.640 × 2.730	9.937200
合計		198.744 (198.744000)

既存部分 建築面積根拠表

No	計算式 (m)	面積 (㎡)
C1~C11		198.744000
C12	21.840 × 1.820	39.748800
合計		238.492 (238.4928)

増築部分 床面積根拠表

No	計算式 (m)	面積 (㎡)
D0	0.225 × 0.910	0.20475
D1	0.225 × 2.410	0.54225
D2	1.140 × 1.820	2.0748
D3	0.910 × 1.820	1.6562
D4	1.365 × 1.820	2.4843
D5	3.415 × 1.500	5.1225
D6	1.365 × 0.320	0.4368
D7	6.370 × 3.640	23.1868
D8	7.735 × 3.640	28.1554
D9	2.275 × 3.640	8.281
D10	2.275 × 3.640	8.281
D11	2.275 × 3.640	8.281
D12	2.275 × 3.640	8.281
合計		96.78 (96.78305)

増築部分 床面積根拠表

No	計算式 (m)	面積 (㎡)
D1~D12		96.78305
D13	1.365 × 3.640	4.9686
D14	1.365 × 5.005	6.831825
D15	1.055 × 1.365	1.440075
D16	1.200 × 3.965	4.758
合計		114.78 (114.7816)

部屋別面積表

部屋名	部	面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
事務室	D7	23.1868	23.1868
更衣室	D4	2.4843	2.4843
ホール	D8	28.1554	28.1554
廊下	D1+D5+D6	5.8968	5.8968
小集団活動室A	D12	8.281	8.281
小集団活動室B	D11	8.281	8.281
個別療育相談室A	D10	8.281	8.281
個別療育相談室B	D9	8.281	8.281
トイレ1	D2	2.0748	2.0748
トイレ2	D3	1.6562	1.6562
接続部隠蔽	D0	0.20475	0.20475
合計		96.78305	96.78 (96.78305)

既存部分床面積	198.74㎡	既存部分建築面積	238.49㎡
増築部分床面積	96.78㎡	増築部分建築面積	114.78㎡
延べ床面積	295.52㎡	建築面積	353.27㎡

敷地面積	695.75 m ²	容積率	42.47%
容積率の上限	200 %	建ぺい率	50.77%
建ぺい率の上限	70 % (基準 60 %)		

若草園増築工事

外部仕上表

Table with 5 columns: 屋根, 破風, 樋, 軒裏, 下野屋根. Includes details for materials like 鋼板, 合板, and 断熱材 specifications.

内部仕上表

Large table with 12 columns: 階, 室名, 床, レベル, 巾木, 高さ, 下地, 壁, 廻り縁, 下地, 天井, 天井高, 備考. Contains detailed room specifications and material lists.

三日町保育園増築工事

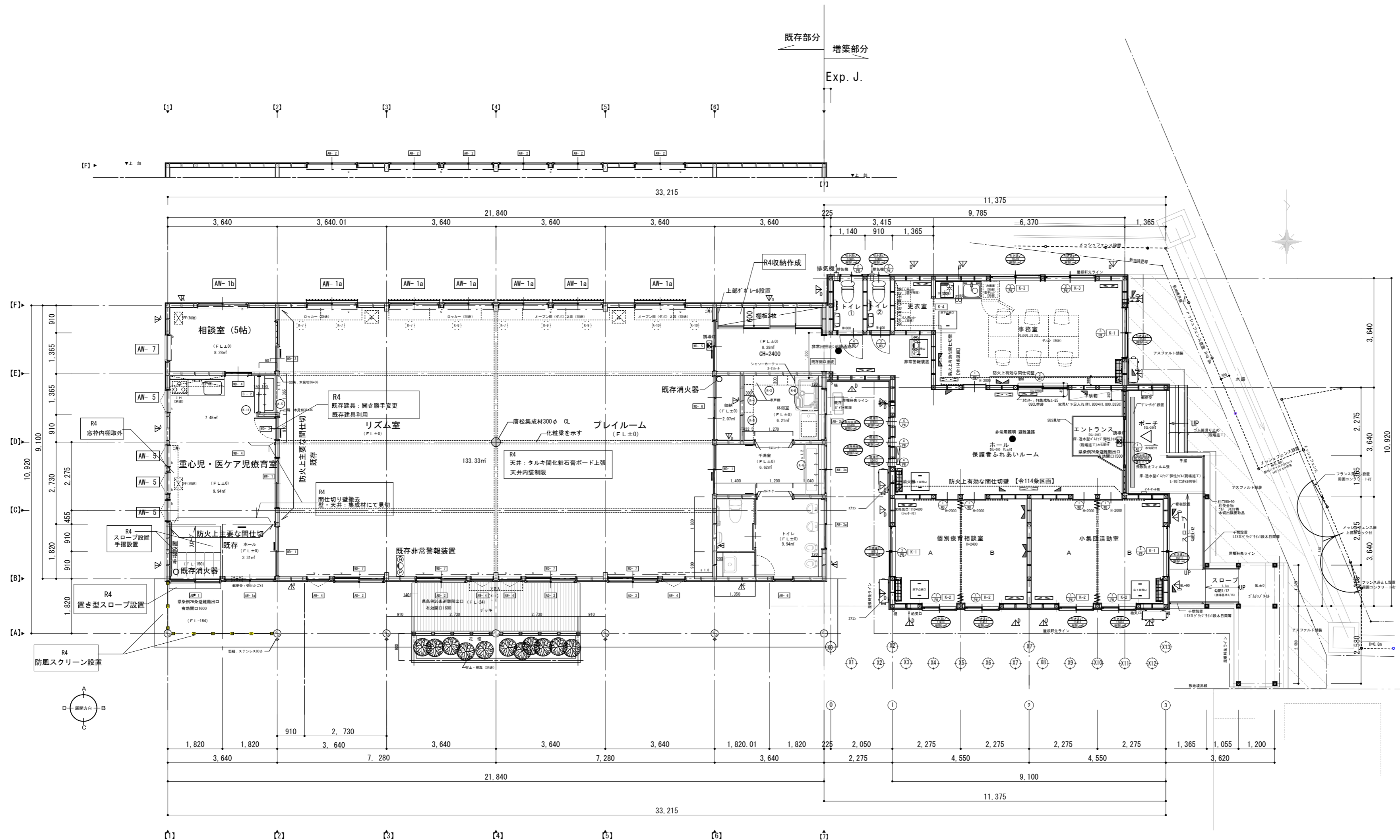
外部仕上表

Table with 5 columns: 屋根, 破風, 樋, 軒裏, 下野屋根. Includes details for materials like 鋼板, 合板, and 断熱材 specifications.

内部仕上表

Table with 12 columns: 階, 室名, 床, レベル, 巾木, 高さ, 下地, 壁, 廻り縁, 下地, 天井, 天井高, 備考. Contains detailed room specifications and material lists.

Project information block including company name (Horiguchi Architect & Associates), address, contact info, and drawing title (仕上表).



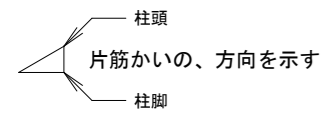
* 既存部分における工事範囲 囲みを今回同時工事

県条例26条
 ※避難階出口2以上
 ※避難階における居室の各部分から屋外への出口までの歩行距離は、60m以下である。

記号	倍率	部位	仕 様	記号	倍率	部位	仕 様	記号	倍率	部位	仕 様
△A	2.5	外面	構造用合板 T=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)	△C	2.5	外面	構造用合板 T=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)	△E	2.5	片面	ガラス繊維混入石膏ボード T=12.5 耐力壁 (スカルビス: PS4032W合金 周囲@150 中間@150)
	2.5	内面	ガラス繊維混入石膏ボード T=12.5 耐力壁 (スカルビス: PS4032W合金 周囲@150 中間@150)		0.9	内面	石膏ボード T=12.5 (釘止: GNF40 or GNC40 周囲・中間@150)		0	片面	規制なし
△B	2.5	外面	構造用合板 T=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)	△D	2.5	外面	構造用合板 T=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)				
	2.5	内面	構造用合板 T=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)		0	内面	規制なし				

Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail: arc-hori1@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date R5・4 Scale 1/100	Title 令和5年度 若草園増築改修 ・三日町保育園増築工事	Drawing Title 若草園増築改修 全体平面図	Sheet No. D-07 / D-22 整理番号 23001
	本図面はA2作成 (100%印刷) A3図面 (70.7%) →141.4% (A2) A4印刷 (50%)					

- ◀ 凡例 ▶
- 柱 120×120 柱/KKD
 - スジカイ (45×90) シングル
 - スジカイ (45×90) ダブル
 - 外周部全面 構造用合板 t=9 耐力壁 (釘止: N50 周囲・中間@150)
 - 火災警報器



- シックハウス対策関係 凡例
- 換気機 □ シックハウス対策 24時間換気扇・排気機①
 - 換気機 □ シックハウス対策 24時間換気扇・排気機②
 - 給気口 □ シックハウス対策 自然給気口 (特記以外はFL+1.1m以内に設置)

記号	仕様・寸法等	数量
K-1	カーテンレールW カーテン[防災](遮光+レース):W1.7m×H1.5m (別途)	3
K-2	カーテンレールW カーテン[防災](遮光+レース):W1.4m×H1.5m (別途)	4
K-3	カーテンレールW カーテン[防災](厚手+ミラーレース):W1.7m×H1.1m (別途)	2
K-4	天井付カーテンレール:(1.1m) カーテン[防災](※リズミル製):W1.1m×H1.8m)×1 (別途)	1
K-5	間仕切りカーテン(オカチン[防災]) (w3.5m×H2.4m) 好カワ「ランド」等	2
△	室名表示板(平付型):アクリル板 250×60 [杉田メ-ス]アクリル室名サイン 同等	7
T-1	室内手摺取付 (既存部分へ)	
T-2	屋外バリアフリー手摺1段取付	両サイド×2

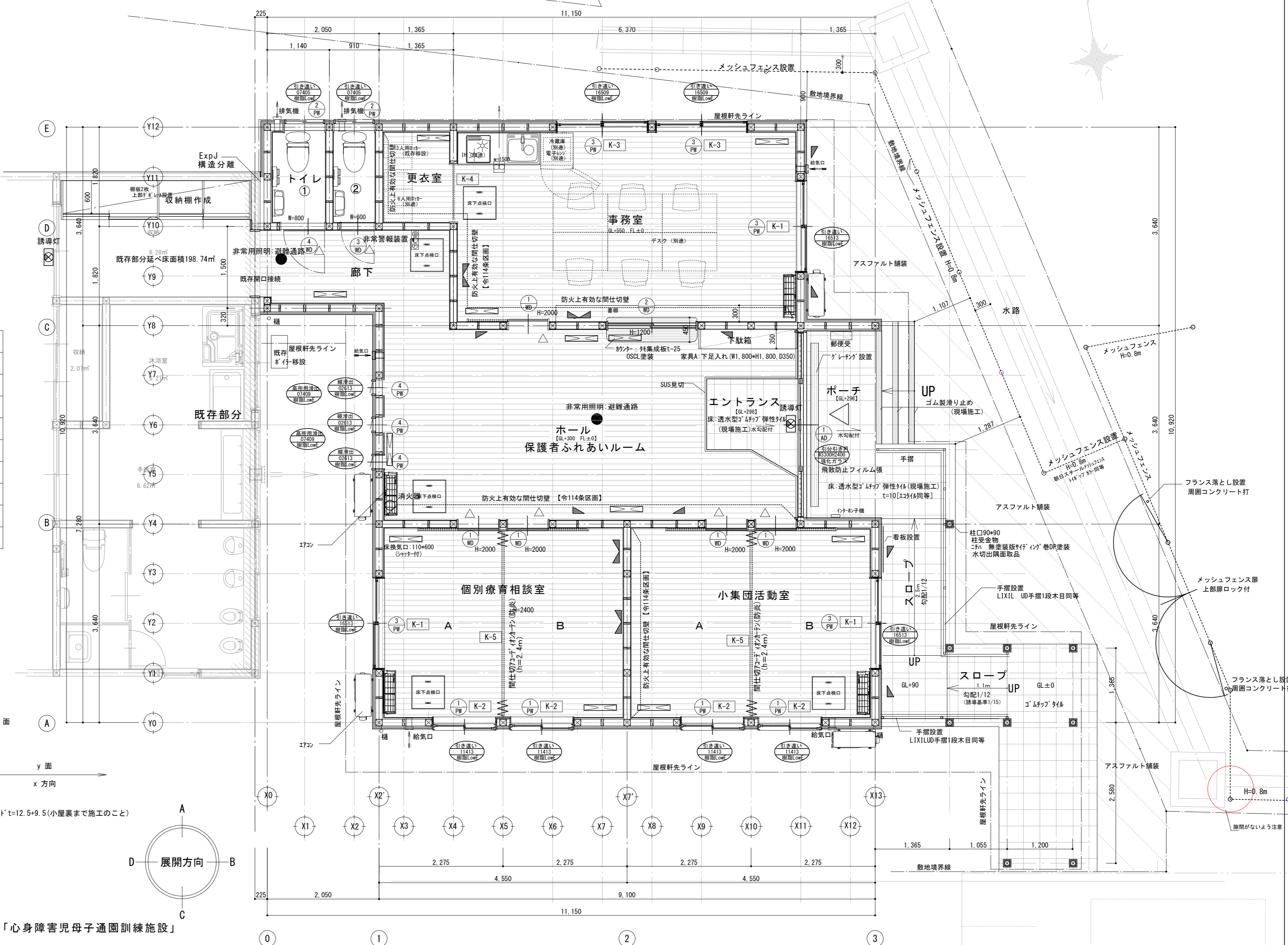
建築面積	114.78㎡ (34.65坪)
2階床面積	
1階床面積	96.78㎡ (29.21坪)
延べ面積	96.78㎡

防火上主要な間仕切を示す:下地一木製 W120 両面:石膏板・t=12.5+9.5(小屋裏まで施工のこと)

[H12告示 第1358号] 45分準耐火設備配管・配線貫通部分:耐火被覆 空隙部(端部・天井面共):ロック充填

平面詳細図 SCALE 1/50

建築特記
1. 主要用途 児童福祉施設等 08210「心身障害児母子通園訓練施設」



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
設計担当者
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・4
Scale 1/50

Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

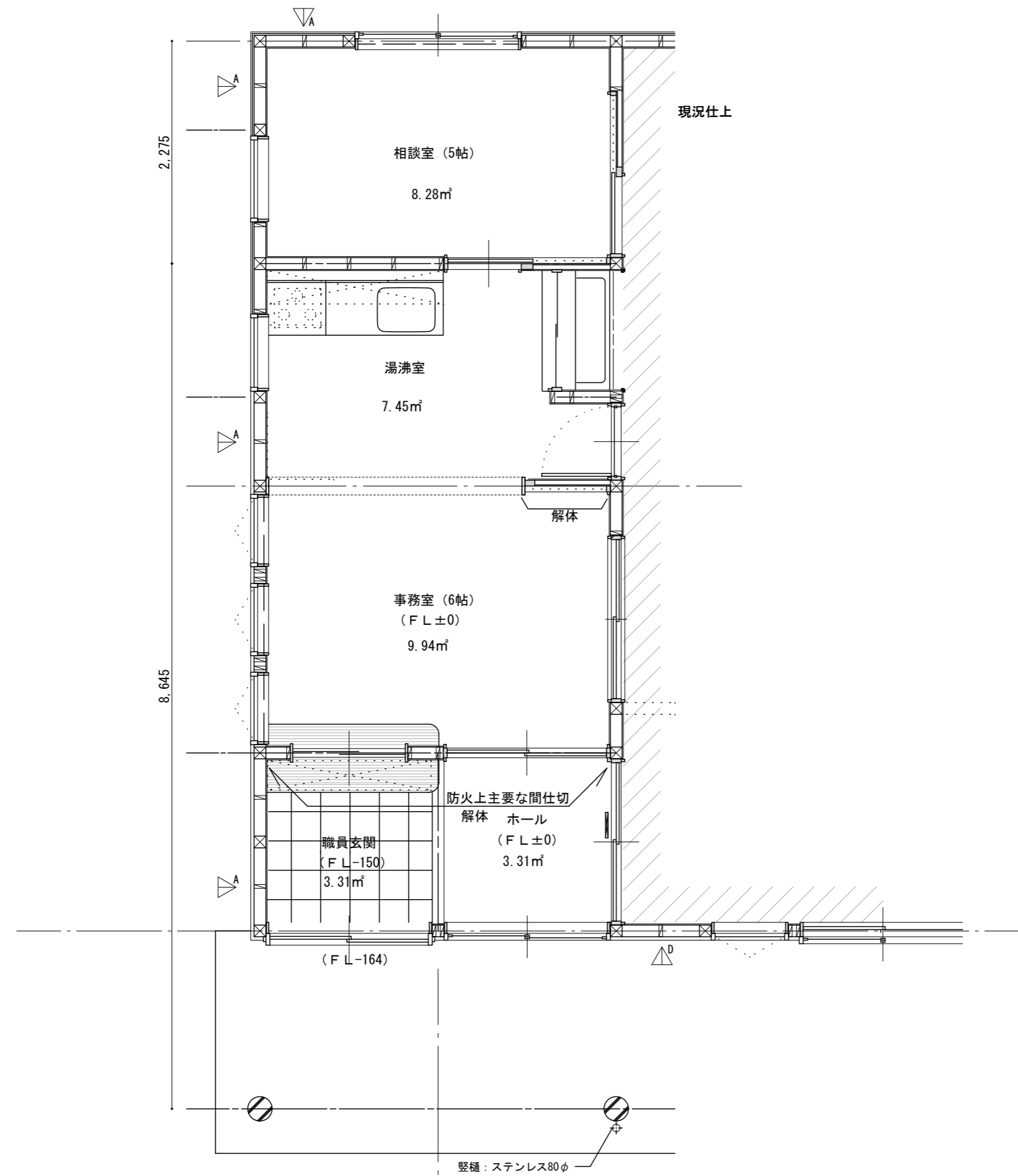
Drawing Title 平面詳細図

Sheet No. D-08 / D-22
整理番号 23001

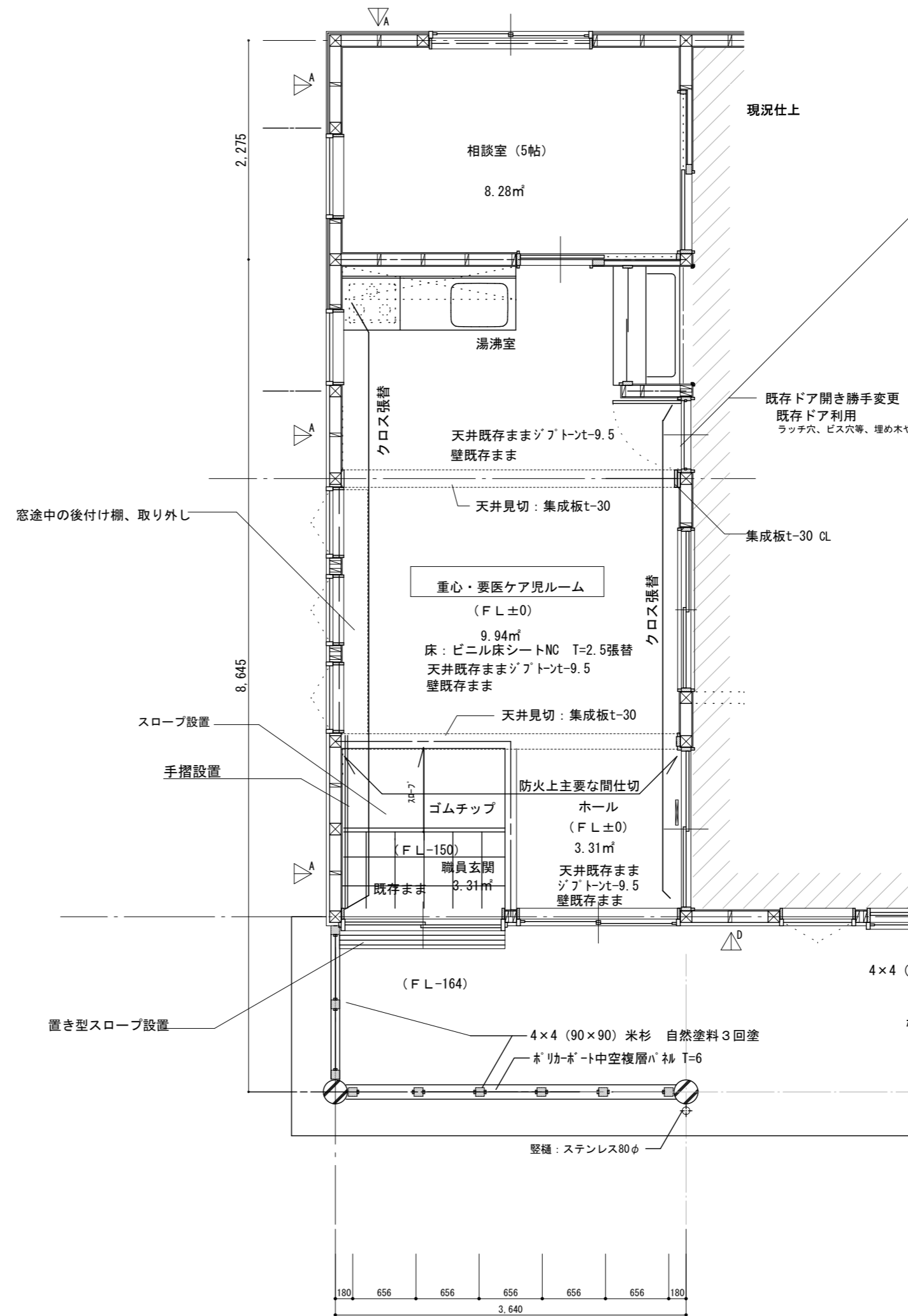
本図面はA2作成(100%印刷) A3図面(70.7%)→141.4%(A2) A4印刷(50%)



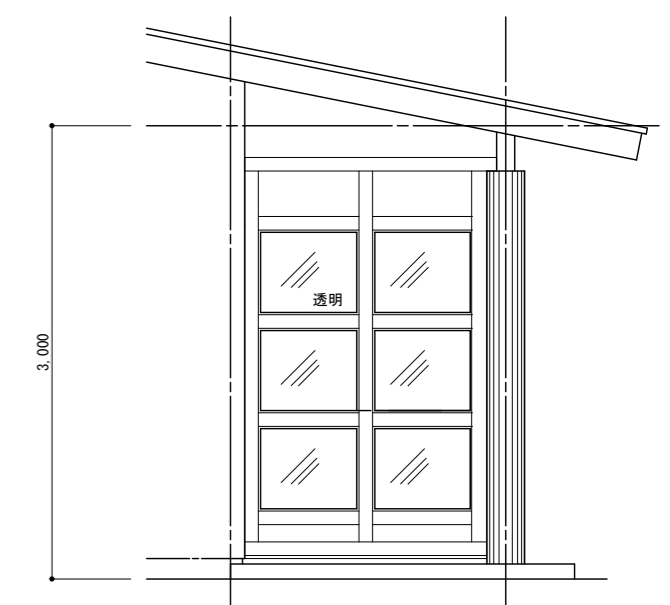
既存建具



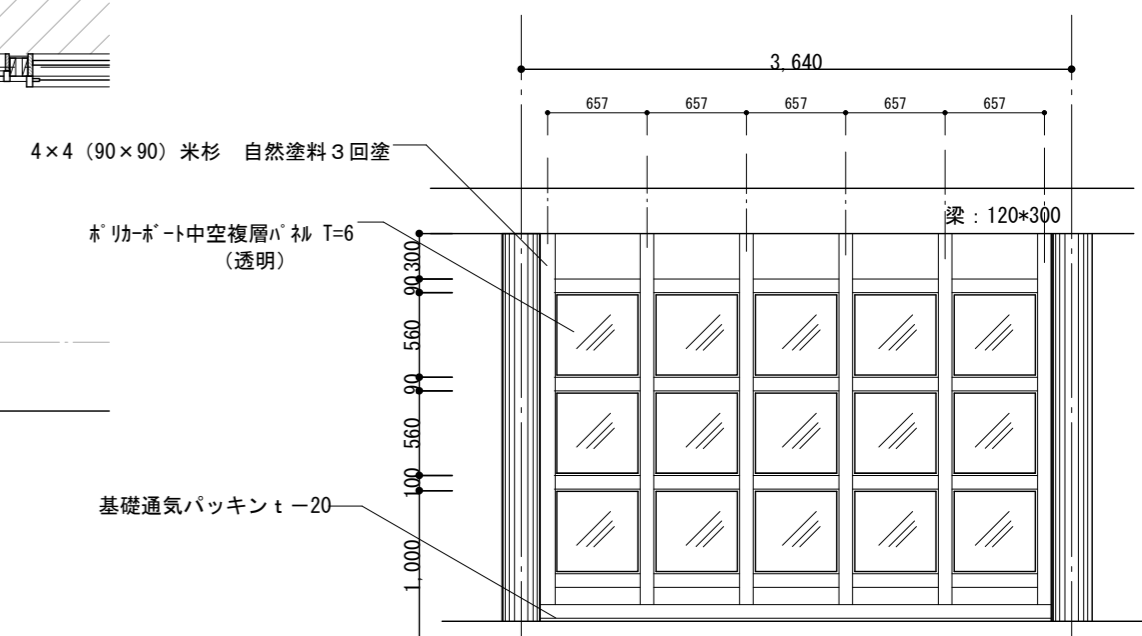
改修前平面図



改修計画平面図

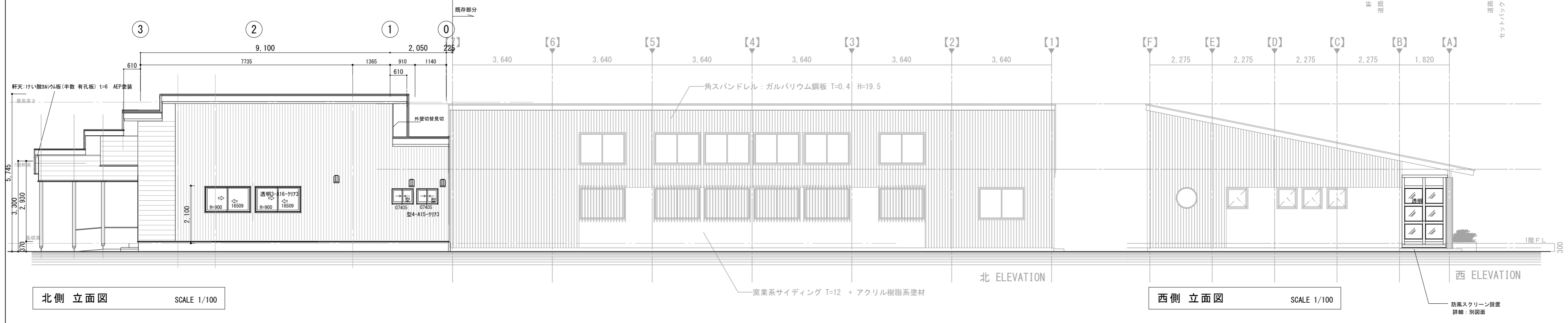
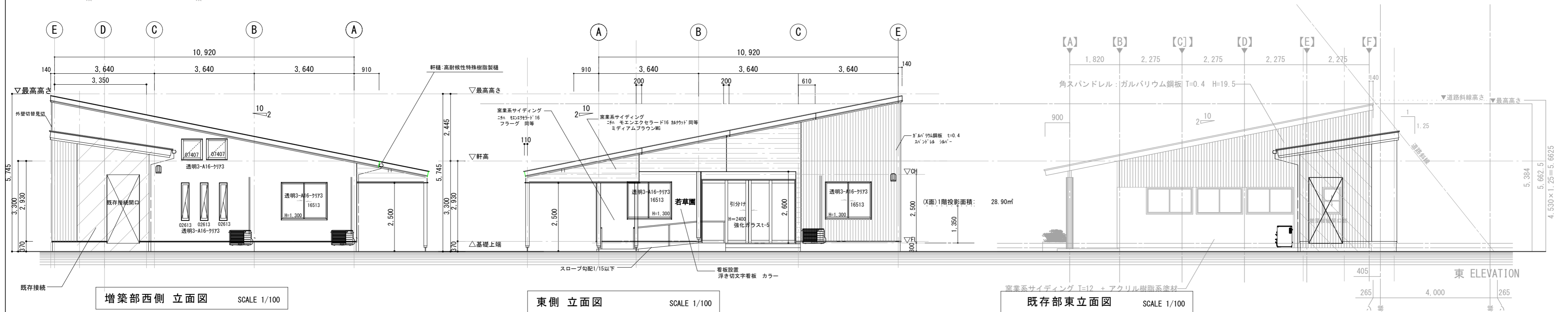
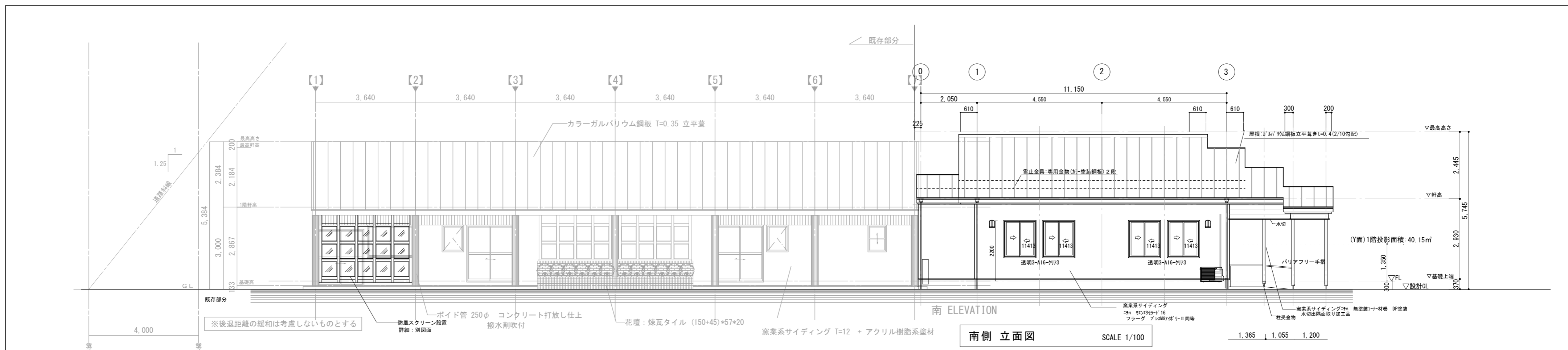


防風スクリーン西面

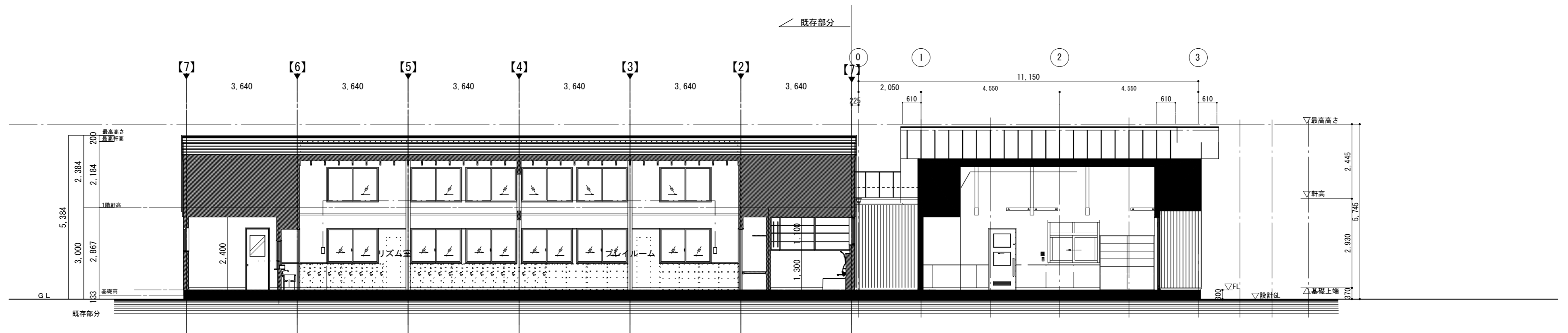


防風スクリーン南面

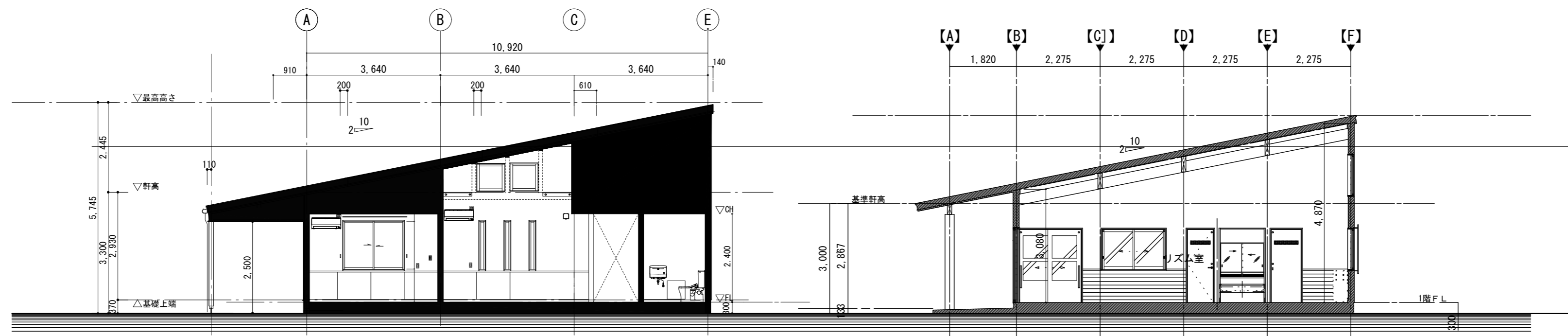
防風スクリーン立面図



Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date R5・2 Scale 1/100	Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事	Drawing Title 立面図	Sheet No. D-10 / D-22 整理番号 23001
	本図面はA2作成 (100%印刷) A3図面 (70.7%) →141.4% (A2) A4印刷 (50%)					



【断面図 1】



【既存断面図 2】

【断面図 2】

★木材の指定樹種について

■間柱、筋交い、下地胴縁——耐久性樹種[D1材]

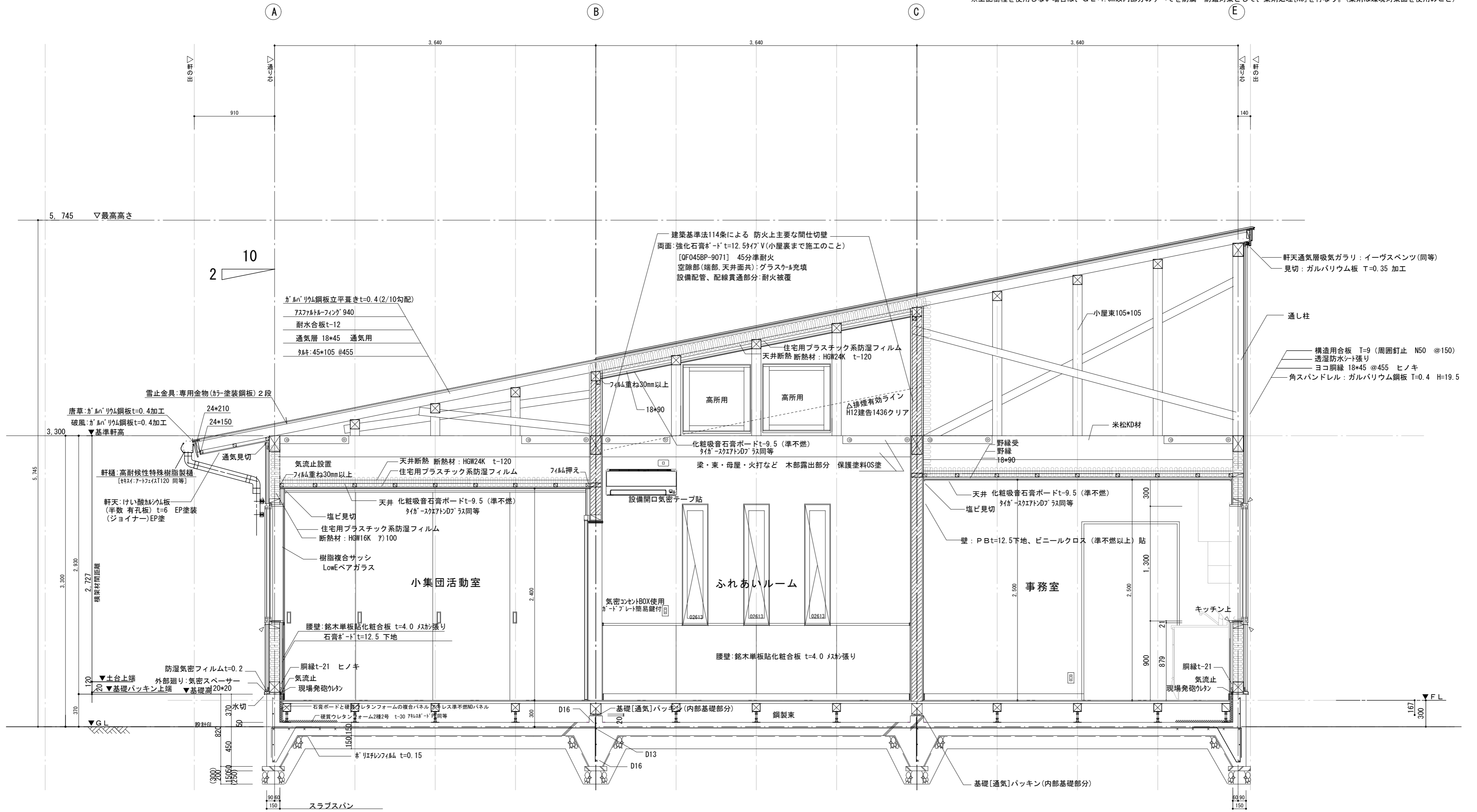
■柱——耐久性樹種[D1材]

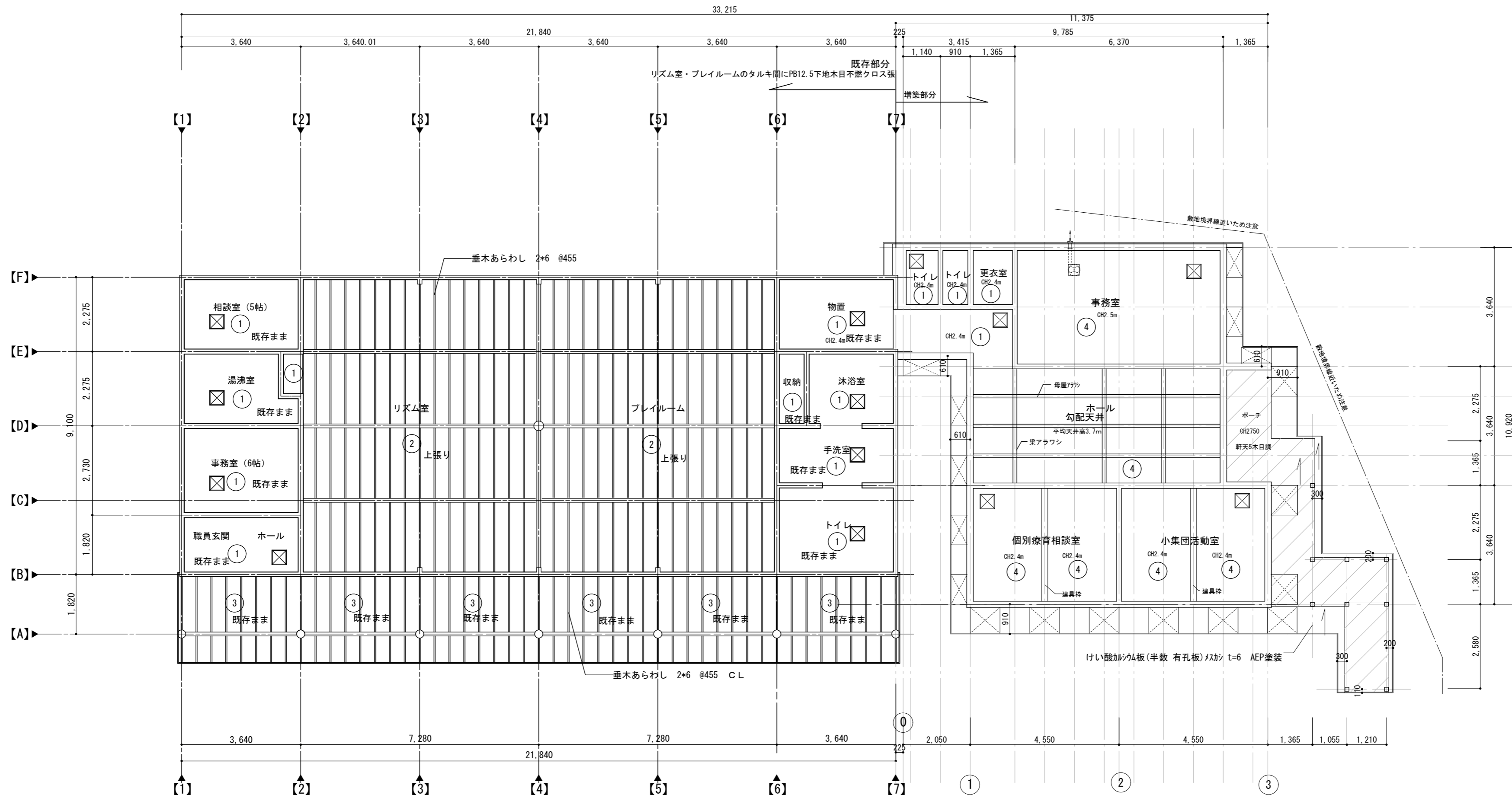
：ヒノキ、ヒバ、米ヒバ、ケヤキ、アビトン、ウエスタンラーチ、ウエスタンレッドシーダー、カプル、カラマツ、クスギ、クリ、ケンバス、スギ、セランガンバツ、台湾ヒノキ、ダグラスファー、ダフリカカラマツ、タマラック、パシフィックコーストイエローシーダー、米スギ、米松、米松、ミズナラ

■土台——特定耐久性樹種[特定D1材]：ヒノキ、ヒバ、米松、米スギ、ケヤキ、クリ、米ヒバ、台湾ヒノキ、ウエスタンレッドシーダー 同等材 サワラ、ネズコ、イチイ、カヤ、コウヤマキ、インセンシーダー、センベルセコイヤ

(構造用下地合板は、G L+1.0m以内部分を防腐・防蟻対策として、薬剤処理[K3]を行なう。)

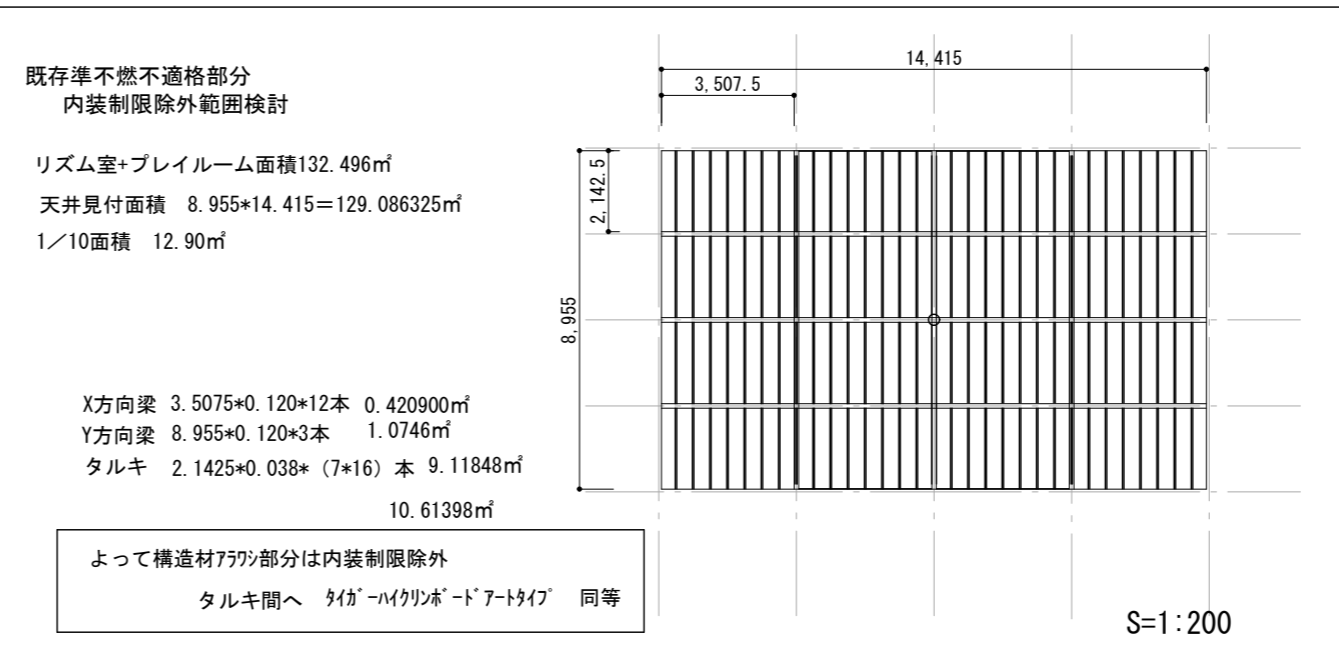
※上記樹種を使用しない場合は、G L+1.0m以内部分のすべてを防腐・防蟻対策として、薬剤処理[K3]を行なう。(薬剤は環境対応品を使用のこと)

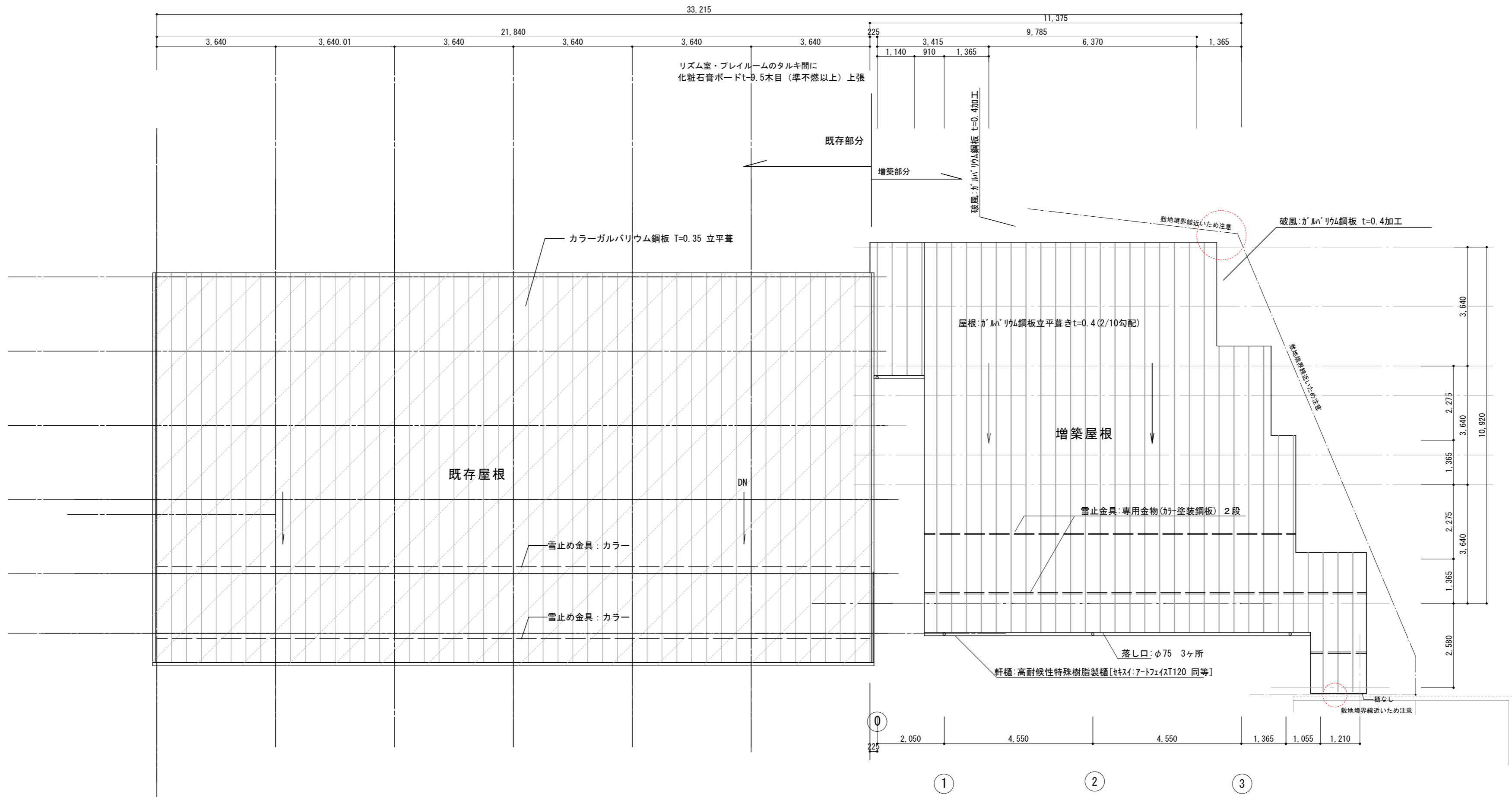




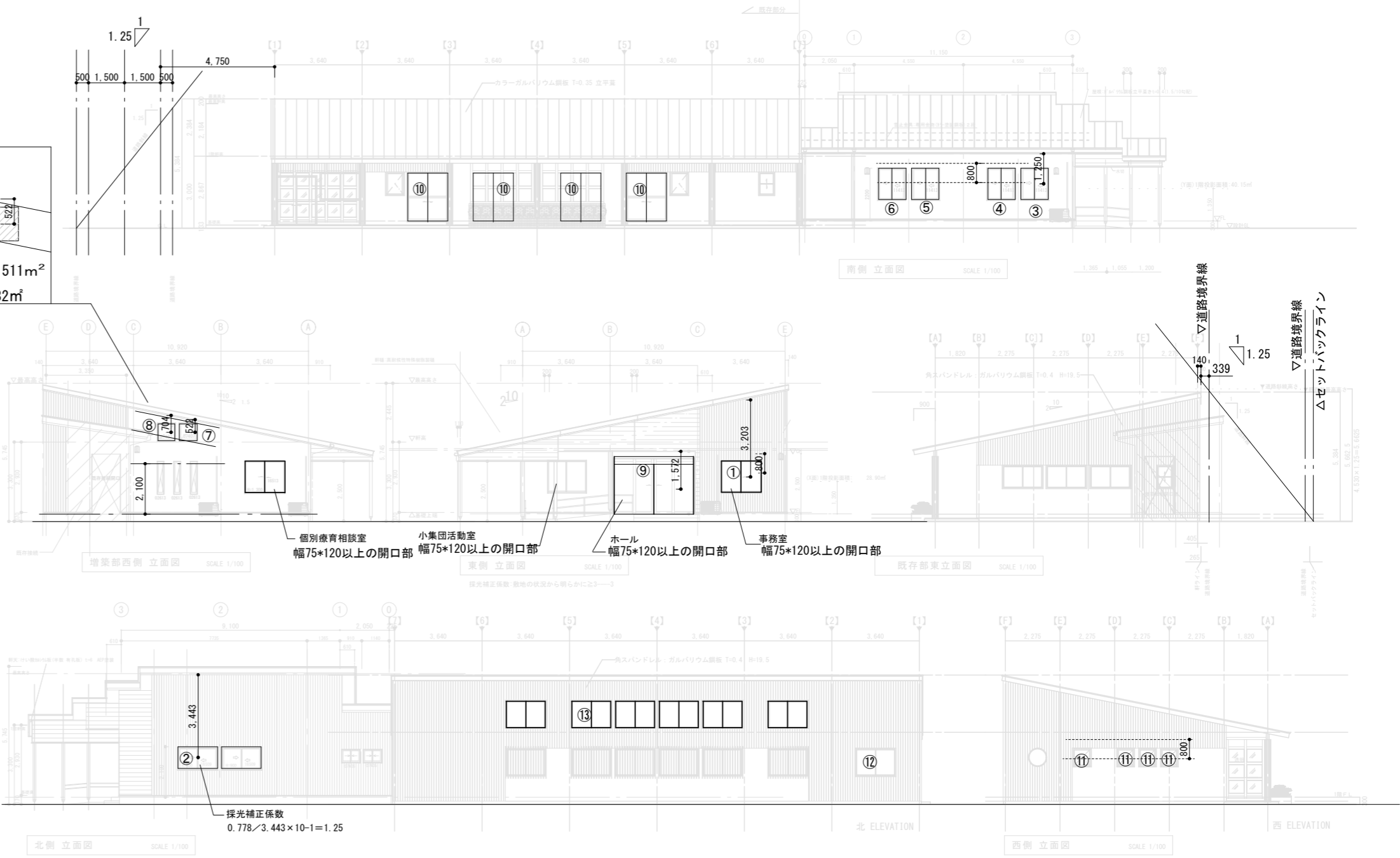
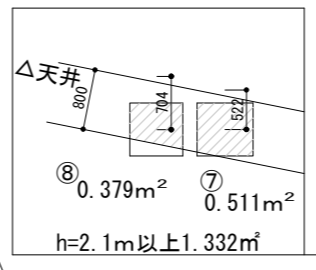
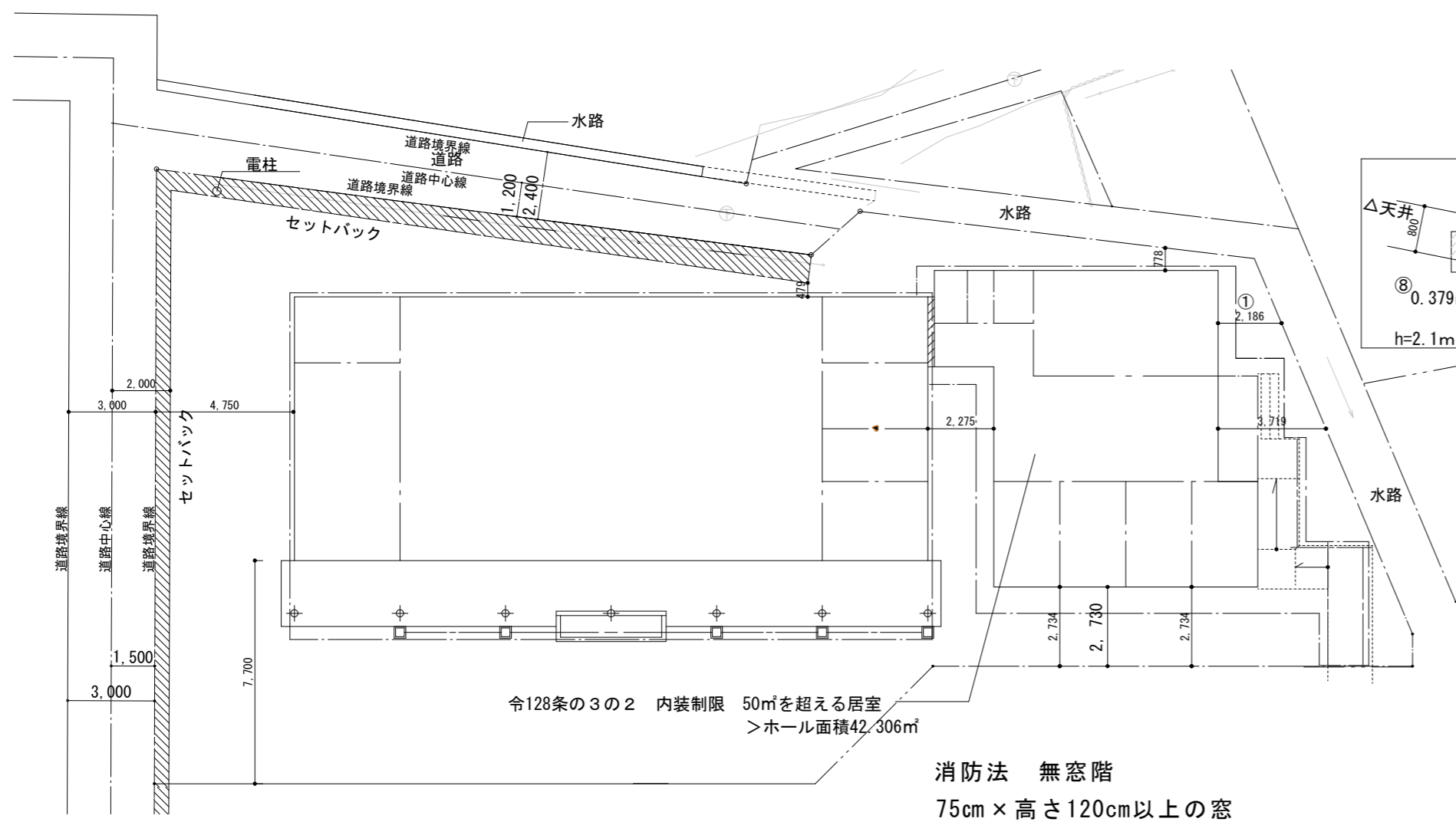
天井伏図 SCALE 1/100

天井仕上リスト			既存部内装制限チェック
No.	下地	仕上	避難経路：準不燃 居室：難燃
①		化粧石膏ボード張り(ジブトーン)910×455 T=9.5	QM-0524 (9.5mm/準不燃) OK
②	構造用合板 T=12(針葉樹合板) 化粧材	あらわし	NG 化粧石膏ボード9.5木目(準不燃)上張り →タリキ間へタリキ間へ同等 QM-9824
③	OSB T=9(サンダー掛け品)	CL	
☒	天井点検口 450×450		
④		化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃) タリキ間へ同等	QM-9828 (9.5mm/準不燃)





屋根伏図 SCALE 1/100



令128条の3の2 内装制限 50㎡を超える居室
>ホール面積42,306㎡

消防法 無窓階
75cm × 高さ120cm以上の窓
295.52㎡ / 30 = 9.85㎡以上 < ①+②+3+④+他 OK

【採光補正係数の算定式】

採光補正係数の算定式 $D/H \times 1.0 - 1$
D: 開口部の直上にある建築物の部分と敷地境界線までの水平距離
H: 開口部の直上から開口部の中心までの高さ

≪道路斜線制限≫ 無指定地域 1.25勾配

※1 令第20条の2第2項各号の適用を受けた数値
※2 天窓の場合『3』 緑側がある場合『0.7』
※3 3を超える場合は『3』

≪隣地斜線制限≫ 無指定地域
立ち上がり 20m > 5.45m ...OK

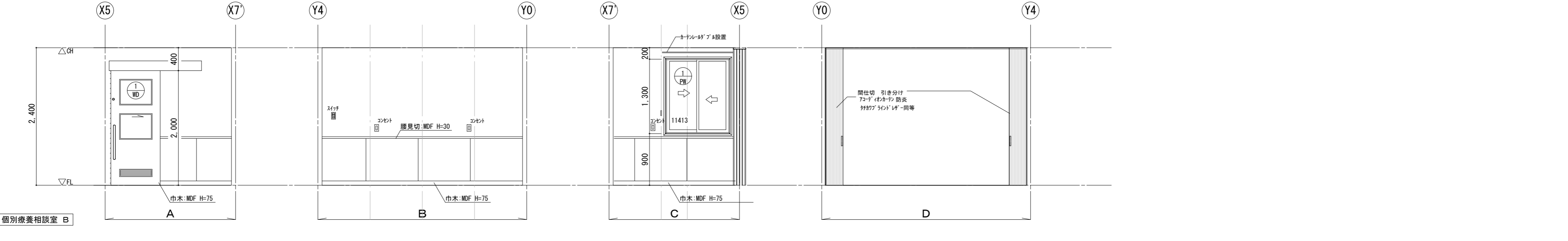
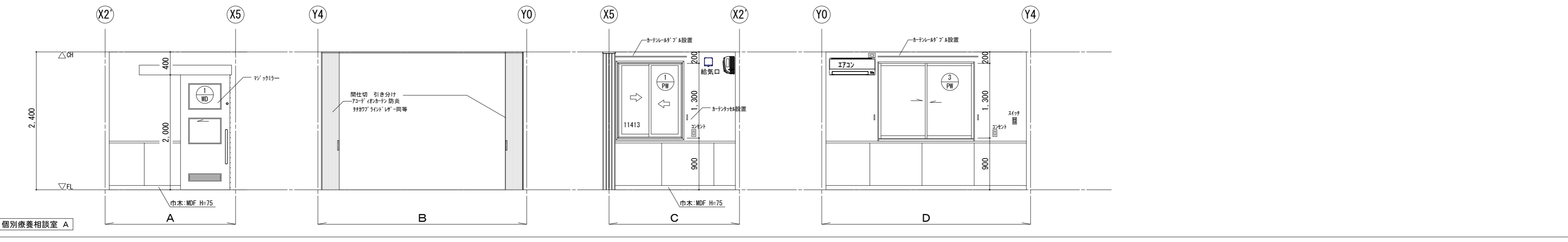
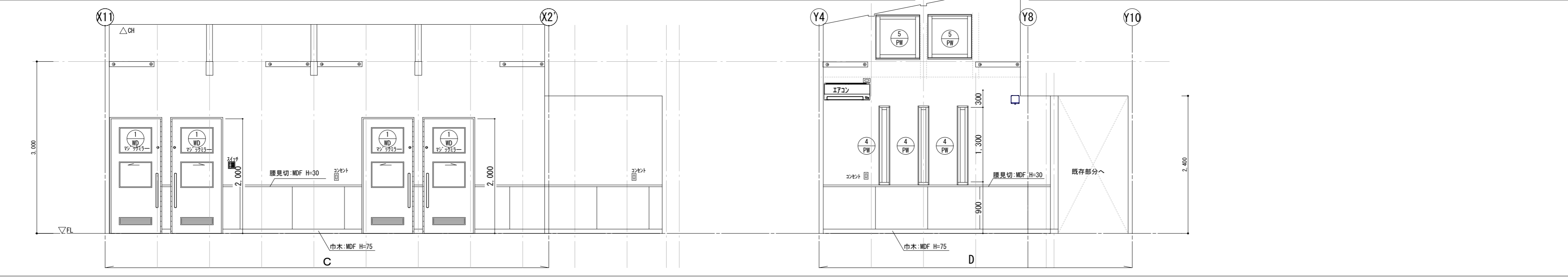
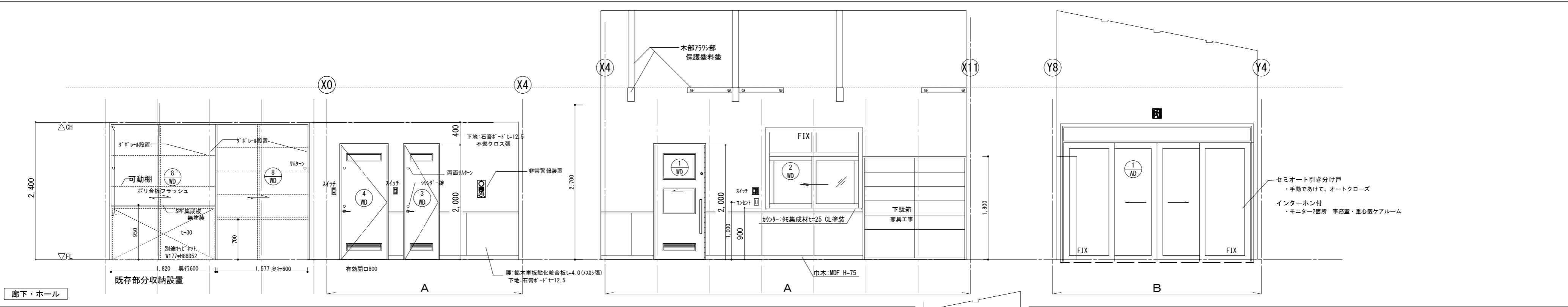
柱の小径
建築物 平屋
屋根 軽い屋根
用途 児童福祉施設

d (柱サイズ)	h (横架材間距離)	d/h
12*12	272.7	$\frac{1}{22.725} > \frac{1}{30}$

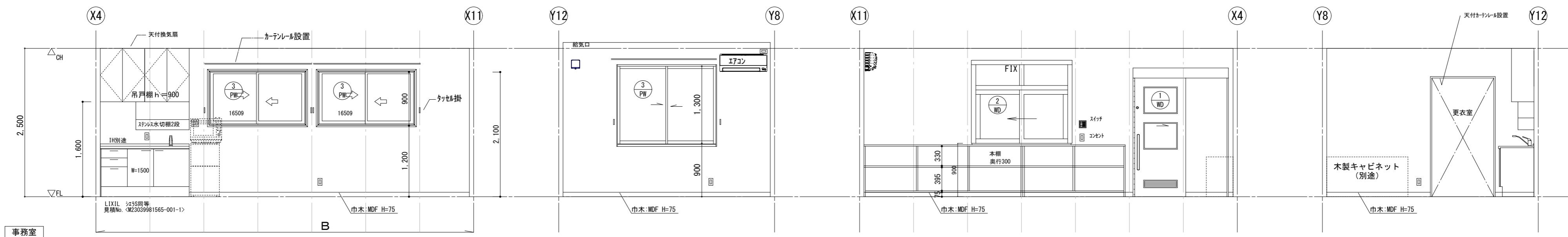
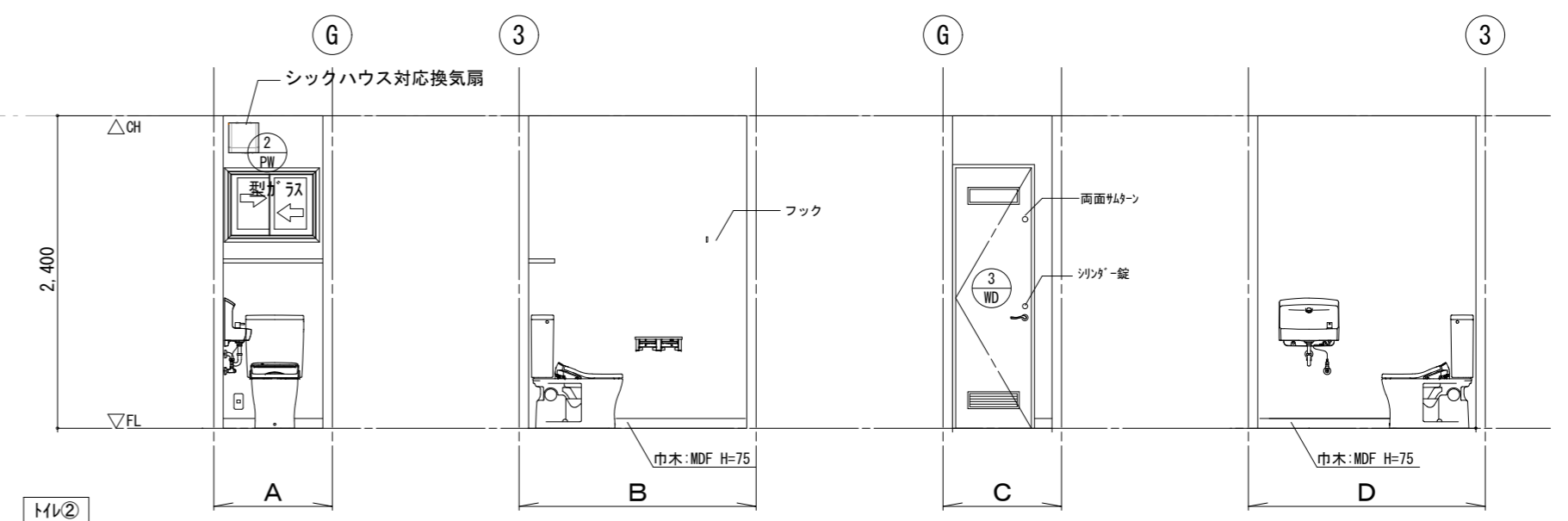
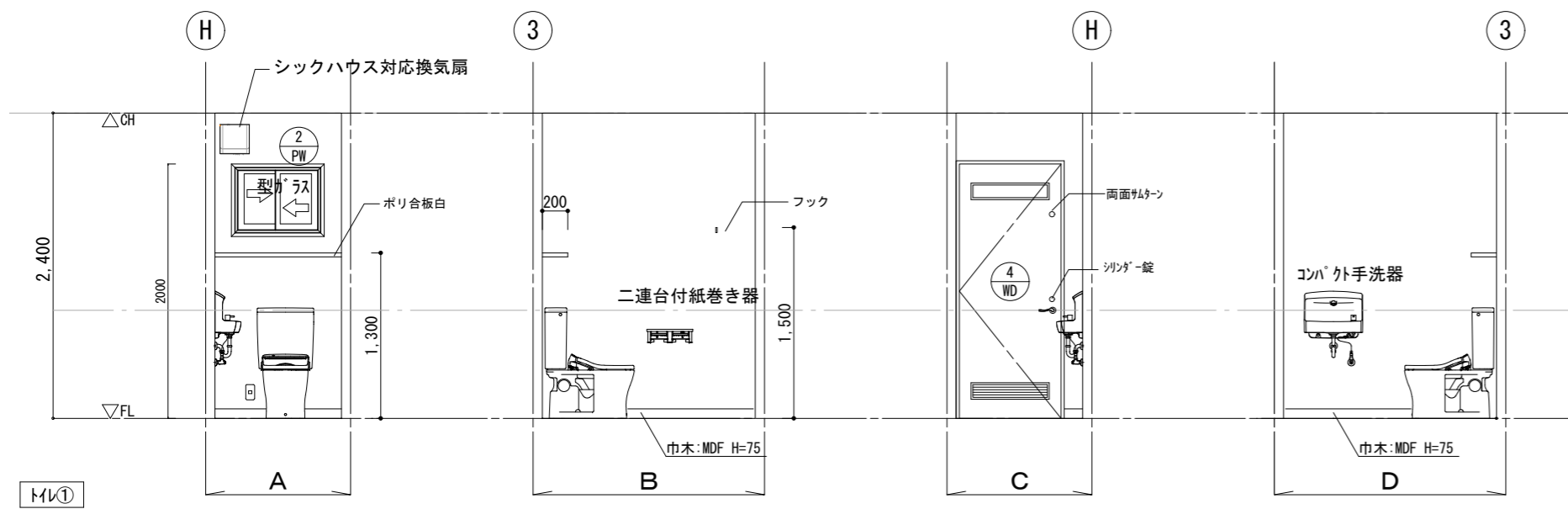
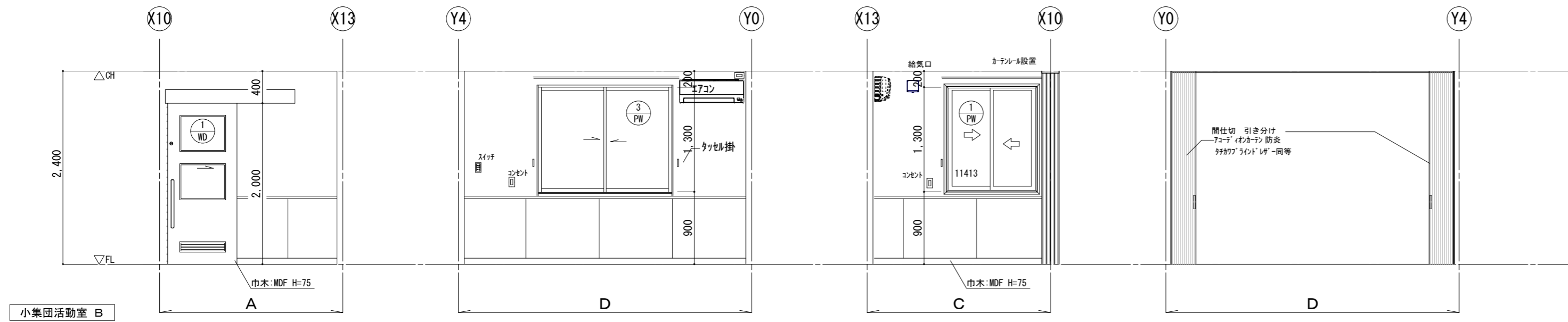
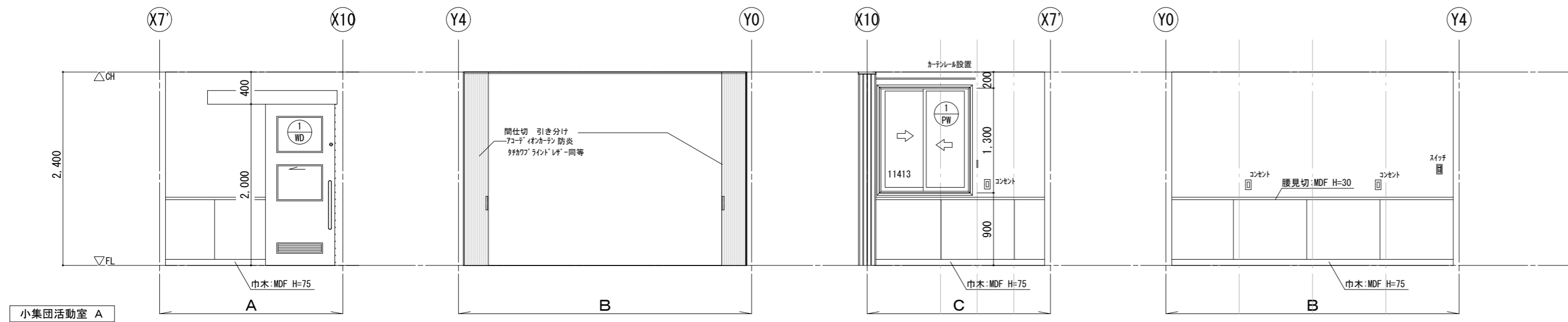
柱の有効細長比	
断面最小2次率半径 (i)	有効細長比 (h/i)
$i = \sqrt{1/A}$ I = 1728 A = 144	
i = 3.465 h = 272.5	78.75 < 150

建築基準法施行令114条3項
建築物の各室及び各通路について、壁（床面からの高さが1.2m以下の部分を除く。）及び天井の室内に面する部分の仕上げが難燃材料のため、除外

階	室名	床面積		採光計算										換気計算						排煙計算 天井から80cm以内									
		タテ	ヨコ	面積	採光率 (分母)	必要面積	建具符号	開口部					換気率 (分母)	必要面積	建具符号	開口部					判定								
		採光補正	W	H				箇所	有効面積	判定	W	H				開口係数	箇所	有効面積	判定										
1	増築部 事務室	3.640 1.820	6.370 1.365	23.186 2.484			1	3.00	1.650	1.300	1	6.435			1	1.650 1.650	1.300 0.900	0.50 0.50	1 1	1.072 0.742			1	1.650 1.650	0.500 0.400	0.50 0.50	1 1	0.4125 0.3300	
	合計			25.670	7	3.668						6.435 OK	20	1.284						1.814 OK	50	0.514						0.742 OK	
	小集団活動室 A・B 建基令19条2項4号 1/7	3.640	4.550	16.562			3	3.00	1.140	1.300	1	4.446			3 4	1.140 1.300	1.300 0.50	0.50 2	1	1.482			3	1.140 0.600	0.600 0.50	0.50 1	1	0.342	
	合計			16.562	7	2.366						4.446 OK	20	0.829						1.482 OK	50	0.332						0.342 OK	
	個別療育相談室 A・B 建基令19条2項4号 1/7	3.640	4.550	16.562			5	3.00	1.140	1.300	1	4.446			5 6	1.140 1.300	1.300 0.50	0.50 2	1	1.482			5	1.140 0.600	0.600 0.50	0.50 1	1	0.342	
合計			16.562	7	2.366						4.446 OK	20	0.829							1.482 OK	50	0.332						0.342 OK	
既存	ホール 建基令19条2項5号 1/10	3.640 0.320 1.500 2.275	7.735 1.365 3.640 3.640	28.155 0.436 5.460 8.281			7 8 9	3.00 3.00 3.00	0.740 0.740 3.300	0.900 0.900 2.000	1 1 1	1.998 1.998 19.800			7 9	0.740 3.300	0.900 2.000	1.00 0.50	2 1	1.332 3.300			7 8	*別算定図より *別算定図より	1.00 1.00	1 1	0.384 0.518		
	合計			42.332	7	6.048						23.796 OK	20	2.117						4.632 OK	50	0.847			H12建告1436号 h=2.1m以上1.332㎡			0.902 OK	
	リズム室 建基令19条2項4号 1/7	9.100 9.100	7.280 7.280	66.248 66.248			10	3.00	1.650	2.000	4	39.600			10 13	1.650 1.650	2.000 1.100	0.50 0.50	4 6	6.600 5.455			13			6	5.455		
	合計			132.496	7	18.928						39.600 OK	20	6.625						12.055 OK	50	2.650			H12建告1436号			5.455 OK	
	重心・医ケア児ルーム 建基令19条2項4号 1/7	6.825	3.640	24.843			11	3.00	0.740	0.700	4	6.216			11	0.740	0.700	1.00	4	2.072			11	0.740 0.400	1.00 1.00	4 4	1.184		
合計			24.843	7	3.549						6.216 OK	20	1.243						2.072 OK	50	0.497						1.184 OK		
相談室 建基令19条2項5号 1/10	2.275	3.640	8.281			12	3.00	1.650	1.100	1	5.445			12	1.65	1.100	0.50	1	0.907			12	1.650 0.400	0.50 0.50	1 1	0.330			
合計			8.281	7	1.183						5.445 OK	20	0.415						0.907 OK	50	0.166						0.330 OK		



Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 設計担当者	Date R5・1 Scale 1/50	Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事	Drawing Title 展開図1	Sheet No. D-17 / D-22 整理番号 23001
	管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685	一級建築士 第229022号 堀口 隆			



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
 Phone 0265 - 79 - 2685 Fax 0265 - 79 - 2685

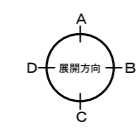
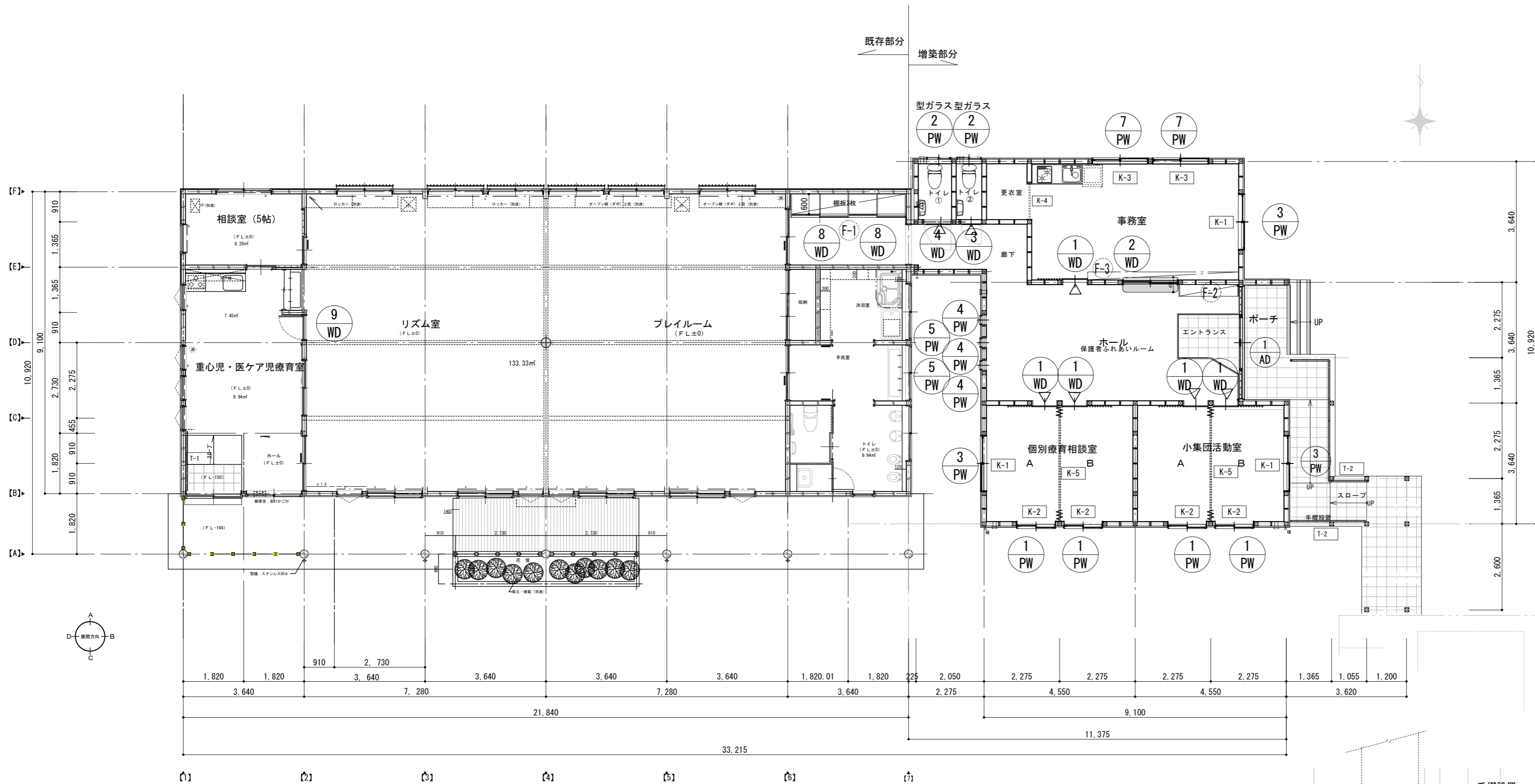
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・1
 Scale 1/50

Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

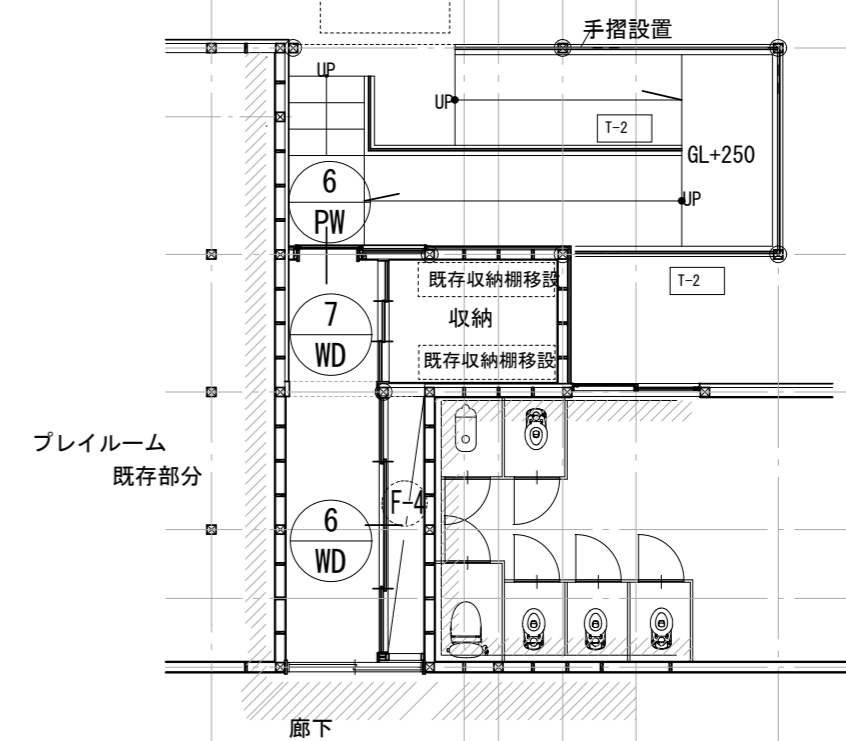
Drawing Title 展開図2

Sheet No. D-18 / D-22
 整理番号 23001



雑工事 リスト K1~K4カーテンのみ別途		
記号	仕様・寸法等	数量
K-1	カーテンレールW カーテン[防災](遮光+レース):W1.7m×H1.5m	3
K-2	カーテンレールW カーテン[防災](遮光+レース):W1.4m×H1.5m	4
K-3	カーテンレールW カーテン[防災](厚手+ミラーレース):W1.7m×H1.1m	2
K-4	天井付カーテンレール:(1.1m) カーテン[防災](※リスタ製): (W1.1m×H1.8m) × 1	1
K-5	間仕切りカーテン カーテン[防災]H=2.4mW=3.5m ※カーテンレール 同	2
△	室名表示板(平付型):アクリル板 250×60 [杉田エス]アクリル室名サイン 同	7
T-1	室内手摺取付	1
T-2	屋外バリアフリー手摺2段取付	両サイド×2

*作成時は現地実測のこと



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
設計担当者
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265 - 79 - 2685 Fax 0265 - 79 - 2685

一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・1
Scale 1/100

令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

Drawing Title
建具家具キープラン

Sheet No. D-19 / D-22
整理番号 23001

記号・取付場所	① PW 小集団活動室/個別療育相談室	② PW トイレ1, 2	③ PW 小集団活動室/個別療育相談室/事務室	④ PW ホール	⑤ PW ホール
	採光(係数の場合): 1.19*1.30=1.547 換気: 0.58*1.30=0.754 排煙: 0.58*0.60=0.348		採光(係数の場合): 1.54*1.30=2.00 換気: 0.81*1.30=1.053 排煙: 0.81*0.60=0.486	採光(係数の場合): 1.19*1.30=1.547 換気: 0.26*1.30=0.338 排煙: 0.26*0.60=0.156	
	※11913	※07405	※16513	※02613	※07407
	形式・数量 引き違い断熱窓 4ヶ所	引き違い断熱窓 2ヶ所	引き違い断熱窓 5ヶ所	縦滑り出し断熱窓 3ヶ所	縦滑り出し断熱窓 2ヶ所
仕上 樹脂樹脂複合サッシ	樹脂樹脂複合サッシ	樹脂樹脂複合サッシ	樹脂樹脂複合サッシ	樹脂樹脂複合サッシ	
ガラス [透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	[型]4mm+A15+[透明]3mm LowEガラス	[透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	
金物 戸車 アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	戸車 バランサー アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	戸車 アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	カムラッチ アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	パネラー アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	
建具見込					
備考 網戸 木枠	網戸 木枠	網戸 木枠	網戸 木枠	網戸 木枠	
記号・取付場所	⑥ PW 外部収納(増築部分) 三日町保育園資材室	⑦ PW 外部収納(増築部分) 三日町保育園資材室	① AD ホール	① WD 事務室/小集団活動室/個別療育相談室	② WD 事務室
姿図・寸法					
形式・数量	片引き断熱テラス戸 1ヶ所	引き違い断熱窓 1ヶ所	引き分けフロントサッシ ハンガードア 1ヶ所	木製ハンガー戸 5ヶ所	引き違いカウンター戸 1ヶ所
仕上	樹脂樹脂複合サッシ	樹脂樹脂複合サッシ	7$合金押出型材(カー)	ポリ合板 貼り (7$木目同等)	木製かまち窓FIX窓付き
ガラス	透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	[透明]3mm+A16+[透明]3mm LowEガラス	[強化(透明)]5mm 飛散防止フィルム貼	額:ポリカーボネート樹脂[透明]	[透明強化]4mm
金物	戸車 アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	戸車 アングル 外部雨切(三方) 水切 メーカー標準金物一式	本締り錠 戸車 アングル 外部雨切(三方) SUS下枠 7$製板(三方) メーカー標準金物一式	本締り錠 片面サムターン ハンガー装置 7$製がリ メーカー標準金物一式	戸車 シリンダー錠 メーカー標準金物一式
建具見込			100mm	36mm	30mm
備考	網戸 木枠	網戸 木枠	7$用サッシ		
記号・取付場所	③ WD トイレ	⑤ WD 小集団活動室/個別療育相談室	⑥ WD 外部収納(増築部分) 三日町保育園資材室	⑦ WD 外部収納(増築部分) 三日町保育園資材室	⑧ WD 既存~増築 通路
姿図・寸法					
形式・数量	木製片開きフラッシュ戸 各1ヶ所	木製片引きフラッシュ戸 2ヶ所	4枚引き違いフラッシュ戸 1ヶ所	3枚引きフラッシュ戸 1ヶ所	2枚引き違いフラッシュ戸 1ヶ所
仕上	ポリ合板 貼り (7$木目同等)	ラワン合板下地 クロス貼り	ポリ合板 貼り	ポリ合板 貼り (7$木目同等)	ラワン合板下地 クロス貼り
ガラス	額:ポリカーボネート樹脂[透明]	額:ポリカーボネート樹脂[透明]			
金物	表示錠 丁番 7$製がリ メーカー標準金物一式	戸車 メーカー標準金物一式	握り込み引手	握り込み引手	握り込み引手
建具見込	36mm	40mm	36	36	40
備考					

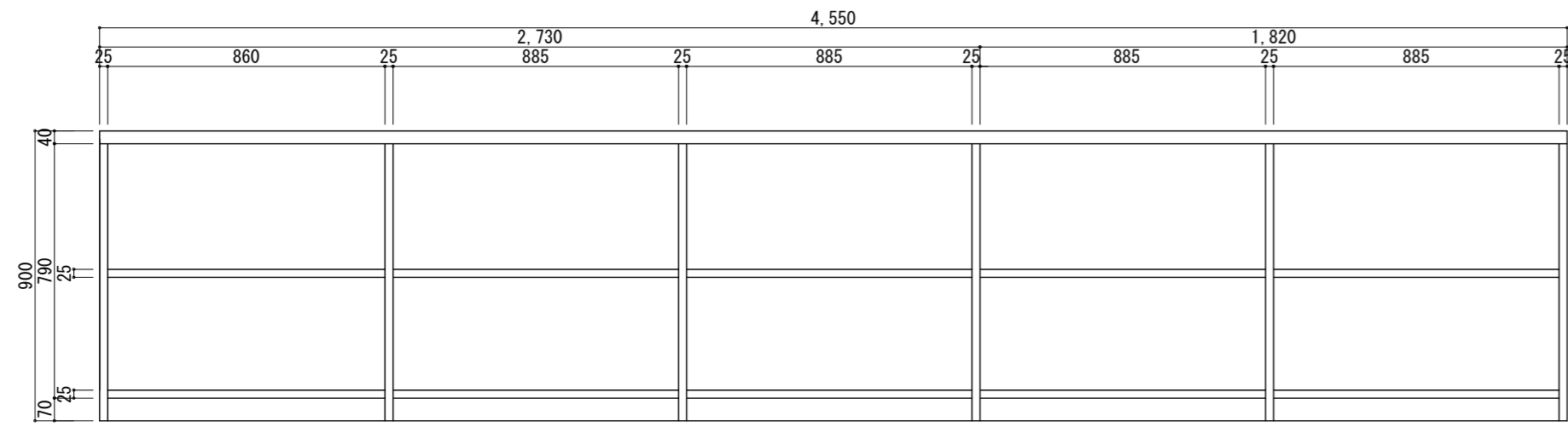
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-horil@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 設計担当者
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・1
Scale 1/50

Title 令和5年度若園増築改修・三日町保育園増築工事

Drawing Title 建具表
Sheet No. D-20 / D-22
整理番号 23001

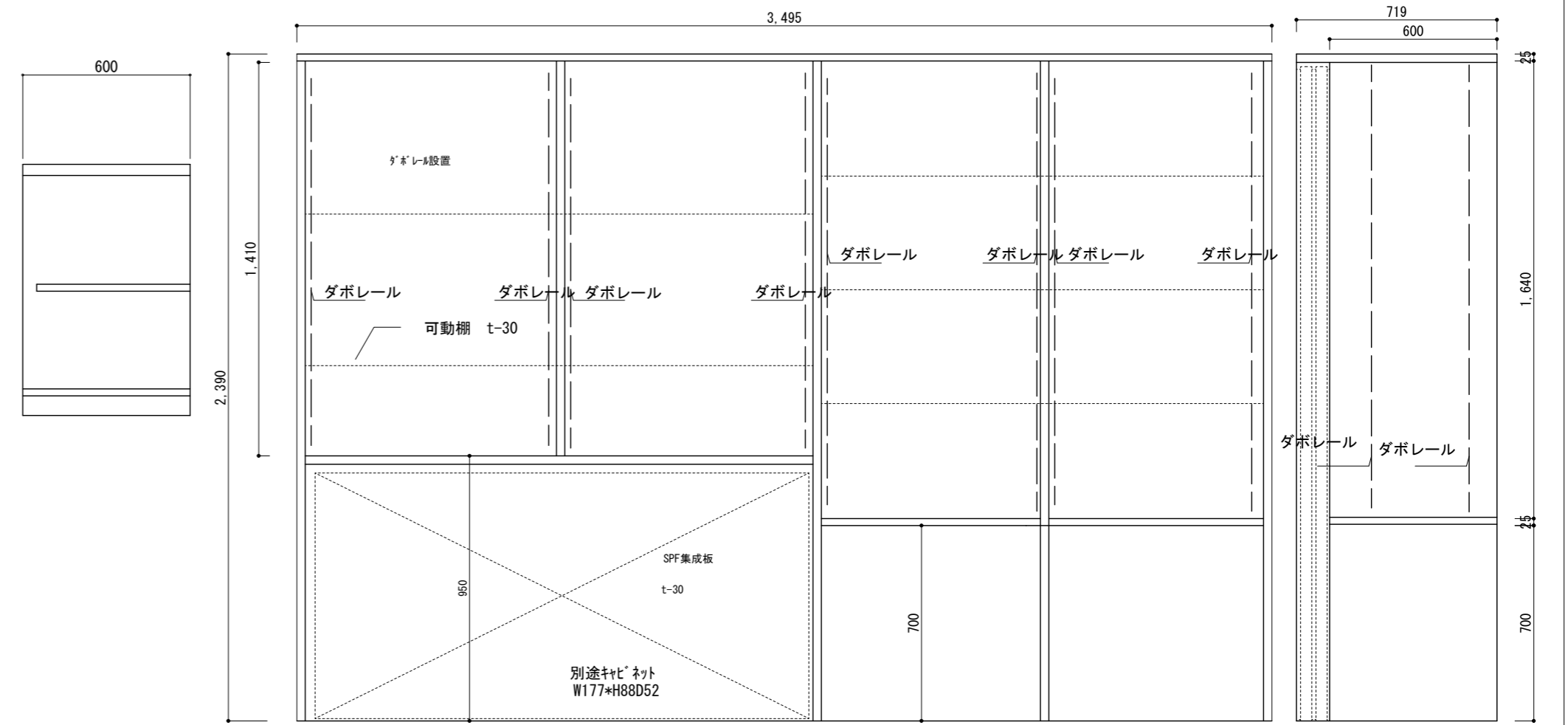


事務室 書棚

※集成板 t-25
自然塗料塗

$0.6 \times 0.025 \times (4.55 \times 3 + 0.9 \times 6) = 0.28575$

※詳細寸法は、施工図による

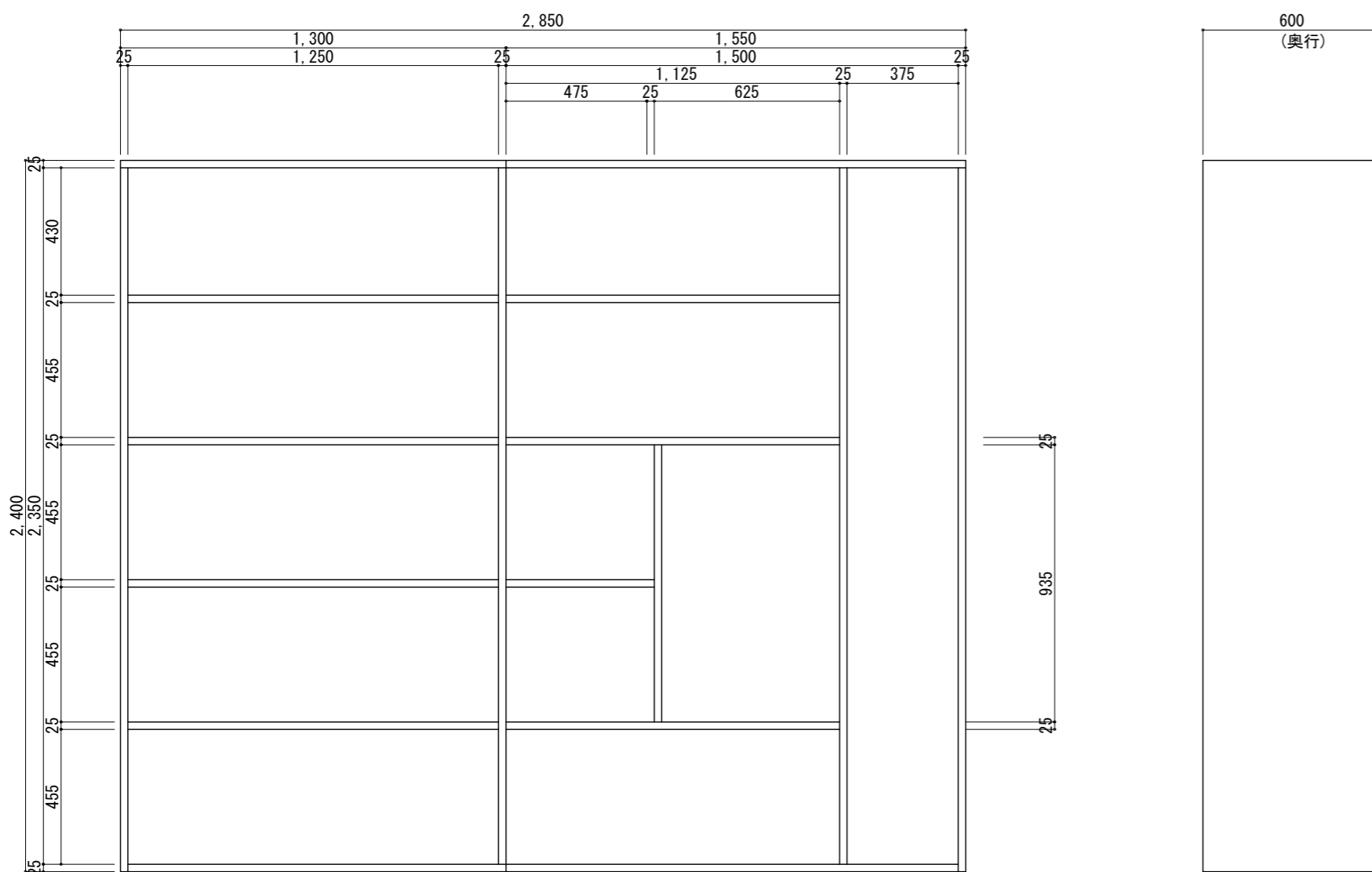


通路内新設収納内部

集成板7 t-25無塗装

$(2.4 \times 3 + 3.5) \times 0.719 \times 0.25 = 1.9233$
 $(3.5 + 1.41 + 2.4) \times 0.6 \times 0.25 = 1.0965$
 $(1.8 \times 2 + 1.6 \times 3) \times 0.6 \times 0.25 = 1.26$

※詳細寸法は、施工図による

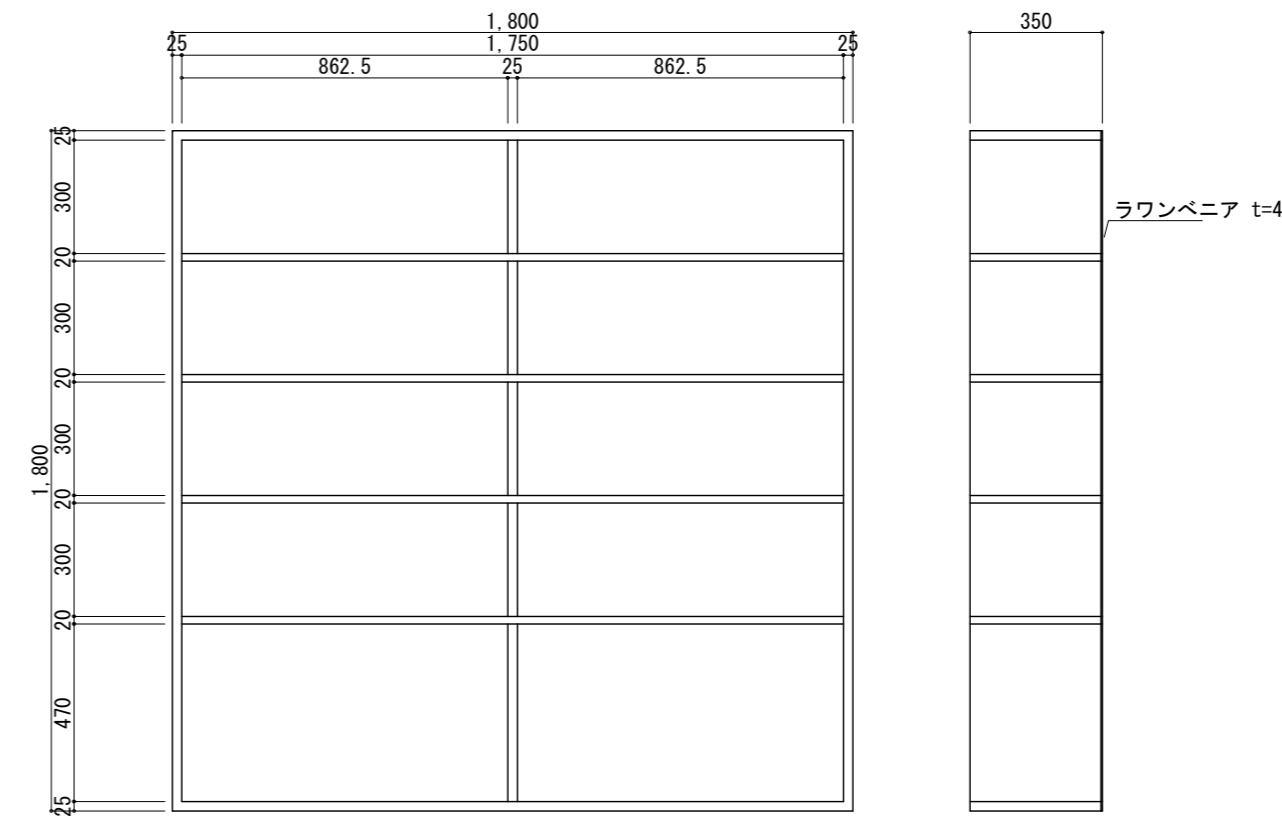


三日町 収納

※集成板 t-25 無塗装

※詳細寸法は、施工図による

$(2.4 + 2.4 + 2.4 + 2.4 + 0.935) \times 0.6 \times 0.025 = 0.158$
 $(2.85 \times 2 + 1.25 \times 4 + 1.1 \times 3 + 0.48) \times 0.6 \times 0.025 = 0.2172$

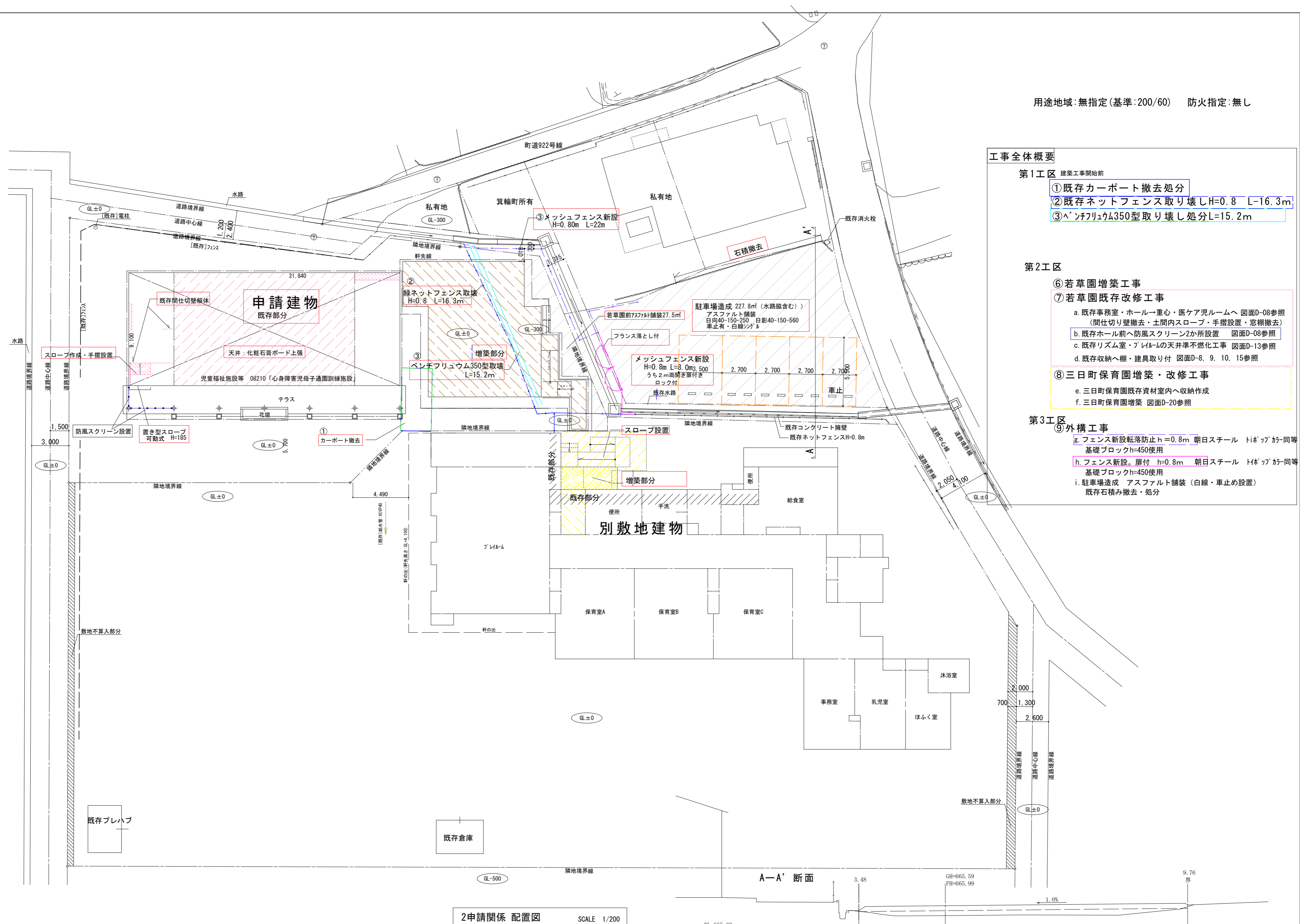


※詳細寸法は、施工図による

下足入れ (家具工事)

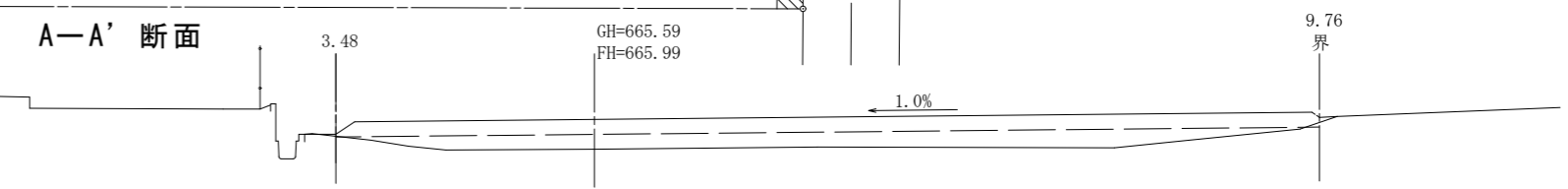
※表面仕上げ：ポリ合板 (7切木目)

ラワンベニア t=4



- 工事全体概要**
- 第1工区** 建築工事開始前
- ① 既存カーポート撤去処分
 - ② 既存ネットフェンス取り壊し H=0.8 L=16.3m
 - ③ ベンチフレーム350型取り壊し処分 L=15.2m
- 第2工区**
- ⑥ 若草園増築工事
 - ⑦ 若草園既存改修工事
 - a. 既存事務室・ホール→重心・医ケア児ルームへ 図面D-08参照 (間仕切り壁撤去・土間内スロープ・手摺設置・窓柵撤去)
 - b. 既存ホール前へ防風スクリーン2か所設置 図面D-08参照
 - c. 既存リズム室・プレイルームの天井準不燃化工事 図面D-13参照
 - d. 既存収納へ棚・建具取り付 図面D-8, 9, 10, 15参照
 - ⑧ 三日町保育園増築・改修工事
 - e. 三日町保育園既存資材室内へ収納作成
 - f. 三日町保育園増築 図面D-20参照
- 第3工区** 外構工事
- g. フェンス新設転落防止 h=0.8m 朝日スチール トイックカー同等 基礎ブロックh=450使用
 - h. フェンス新設。扉付 h=0.8m 朝日スチール トイックカー同等 基礎ブロックh=450使用
 - i. 駐車場造成 アスファルト舗装(白線・車止め設置) 既存石積み撤去・処分

2申請関係 配置図 SCALE 1/200



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
 設計担当者
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

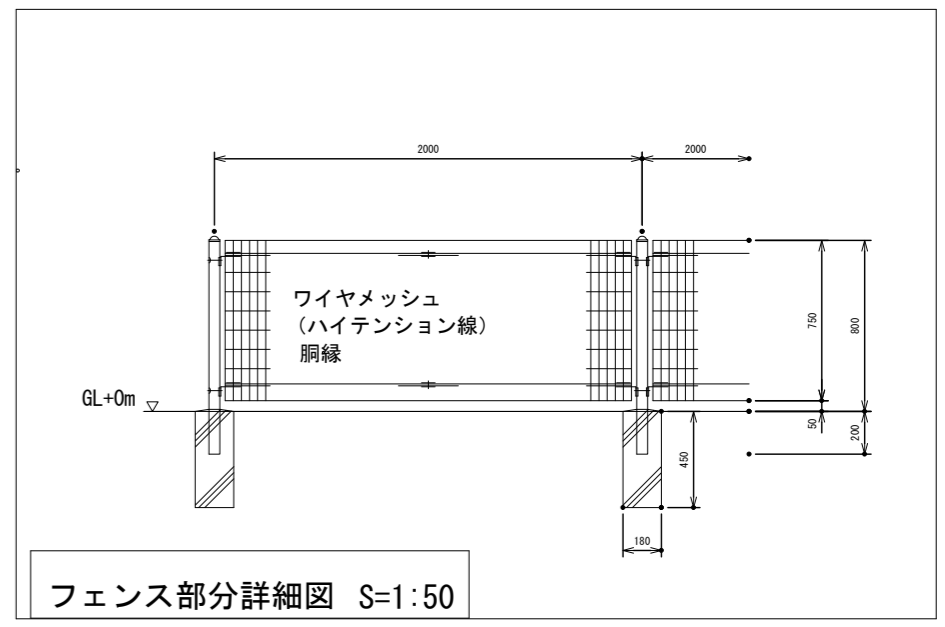
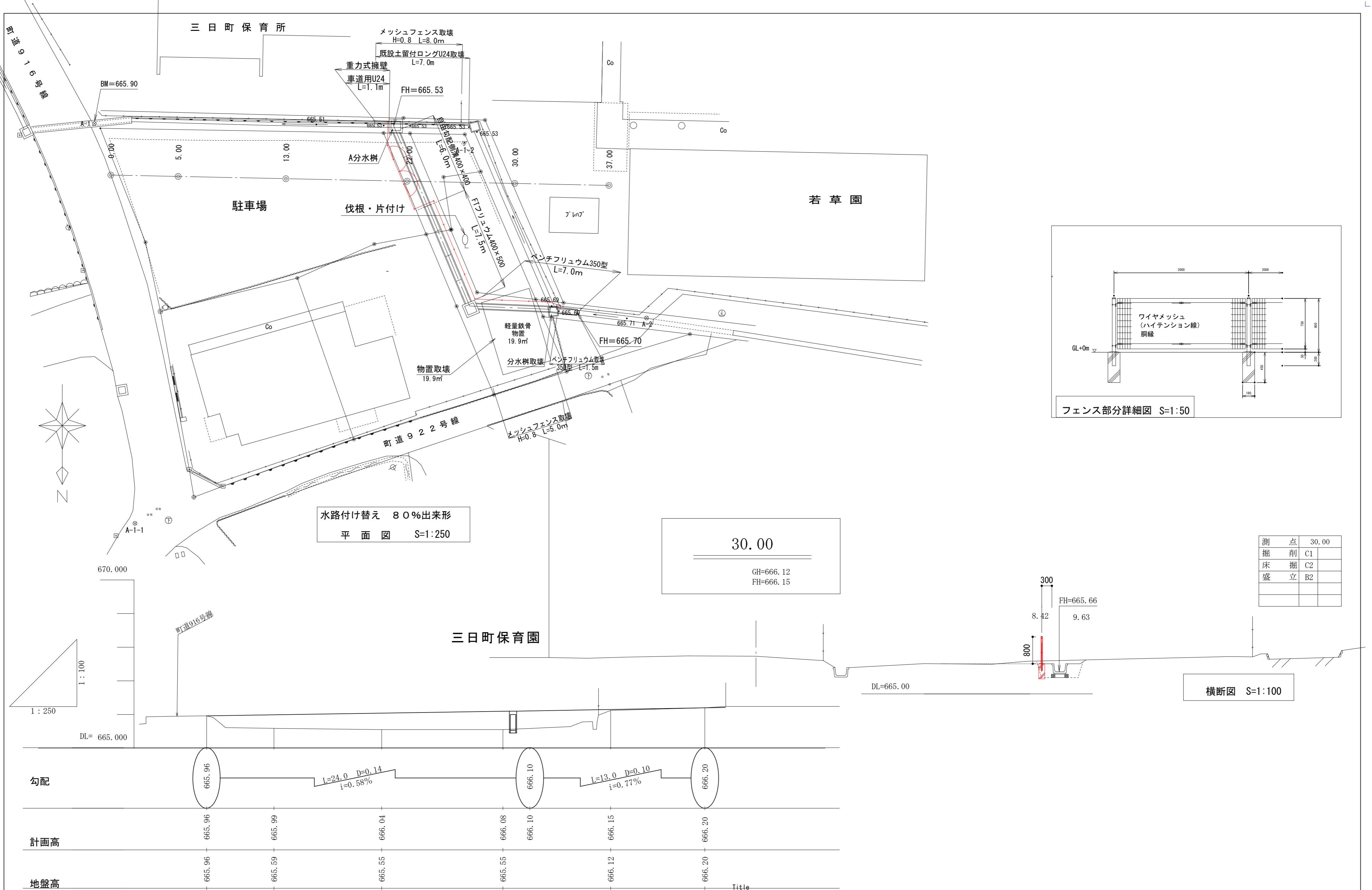
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・1
 Scale 1/200

Title
 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

Drawing Title
 全体計画配置図

Sheet No. D-22
 整理番号 23001



Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date R5・4 Scale 1/250	令和5年度若草園増築改修・ 三日町保育園増築工事	Drawing Title 水路位置・フェンス位置	Sheet No. D-23 D-** 整理番号 23001
	A3図面					

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 平成24年度 長田保育園 保育室 改築工事
 工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 2134-128, 2134-268

(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築

(3) 構造種別
 木造(W) 補強コンクリート造(CB) 鉄骨造(S)
 鉄筋コンクリート造(RC) 壁式鉄筋コンクリート造(WRC) 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)
 プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)
 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)

(4) 階数
 地下 階 地上 1 階 塔屋 階

(5) 主要用途 児童福祉施設等(保育園)----[0 8 1 8 0]

(6) 屋上付属物
 広告塔 高架水槽: ton 煙突
 冷却塔: ton

(7) 増築計画 有 () 無

(8) 付帯工事
 門扉 フェンス 擁壁

(9) 特別な荷重
 エレベーター: 人乗(ロープ式・油圧式) 材積: ton リフト: ton
 倉庫床積載荷重: kg/m² 受水槽: ton

(10) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度	スランプcm	備考
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input checked="" type="checkbox"/> 18	15	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21	18	
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input checked="" type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	
柱、梁、床、壁	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24	18	比重
2-RF床	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21 <input type="checkbox"/> 24		比重 1.9
押入コンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	比重
ラップコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通	F _c = <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

A種 B種 C種 t= 100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A D16 以下	基礎・スラブ	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 全て
	<input type="checkbox"/> SD295B		<input type="checkbox"/> ガス圧接継手
	<input type="checkbox"/> SD345 D19, D22		
丸鋼	<input type="checkbox"/> SD235		<input type="checkbox"/> 特殊継手
溶接金鋼	<input type="checkbox"/> 6 150*150		()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400A <input type="checkbox"/> SM400B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> BCR295		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SM490B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト

高力ボルト F10T F8T S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22)
 中ボルト = = 高力ボルトすべり係数試験 要 否
 アンカーボルト =12 Zマーク品

(6) 屋根、床、壁 使用箇所

ALC版 t=
 折板 形式: H = t =
 折板 形式: H = t =
 デッキプレート 形式: t =
 キーストプレート 形式: t =
 特殊デッキプレート 形式: t =

3. 地盤

(1) 地盤調査資料
 有 (建設敷地内 近隣) 地盤調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
 無 (調査予定 有 無)

(2) 地盤調査計画
 地盤調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
 土質試験 物理調査 平板載荷試験

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成

深 度	土 質	N 値	標準貫入試験						調査地番
			10	20	30	40	50	60	
0.5									
1.0									
1.5									
2.0									
2.5									
3.0									
3.5									
4.0									
4.5									
5.0									
5.5									
6.0									
6.5									
7.0									
7.5									
8.0									
8.5									
9.0									
9.5									
10.0									
10.5									
11.0									
11.5									
12.0									

別添 スウェーデン式サウンディング調査報告書参照

支持地盤、地層及び深さについてのコメント

孔内水位

備考

4. 地業工事

(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
 深さ: GL-0.45 m 支持層: 長期許容地耐力: 20 kN/m² 載荷試験 有 無

(2) 杭基礎 支持層:

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC	PC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	大臣認定 第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメント工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 (<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400)	<input type="checkbox"/> B H 深礎	第 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c =210 セメント量 300 kg/m ³ 鉄筋 主筋 SD345 HOOP SD295	<input type="checkbox"/> オールラック <input type="checkbox"/> 拡底杭 <input type="checkbox"/> リバースケーシング <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミアース <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> B H <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 機械掘	

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
 試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷)

杭径 (mm)	設計支持力 (t)	杭の先端深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工は JASS5 による。
 セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
 測定結果の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み区ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔においた3台の運搬車からその必要な本数を採取する。なお供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、4週用に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25未満の場合は150分、25 以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
 D22未満は、すべて重ね継手とする。継手をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外觀検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、 H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型)とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する***取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
 試験機関名
 代行業者名
 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠

材料 合板厚 12mmを標準とする。 打合せにより金属製型枠パネルの使用も可
 型枠最小存置期間 - - - 圧縮強度とは材令日数経過後に確認すべき強度とする。

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100%	30%	100%	
<input type="checkbox"/>	外觀(目視)検査	100%	100%	100%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	%	%	%	

第三者検査機関名 C. I. W.

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダ・掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらかさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

(6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の錆地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
 柱: ケイカル板 t=25 梁: ロックウール吹付 t=30

種類	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
セメントの種類	早強ポルトセメント	普通ポルトセメント	早強ポルトセメント	普通ポルトセメント	早強ポルトセメント	普通ポルトセメント	早強ポルトセメント	普通ポルトセメント
存置期間の平均気温	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	普通ポルトセメント	高炉セメントA種	高炉セメントA種
材令	2	3	4	6	8	17	28	28
5-15	3	5	6	10	12	25	28	28
5未満	5	8	10	16	15	28	28	28
圧縮強度	50N/mm ²				設計基準強度の50%			
					設計基準強度の85% 100%			

- 注) 1. 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2. 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
- 注) 3. 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4. 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5. 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6. 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 建設省告示第1103号による認定工場(大臣認定 グレード登録 ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッジベル
 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目
 (印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 原寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること
 ***アーク溶接工事管理規程(建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に関する***取扱要綱(建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説、、、、」

(5) 接合部の検査
 溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100%	30%	100%	
<input type="checkbox"/>	外觀(目視)検査	100%	100%	100%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	%	%	%	

第三者検査機関名 C. I. W.

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダ・掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらかさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

(6) 防錆塗装
 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の錆地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
 柱: ケイカル板 t=25 梁: ロックウール吹付 t=30

7. 設備関係

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

配筋基準図

1. 一般事項

1.1 適用範囲

- 鉄筋コンクリート構造、鉄筋鉄骨コンクリート構造、壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック構造、コンクリートブロック塀、コンクリートブロック塀壁に適用する。
- 構造図に記入のない事項は本基準図を適用する。また、本基準図で、配筋方法等の優先順位は、○印が最優先とし、次に●印を優先とする。

1.2 鉄筋の記号及び表示

記号	○	×	⊗	⊙	⊚	⊛	⊜	⊝
鉄筋径	異形鉄筋 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32	丸鋼 9 13 16 19 22 25 28 32						

- 特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を鉄筋径該当の径に読み替える。
- この基準図では上表の記号を使用しない。

表示方式		例	
異形鉄筋	n - D d	n:本数 D d:呼び名	3 - D 16
鉄筋	D d - @L	D d:呼び名 @:間隔 L:距離	D 16 - @200
丸鋼	n - d	n:本数 d:直径	3 - 16
	d - @L	d:直径 @:間隔 L:距離	9 - @200

2. 鉄筋の加工

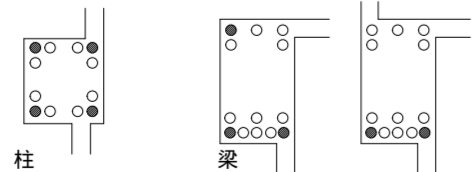
2.1 鉄筋の折曲げ基準
末端部

曲げ角度	折曲げ図	SR235 SRR235	SD295 SD345		SD390	使用箇所	
			D16 以下	D19 以上			
180		D	3d	3d	4d	5d	柱、梁の主筋、杭基礎のベース筋、径16mm以上の鉄筋
		L	11d	11d	12d	14d	
135		D	3d	3d	4d	-	径13mm以上の鉄筋、あばら筋、帯筋、床版筋、スパイラル筋
		L	11d	11d	12d	-	
90		D	3d	3d	4d	-	T形、L形梁のあばら筋
		L	11d	12d	12d	-	
135 90		D	3d	3d	4d	-	布基礎のベース筋、巾止筋
		L	8d	8d	8d	-	
		L	9d	9d	10d	-	

注1. Dは曲げ内法直径、L、L'はフック部分の長さ

中間部						
曲げ角度	折曲げ図	~D16	D19 ~D25	D29 ~D38	使用箇所	
			90以下			D
D	4d	6d			8d	床版筋、壁筋
D	3d	6d			8d	その他

- 丸鋼の末端部には、フックを付ける。
- 異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックを付ける。
 - 柱の四隅に有る鉄筋で重ね継手及び最上階の柱図に有る場合(下図●印部分)
 - 梁主筋の重ね継手が、梁の隅及び下端の両側に有る場合、但し、基礎梁を除く(下図●印部分)
 - 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
 - 杭基礎のベース筋、帯筋、あばら筋、巾止め筋



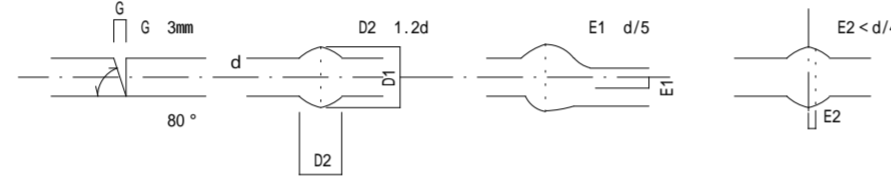
2.2 鉄筋の継手長さ、定着長さ

鉄筋の種類	設計基準強度				フック無し				フック有り			
	普通		軽量		L1	L2	L3		L1	L2	L3	
	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	150 ~ 180				45d	40d	10d		35d	30d	10d	
SD295B	210 ~ 240		210 ~ 270		40d	35d	25d		30d	25d	15d	
SD345							150mm以上				150mm以上	
SDR295	270 ~ 360				35d	30d			25d	20d		
SDR345	210 ~ 240		210 ~ 270		45d	40d			35d	30d		
SD390	270 ~ 360				40d	35d			30d	25d		
SR235	150 ~ 180								45d	45d	25d	
SR235	210 ~ 240		210 ~ 225						35d	35d	150mm以上	

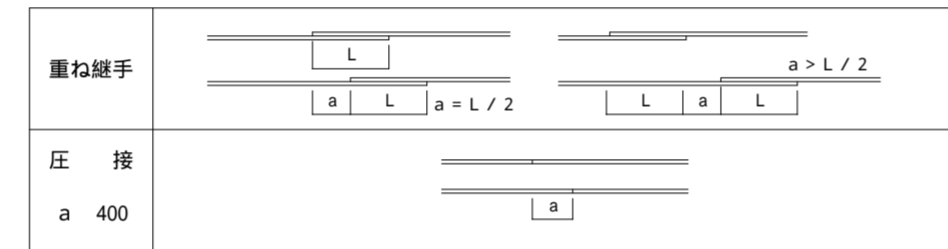
- 注意
- L1: 継手、並びに下記 2.及び3. 以外の定着長さ。
 - L2: 異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
 - L3: 小梁及び床版の下端筋の定着長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小梁を除く。
 - フックのある場合の、L1 L2 L3はフック部分を含まない。
 - 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
 - D29以上の鉄筋は、重ね継手としてはならない。
 - D19以上の鉄筋は、原則としてガス圧接とする。

2.3 ガス圧接・継手

- 鉄筋径の差が5mmを越える場合は圧接としてはならない
- ガス圧接の形状は以下の通りとする。



鉄筋の継手相互のずらし方

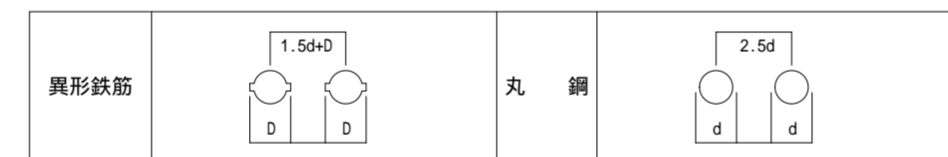


ただし、床版、壁の場合を除く

2.4 鉄筋のあき

鉄筋相互のあきは下記の値のうち最大のもの以上とする。

- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
- 25mm
- 丸鋼の径及び異形鉄筋の径(呼び名の数値)の、1.5倍以上



注 D:鉄筋の最外径 d:鉄筋径

2.5 バースポート・スペーサの種類および数量・配置の標準

部位	スラブ	梁	柱
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量 配置	上端筋、下端筋 各々1.3個/m ²	間隔1.5m程度	上段は第一段の帯筋の位置 中段は柱の中間 柱幅1.0mまで2個 1.0mまで3個
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	コンクリート製 鋼製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量 配置	面積 4m ² 程度 8個 16m ² 程度 20個	間隔 1.5m程度	上段は第一段目の壁筋 中段は上段より1.5m下 横間隔は1.5m程度

- 注意
- 側梁以外の梁は上または下に設置し、側梁は側面にも設置する。
 - 基礎梁は上または下と側面に設置する。

2.6 鉄筋のかぶり厚さ

部位	位置		かぶり厚さ (mm)
	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋 内 屋 外	
土に接しない部分	柱 梁 耐力壁	屋 内	30
		屋 外	40 (1)
	擁 壁	屋 外	50 (2)
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	壁	50 (3)
	基礎・擁 壁	壁	70

木構造 特記仕様書 1

- 1. 一般事項
(1) 適用範囲
(2) 設計図書
(3) 標準仕様書
(4) 設計図書の優先順位
(5) 疑義
(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
(7) 施工図及びブレイクアウト図の提出
(8) 製作工場の選定、承諾
(9) 各種試験・検査報告書の提出

Table with 2 columns: 2. 材料の品質, 2.1 木質材料. Contains text regarding wood material specifications and a table for wood material properties.

- 2.1 木質材料
(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)
(3) 構造用合板、構造用パネル

Table with 7 columns: 部位, 品名, 樹種, 曲げヤング係数区分, 材面品質, 接着性能, ホルムアルデヒド放散量. Contains material specifications for wood products.

Table with 7 columns: 部位, 品名, 強度等級, 曲げ性能基準, 板面品質, 接着耐久性, 寸法(mm), ホルムアルデヒド放散量. Contains material specifications for wood products.

- 2.2 ファスナー
ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。
標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ： MF20 電気メッキ： EP-Fe/Znと新メッキ

Table with 4 columns: 種類, 材質, 適用径, 使用箇所/胴部の形状. Lists fastener types like N nails, C/N nails, and wood screws.

Table with 4 columns: 種類, 材質, 適用径, 表面処理、部品等級など. Lists plate types like SS400, SUS304, and galvanized steel.

- (2) ボルト、ナット
(3) 座金
(4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

Table with 6 columns: ボルト径に対する座金の大きさ, 引張を受けるボルト, せん断を受けるボルト. Contains tables for bolt and nut specifications.

Table with 4 columns: 種類, 材質, 適用径・長さ, 表面処理、その他. Lists fastener types like drift pins, screws, and washers.

- (5) 接合金物、鋼材
(6) 接着剤(接着接合)

Table with 4 columns: 種類, 材質, 表面処理, 適用、形状、その他. Lists fastener types like Z-mark fasteners and steel plates.

- (3) 材料品質の検査方法
現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。

Table with 10 columns: 部材, 確認する仕様, 確認者, 材種等級, 外観検査, 寸法検査, 含水率測定, ヤング係数測定. Contains moisture and strength test tables.

- (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)
(3) ファスナー
(4) 接合金物

Table with 3 columns: 材料, 確認項目, 確認の方法. Lists material types and their inspection methods.

Table with 3 columns: ファスナーの種類, 確認項目, 確認の方法. Lists fastener types and their inspection methods.

- (1) 木材の防腐・防蟻処理
(2) 土壌処理
(3) 耐候処理(塗装)

Table with 3 columns: 使用部位, 高耐久材, 工場処理剤, 現場処理剤. Contains tables for preservative and soil treatment.

- (4) 耐久性(防腐・防蟻・耐候処理)

Table with 3 columns: 使用部位, 高耐久材, 工場処理剤, 現場処理剤. Contains tables for preservative and soil treatment.

- (1) 木材の防腐・防蟻処理
(2) 土壌処理
(3) 耐候処理(塗装)

- 5. 木材の加工
(1) 刻み時の注意
(2) 加工寸法の精度
(3) 表面仕上げ
(4) 面取り
6. 接合

- (1) 仕口、継手の原則
(2) 釘接合
(3) ネジ接合
(4) ボルト接合

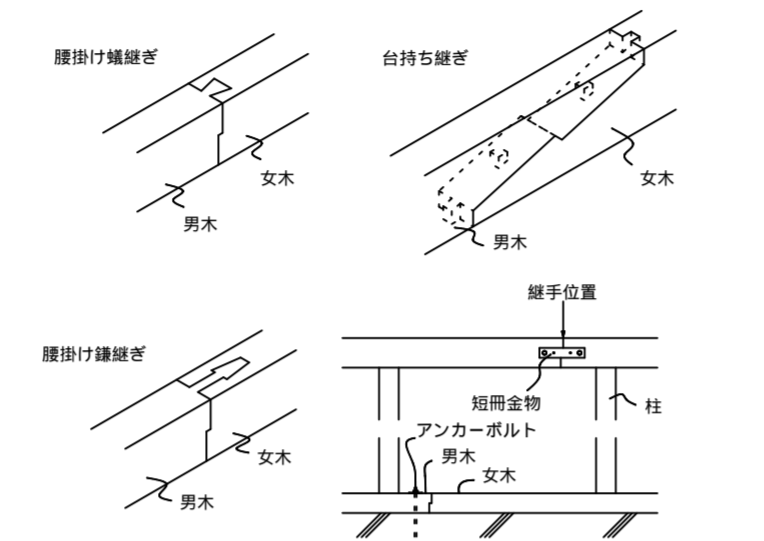
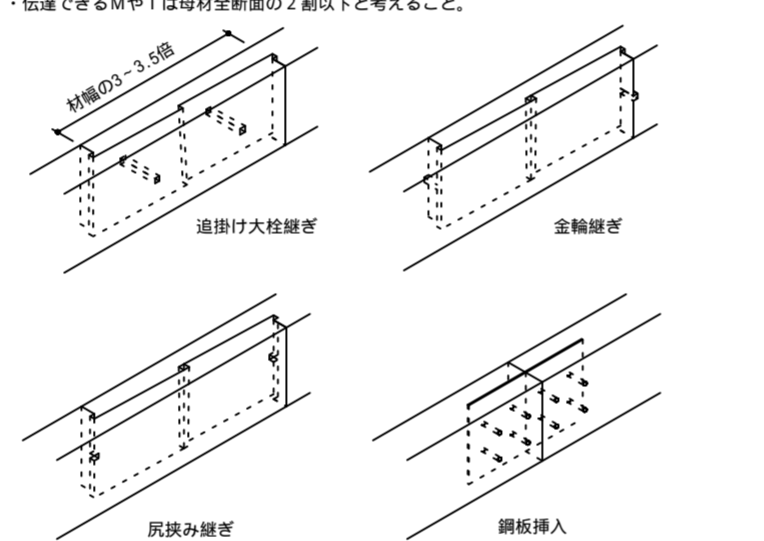
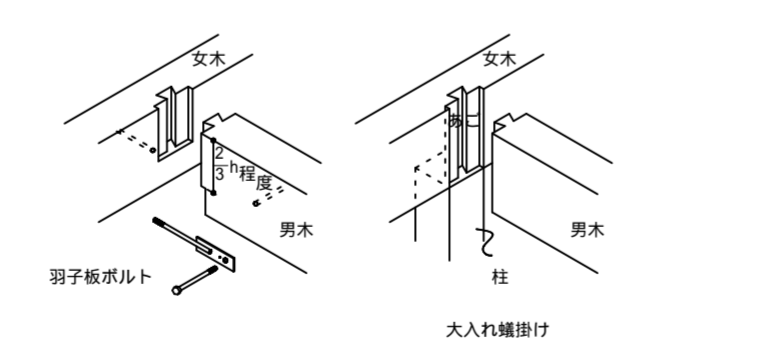
木構造 特記仕様書 2

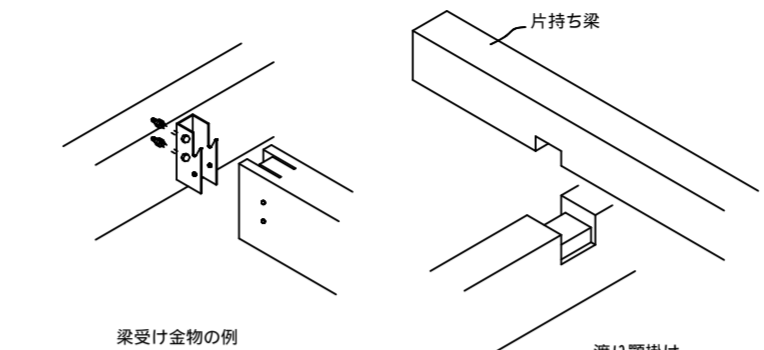
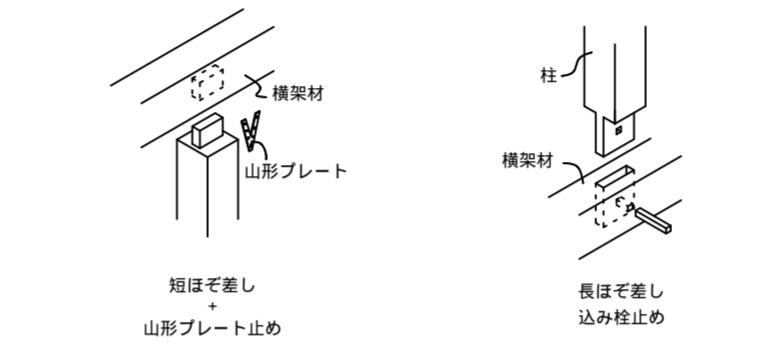
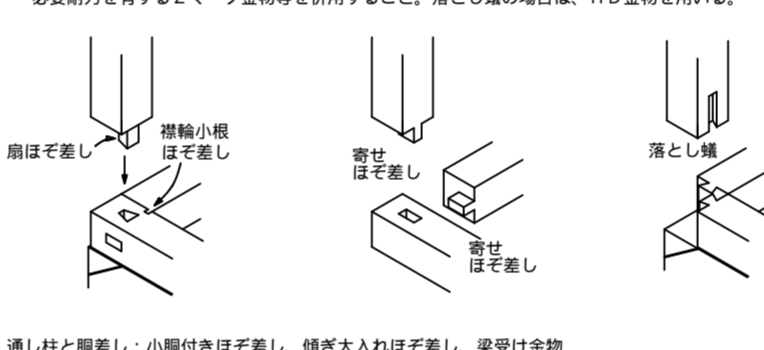
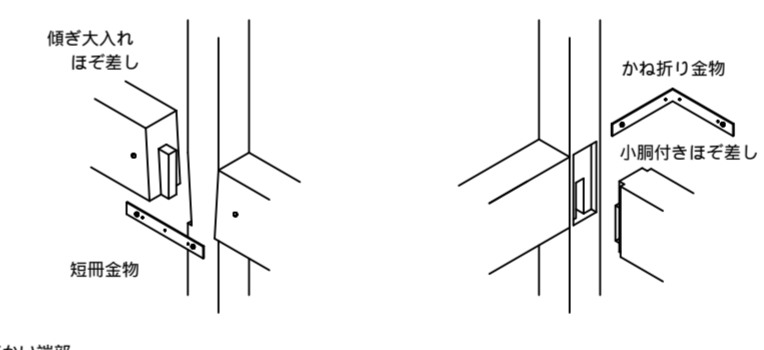
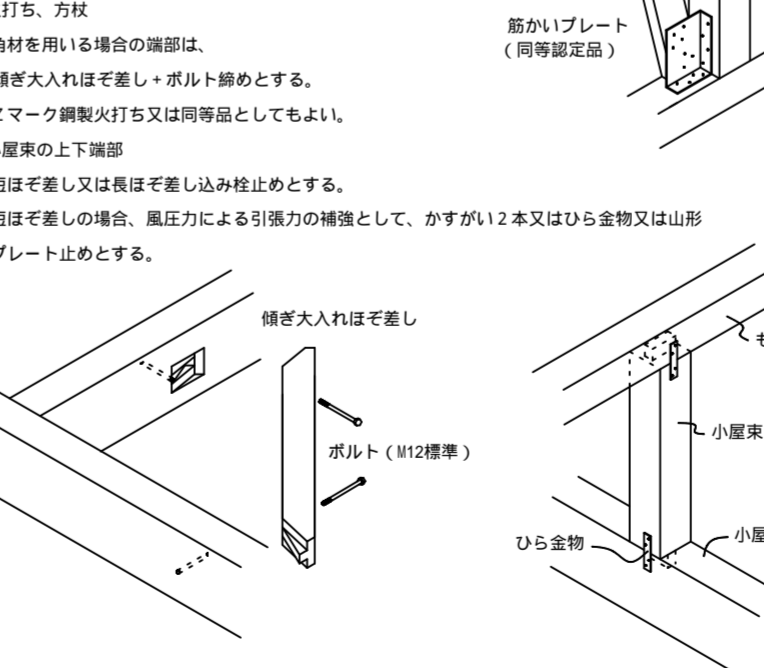
- (7) ジベル接合
- 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
 - 接合材は十分に圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (8) 既成金物の接合
- 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。
- (9) 接着接合
- 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
 - 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。
- (10) その他の方法による接合
- 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承諾を得る。

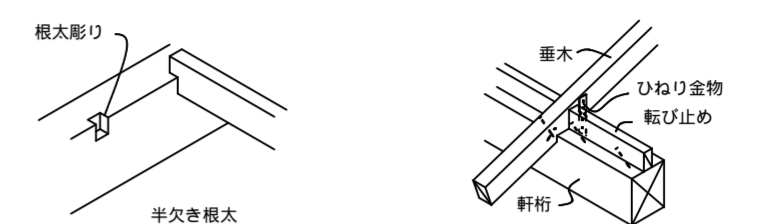
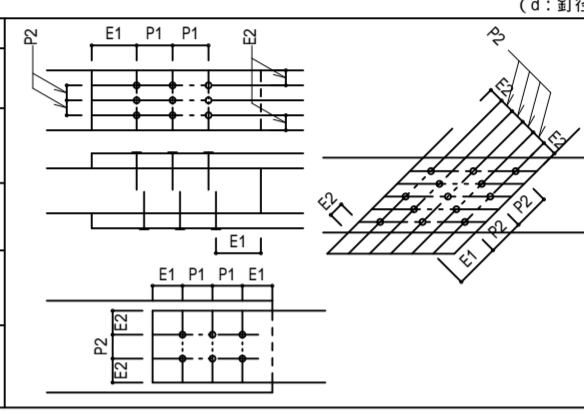
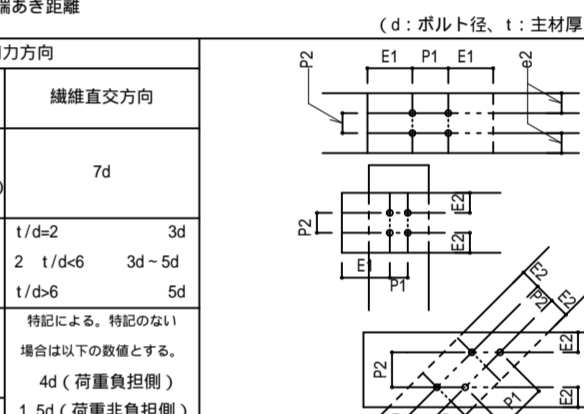
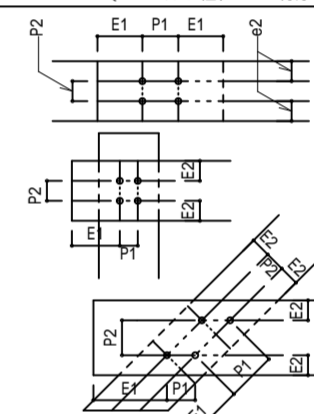
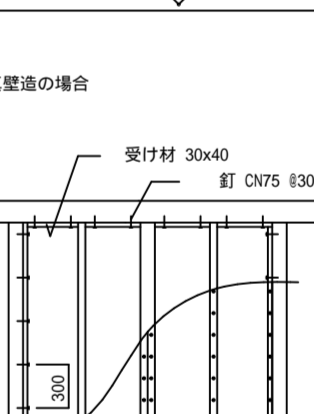
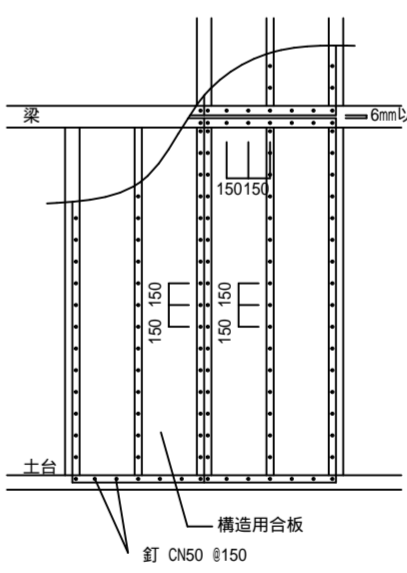
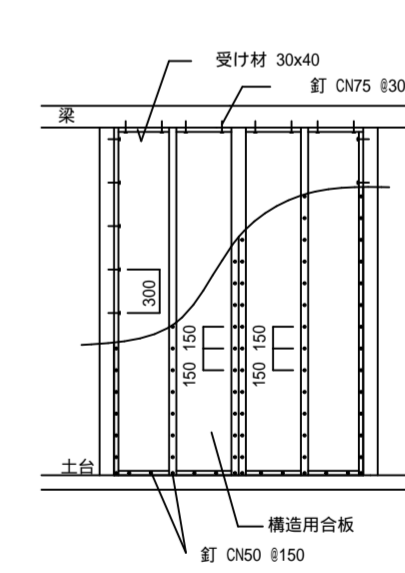
7. 運搬・建て方

- (1) 輸送計画
- 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
- 輸送計画書の提出 []
- (2) 集積・保管
- 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。 ● 集積場の確認 []
- (3) 建方計画
- 建方計画書の提出
- アンカーボルトの施工方法、建方ベース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
- 建方作業中および作業後、構架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
- 施工時の安全性に対する検討書の提出 施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
- 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせて適切な機器等で正確に行う。
 - アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
 - アンカーボルトはダブルナットとする。 適用除外 []
 - 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
 - 通り芯からの誤差 : ● ±3mm以下 []
- (6) 建方精度
- 建方の精度基準は下記による。
- 建物の倒れ : ● e H / 2500+10mm かつ e 50mm []
 - 梁の水平度 : ● e L / 700+5mm かつ e 15mm (節点間のレベル差) []
 - 建物のわん曲 : ● e L / 2500mm かつ e 25mm []
 - 柱据え付け面の高さ及び位置
 - 柱据え付け面の基準高さからの誤差 : ● ±3mm以下 []
 - 通り芯からの誤差 : ● ±3mm以下 []
 - 階高 : ● -5mm H +5mm []
- 建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
- (7) 施工状況の検査
- アンカーボルト施工時の立会い検査
- 目視による精度確認 計測機器による精度確認 アンカーボルト径、間隔
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 地組み時の立会い検査
- 目視による精度確認 計測機器による精度確認 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 建方時の立会い検査
- 目視による精度確認 計測機器による精度確認 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 建方後の施工状況の検査
- 防蟻・防蟻処理 材料の加工寸法検査 ファスナーの施工状況
 - 接合金物の施工状況 その他 []
 - 施工者自主検査記録の提出 []
- 最終確認
- 工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
- 施工者自主検査記録の提出 []

8. 軸組構法接合部の標準仕様

- (1) 横架材同士の継手
- 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
 - せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
 - 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。
- 
- (2) 曲げ応力や引張力を負担する継手
- ：追掛け大柱・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
- 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
- 
- (2) 柱の継手
- 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
 - やむを得ず柱の継ぎ手をつける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。
- (3) 横架材どうしの仕口
- せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：(大入れ) 蟻掛け
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
 - 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。
- 

- 
- (4) 柱と横架材の仕口
- 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み止め
 - 短期の引張力に対しては、平12建1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。
- 
2. 土台の出隅入隅部
- ：土台同士は榫輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は扇ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱脚部の場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。)
- 短期の引張力に対しては、平12建1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、H D金物を用いる。
- 
3. 通し柱と脚差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
- 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。
- 
- (5) 筋かい端部
- 平12建1460号の例示仕様又は同等品とする。
- (6) 火打ち、方杖
- 角材を用いる場合は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
 - Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。
- (7) 小屋梁の上下端部
- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
 - 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。
- 

- (8) 根太、挿木と横架材
- 落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け+斜め釘
 - 半欠き根太：横架材に大入れ腰掛け+斜め釘
 - 転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に扇天釘止め
 - 根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本+転び止め
 - 挿木：横架材に挿木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。
 - 風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。
- 
- (9) 間柱と横架材
- 上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘
- (10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離
- | 縦横方向 | 加力方向 | | 縦横直交方向 |
|------|------|--------|--|
| | 縦横方向 | 縦横直交方向 | |
| E1 | 15d | 10d |  |
| P1 | 12d | 10d | |
| E2 | 5d | 8d |  |
| P2 | 5d | 8d | |
- (11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離
- | 縦横方向 | 加力方向 | | 縦横直交方向 |
|------|--------------------------------|--|---|
| | 縦横方向 | 縦横直交方向 | |
| E1 | 7d (荷重負担側)
4d (荷重非負担側) | 7d |  |
| P1 | 7d | t/d=2 3d
2 t/d<6 3d-5d
t/d<6 5d | |
| E2 | t/d 6 1.5d
t/d<6 1.5dかつP2/2 | 特記による。特記のない場合は以下の数値とする。
4d (荷重負担側)
1.5d (荷重非負担側) |  |
| P2 | 3d | 4d | |
- (12) 面材耐力壁
1. 大壁造の場合
- 
2. 真壁造の場合
- 
- 受け材は柱や横架材にN75-8300以下で平打ちする。

耐力壁配置図

筋かい	
片方向筋かい(45×90)	上 ↓ 下
たすき掛筋かい(45×90)	↘ ↙
面材	
構造用合板 特種9mm以上 (面材張り大壁)	

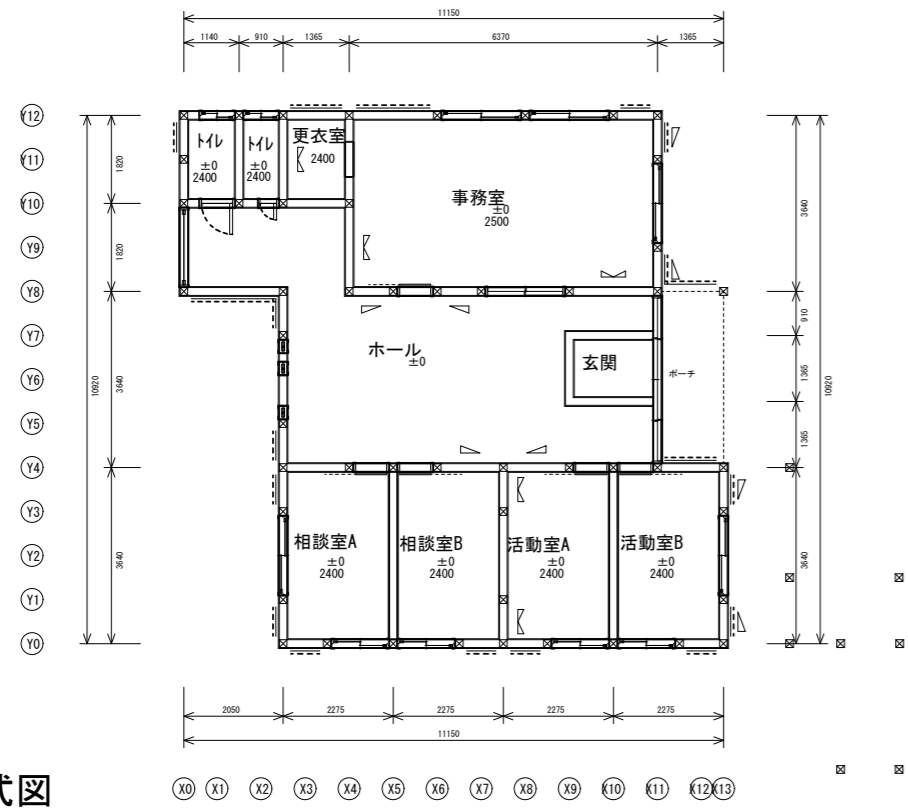
耐力壁仕様

筋かい

No	筋かいの種類	材種	倍率	接合金物仕様	使用有無
1	片方向筋かい(45×90)	木材 シングル	2.00	筋違プレートBP2	○
2	たすき掛筋かい(45×90)	木材 ダブル	4.00	筋違プレートBP2	○

(b) 面材

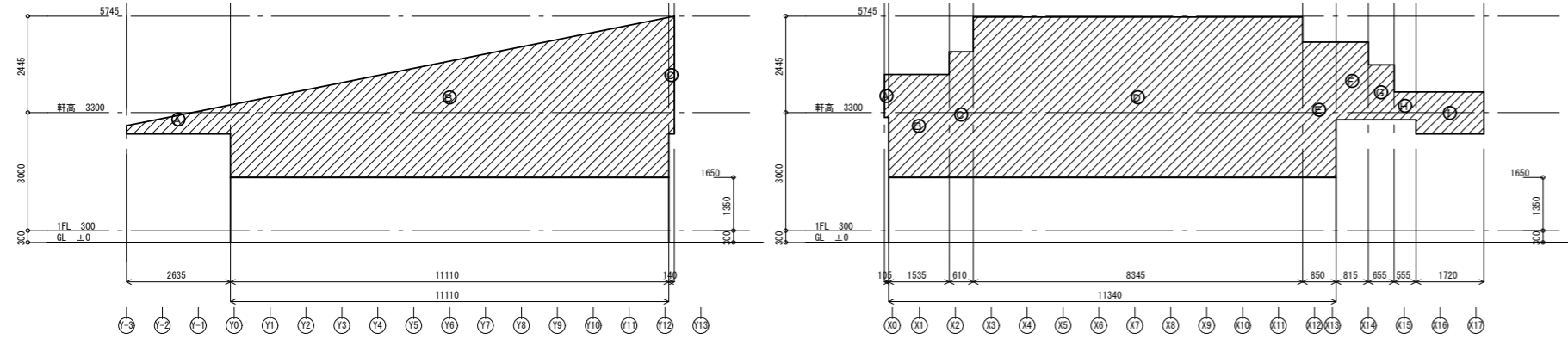
No	内装動生成	材料	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法	倍率	耐力壁種類	壁倍率算出係数 (準耐力壁の時)	使用有無
1	外部	構造用合板 特種7.5mm以上 (面材張り大壁)	7.50	S56建告110号 第1第一号	種類 N50 間隔(mm) 150.00 以下	2.50	耐力壁	0.6	○



見付面積計算式図

(1) X方向見付面積計算式図

(2) Y方向見付面積計算式図



X方向見付面積

1階	(A) (0.214+0.741) × 2.635 / 2	1.26㎡
	(B) (1.845+4.067) × 11.110 / 2	32.84㎡
	(C) (2.991+2.963) × 0.140 / 2	0.42㎡
	合計	34.52㎡

Y方向見付面積

1階	(A) 0.105 × 1.088	0.11㎡
	(B) 1.535 × 2.616	4.02㎡
	(C) 0.610 × 3.194	1.95㎡
	(D) 8.345 × 4.072	33.98㎡
	(E) 0.850 × 3.438	2.92㎡
	(F) 0.815 × 1.970	1.61㎡
	(G) 0.655 × 1.393	0.91㎡
	(H) 0.555 × 0.705	0.39㎡
	(I) 1.720 × 1.069	1.84㎡
	合計	47.73㎡

3令46条に定める壁量の算定

壁量の算定表		
建物最高軒高	3300mm	
建物最高高さ	5745mm	
評価項目	1階	
地に震よ	床面積 (小屋裏収納面積)	96.90㎡
	地震力に対する壁量係数	32.00cm/㎡
力る	必要壁量	3100.70cm
	見付面積	X方向 34.52㎡ Y方向 47.73㎡
風に圧よ	風圧力に対する壁量係数	50.00cm/㎡
	必要壁量	X方向 1726.00cm Y方向 2386.50cm
力る	必要壁量	X方向 3100.70cm Y方向 3100.70cm
	存在壁量	X方向 4766.75cm Y方向 4959.50cm
壁量手エック	Ld / Ln	X方向 1.54 Y方向 1.60
	不足長さ	X方向 -1666.05cm Y方向 -1858.80cm
判定	偏心率	X方向 0.08 Y方向 0.08
	判定	X方向 OK Y方向 OK

床面積に於ける係数(多雪地域:積雪深さ(1.50m)より直線補間した値を採用)

地域	階数	階	係数 (cm/㎡)
積雪1mの地域	2階建	平屋	25
		1階	33
		3階建	43
積雪2mの地域	2階建	平屋	39
		1階	51
		3階建	55
		1階	68
		1階	74

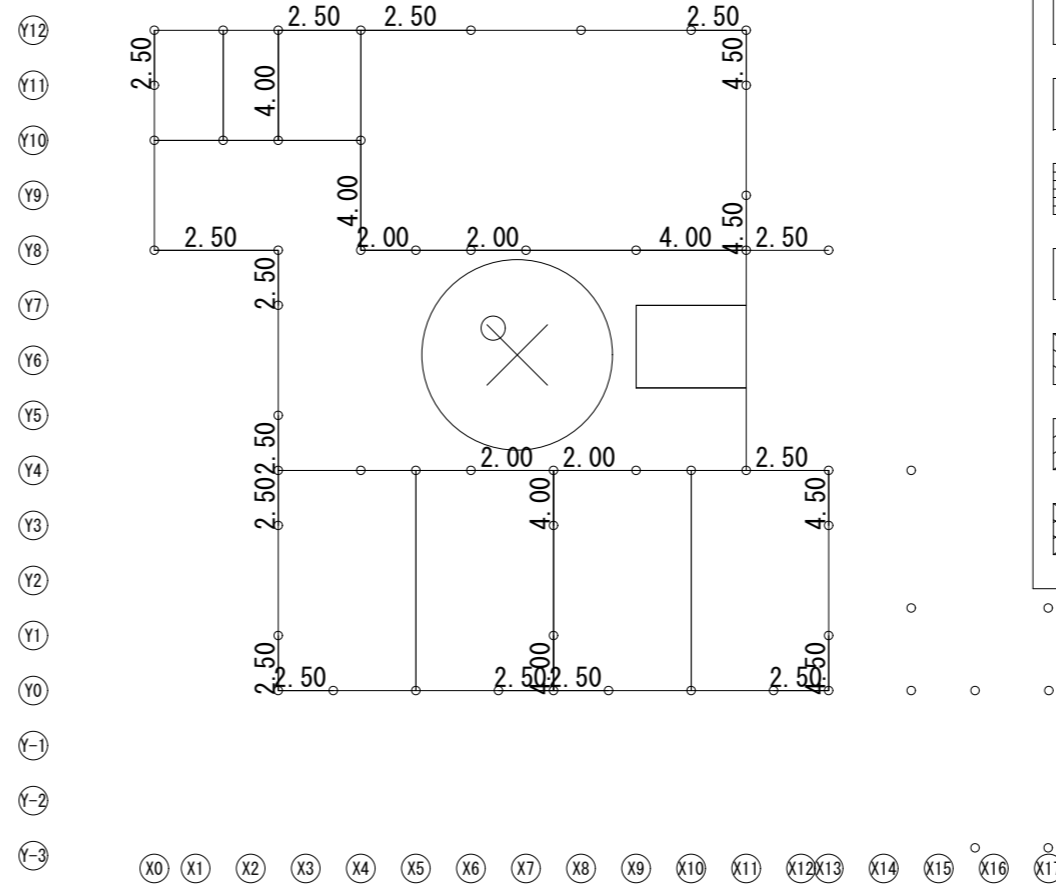
見付面積に於ける係数

地域	係数 (cm/㎡)
特定行政庁が特に強い風が吹くとして定めた地域	50~75の間で特定行政庁が定めた値
その他の地域	50

耐力壁の配置と設計壁量Ldの算定

耐力壁の配置と設計壁量Ldの算定

(1) 1階耐力壁の配置



1階X方向	通り	$\alpha_{ij} \times l_{ij}$	$\alpha_{ij} l_{ij} (cm) = \sum \alpha_{ij} l_{ij}$	$D_x \cdot (L_y - G_y)^2$
	Y0	2.50 × 364.00	910.00	326.99
	Y4	2.00 × 273.00	887.25	49.18
		2.50 × 136.50		
	Y8	2.00 × 182.00	1945.75	32.16
		2.50 × 341.50		
		4.00 × 182.00		
	Y12	2.50 × 409.50	1023.75	248.37
	計		Ld = 4766.75	Jx = 656.71

1階Y方向	通り	$\alpha_{ij} \times l_{ij}$	$\alpha_{ij} l_{ij} (cm) = \sum \alpha_{ij} l_{ij}$	$D_y \cdot (L_x - G_x)^2$
	X0	2.50 × 91.00	227.50	71.45
	X2.5	2.50 × 364.00	1638.00	206.93
		4.00 × 182.00		
	X4	4.00 × 182.00	728.00	34.89
	X7.5	4.00 × 182.00	728.00	7.22
	X11	4.50 × 182.00	819.00	143.15
	X13	4.50 × 182.00	819.00	251.88
	計		Ld = 4959.50	Jy = 715.52

α_{ij} : 耐力壁の壁倍率

l_{ij} : 耐力壁の長さ(cm)

L_d : 設計壁量(cm)

D_x, D_y : XまたはY方向の存在壁量(m)

L_x, L_y : XまたはY方向の耐力壁位置(座標)

G_x, G_y : XまたはY方向の剛心位置(座標)

J_x, J_y : 剛心Gを原点とする座標軸X、またはYに対する、水平剛性DxまたはDyの2次モーメント

偏心率の算定

計算の原点は、座標の左下(X0、Y0)とする。X方向、Y方向は計算方向を示す。

Ox: Y方向の重心位置(座標)
Oy: X方向の重心位置(座標)

ex: Y方向の偏心距離
ey: X方向の偏心距離

$$e_x = |O_x - G_x|$$

$$e_y = |O_y - G_y|$$

Lx: Y方向の耐力壁位置(座標)
Ly: X方向の耐力壁位置(座標)

rex: X方向弾力半径
rey: Y方向弾力半径

$$r_{ex} = \sqrt{(J_x + J_y) / \sum D_x}$$

$$r_{ey} = \sqrt{(J_x + J_y) / \sum D_y}$$

Gx: Y方向の剛心位置(座標)
Gy: X方向の剛心位置(座標)
 $G_x = \sum D_x x / \sum D_x$
 $G_y = \sum D_y y / \sum D_y$
 $D_y x = D_x \cdot L_y$
 $D_x y = D_y \cdot L_x$

Jx + Jy: ねじり剛性
 $J_x = \sum (D_x \cdot (L_y - G_y)^2)$
 $J_y = \sum (D_y \cdot (L_x - G_x)^2)$

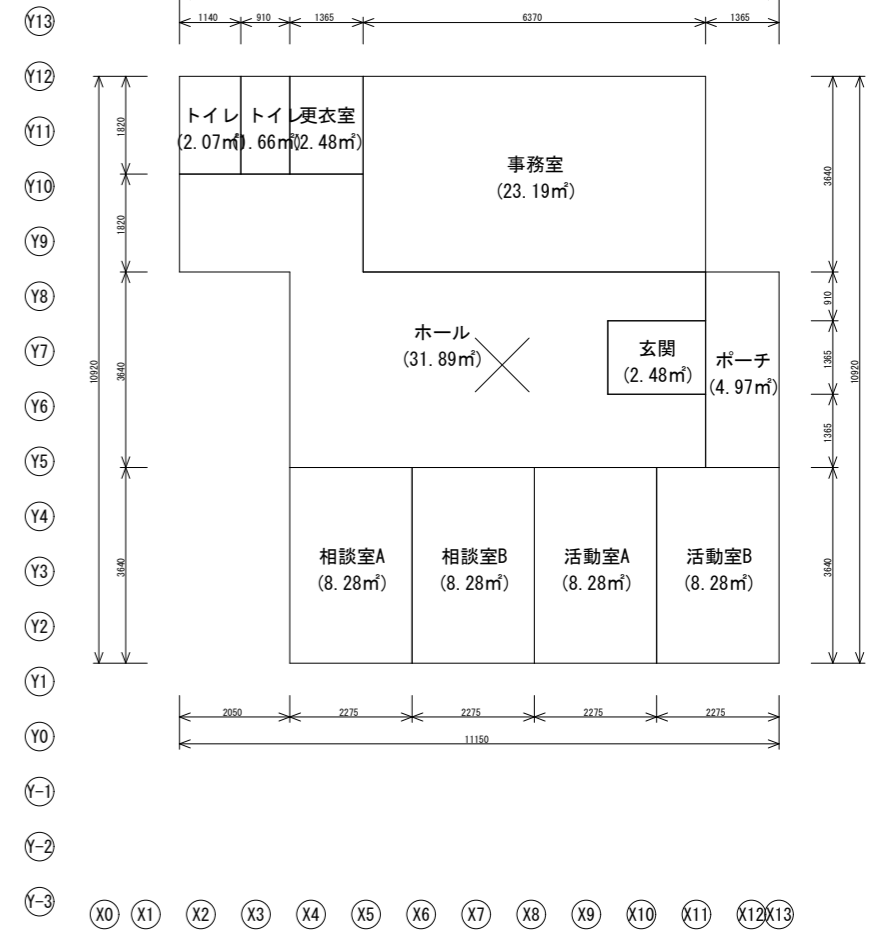
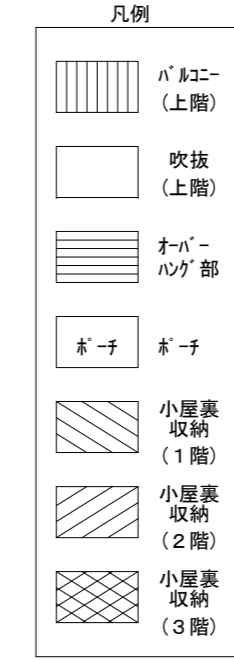
Dx: X方向の存在壁量
Dy: Y方向の存在壁量

Rex: X方向偏心率
Rey: Y方向偏心率
 $R_{ex} = e_y / r_{ex}$
 $R_{ey} = e_x / r_{ey}$

(1) 偏心率の算定

方向	階	Oy (m)	Gy (m)	ey (m)	Jx+Jy	rex (m)	Rex	判定(≤0.30)
X	1	5.550	5.994	0.444	1372.23	5.365	0.083	OK
方向	階	Ox (m)	Gx (m)	ex (m)	Jx+Jy	rey (m)	Rey	判定(≤0.30)
Y	1	6.000	5.604	0.396	1372.23	5.260	0.075	OK

(2) 重心の算定



1階重心算定図

No	階	部屋名	床面積 A (㎡)	係数	区画重量 Wj	基準点からの距離 xj (m) yj (m)	X方向 Wxj	Y方向 Wyj
1	1	トイレ	2.07	14.00	29.05	0.57 10.01	16.56	290.79
2	1	更衣室	1.66	14.00	23.19	1.60 10.01	37.10	232.13
3	1	事務室	2.48	14.00	34.78	2.73 10.01	94.95	348.15
4	1	相談室A	8.28	14.00	115.93	3.19 1.82	369.82	210.99
5	1	ホール	31.89	14.00	446.41	4.87 5.97	2174.02	2665.07
6	1	相談室B	8.28	14.00	115.93	5.46 1.82	632.98	210.99
7	1	事務室	23.19	14.00	324.62	6.60 9.10	2142.49	2954.04
8	1	活動室A	8.28	14.00	115.93	7.74 1.82	897.30	210.99
9	1	玄関	2.48	14.00	34.78	8.88 5.69	308.85	197.90
10	1	活動室B	8.28	14.00	115.93	10.01 1.82	1160.46	210.99
11	1	ポーチ	4.97	14.00	69.56	10.47 5.46	728.29	379.80
		合計	---	---	1426.11	---	8562.82	7911.84

Y方向重心 $O_x = \sum W x_j / \sum W_j$ 6.00 = 8562.82 / 1426.11
X方向重心 $O_y = \sum W y_j / \sum W_j$ 5.55 = 7911.84 / 1426.11

(3) 剛心の算定

1階X方向剛心位置(座標)

通り	Dx	Ly (m)	DYx
Y0	9.100	0.000	0.000
Y4	8.873	3.640	32.296
Y8	19.458	7.280	141.651
Y12	10.238	10.920	111.794
計	47.668		285.740

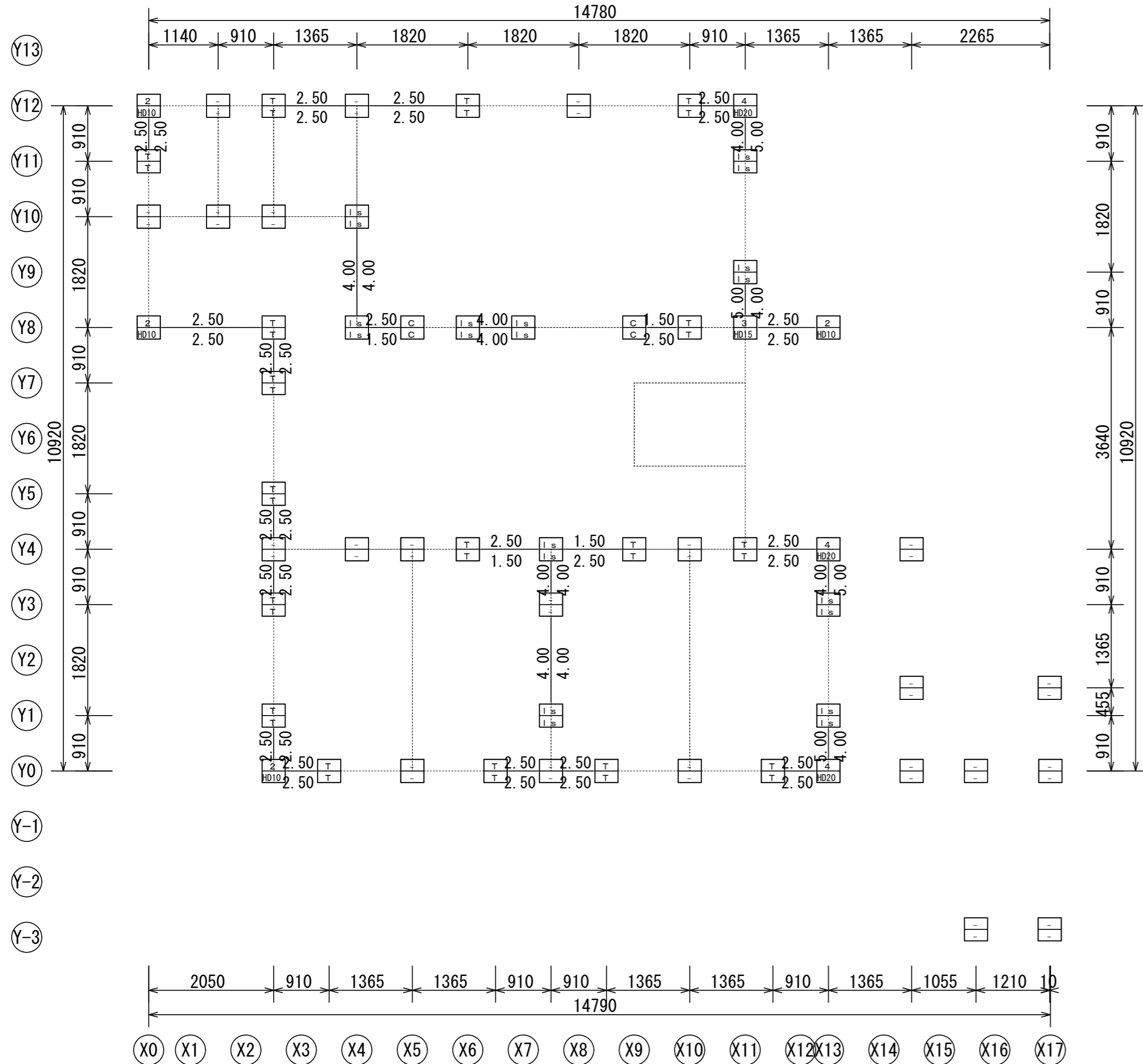
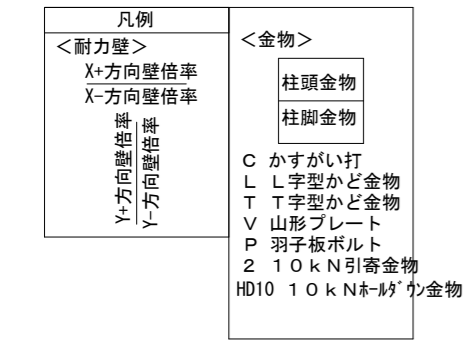
$G_y = \sum D Y x / \sum D x = 285.740 / 47.668 = 5.994 (m)$

1階Y方向剛心位置(座標)

通り	Dy	Lx	DXy
X0	2.275	0.000	0.000
X2.5	16.380	2.050	33.579
X4	7.280	3.415	24.861
X7.5	7.280	6.600	48.048
X11	8.190	9.785	80.139
X13	8.190	11.150	91.319
計	49.595		277.946

$G_x = \sum D X y / \sum D y = 277.946 / 49.595 = 5.604 (m)$

1階柱頭柱脚金物配置図



柱頭・柱脚の接合金物の検討 (N値計算法)

[使用記号]

- β : 押え(曲げ戻し)の効果を表す係数
- A : 当該柱の両側における耐力壁等の倍率の差(正:引張、負:圧縮)
- L : 鉛直荷重による押え効果係数
- Tu : 直上柱以外からの伝達引張力 <ND>
- T : 必要引張力 <ND>
- GN : 耐力壁より算定した柱のせん断力(金物工法のみ) <ND>
- A が正(引張)の場合: $N値 = A \times \beta + 上階のA \times \beta - L$
- A が負(圧縮)の場合: $N値 = A + 上階のA \times \beta - L$
- Cμ : 摩擦力による低減係数(金物工法のみ)

階	符号	方向	β	A	上階のA+ β	L	Tu	N値	T	柱頭金物名称	記号	許容引張耐力	検定値	判定
1	X13	X+	0.8	-2.50	0.00	0.40	0.00	-2.90	-15.86	19.69	20kN引帯金物	4	20.00	0.98 OK
		X-	0.8	2.50	0.00	0.40	0.00	1.60	8.75					
		Y+	0.8	5.00	0.00	0.40	0.00	3.60	19.69					

階	符号	方向	β	A	上階のA+ β	L	Tu	N値	T	柱頭金物名称	記号	許容引張耐力	検定値	判定
1	X6	X+	0.5	2.50	0.00	0.60	0.00	0.65	3.55	3.55	T字型かど金物	T	5.07	0.70 OK
		X-	0.5	-1.50	0.00	0.60	0.00	-2.10	-11.48					
		Y+	0.5	0.00	0.00	0.60	0.00	-0.60	-3.28					

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-hori1@inacatv.ne.jp

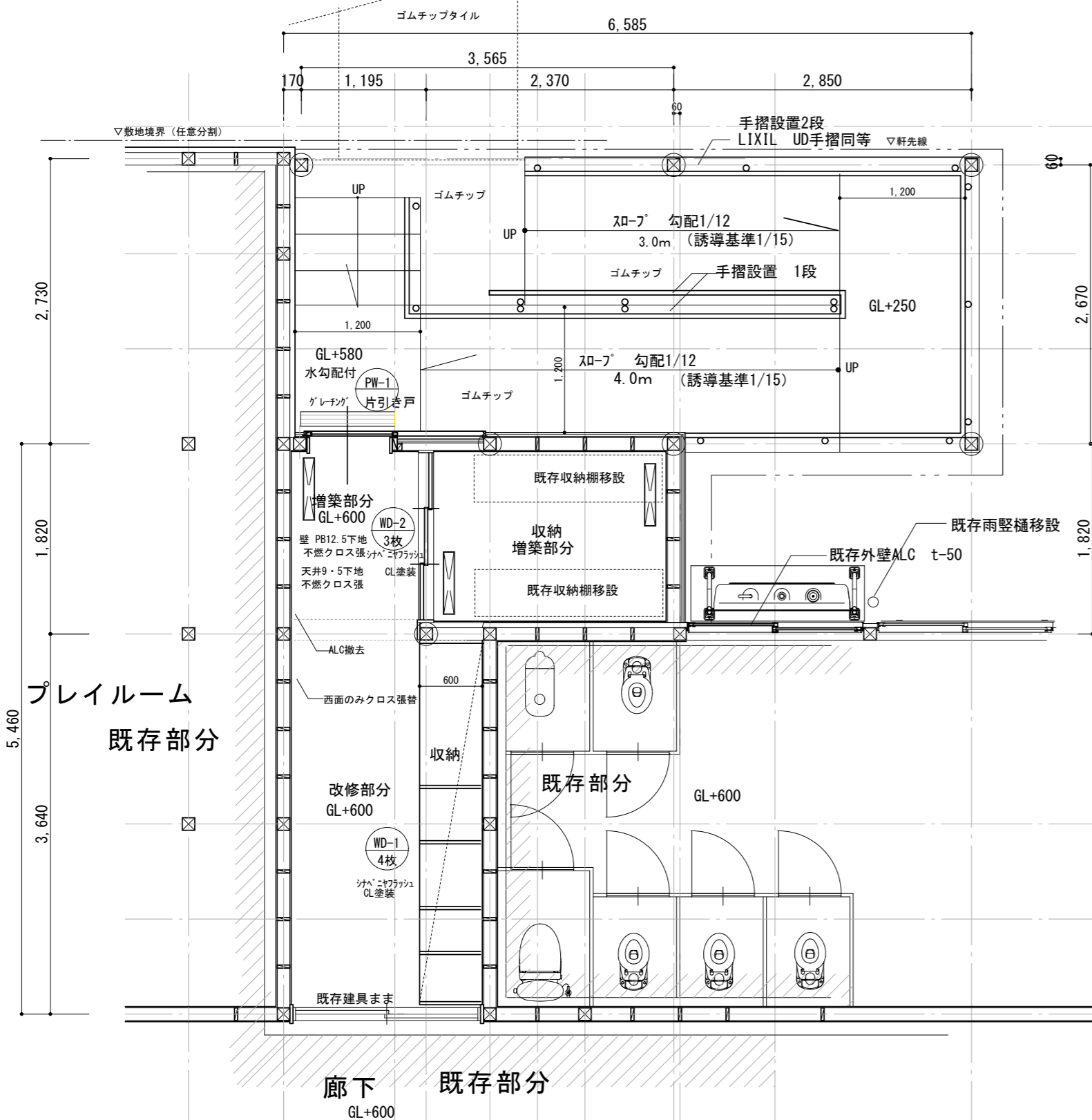
一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号 設計担当者
 管理建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685
 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5.1
 Scale

Title 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事

Drawing Title 柱頭柱脚金物伏図・計算書

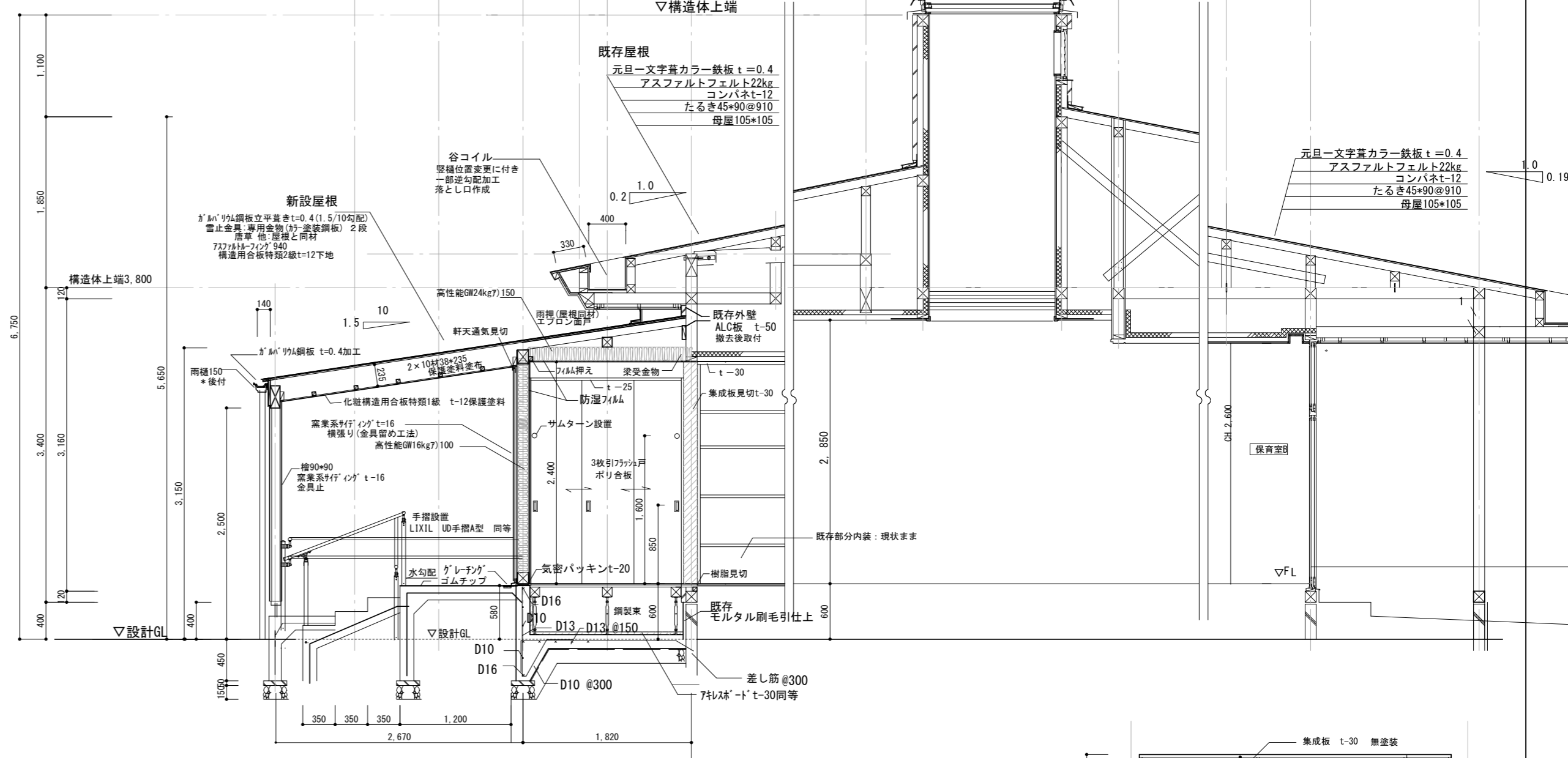
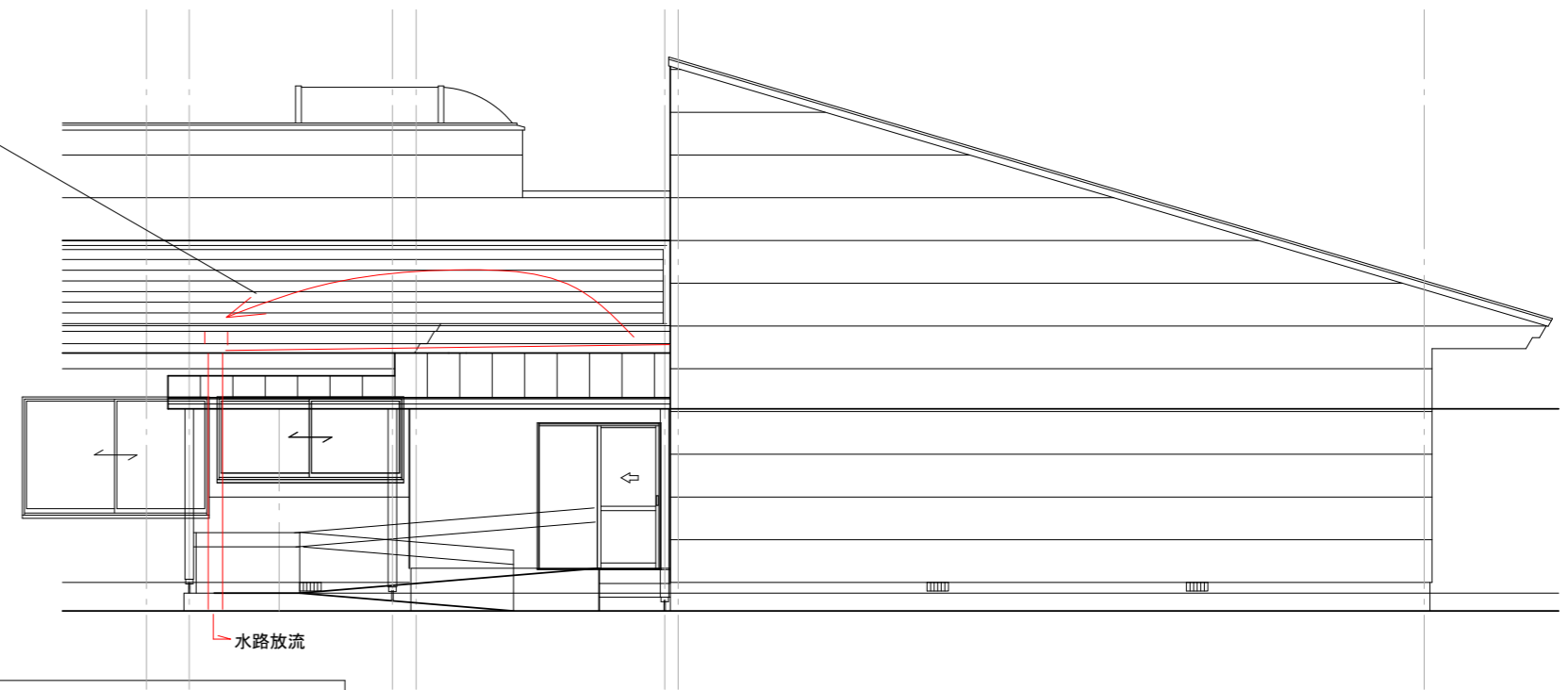
Sheet No. S-09
 D-**-
 整理番号 23001



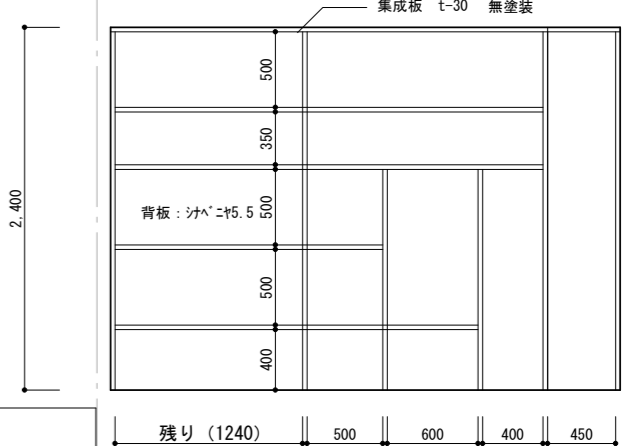
平面図 S=1:50

改修部分床面積	3.64×1.82	6.625m ²
増築部分床面積	1.82×3.735	6.797m ² ・・・<10㎡
増築部分建築面積	24.775m ²	外部への高い開放性を有し、通行の用途のみ

立面図 S=1:100



矩形図 S=1:50



収納内部

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
設計担当者 堀口 隆
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

一級建築士 第229022号 堀口 隆

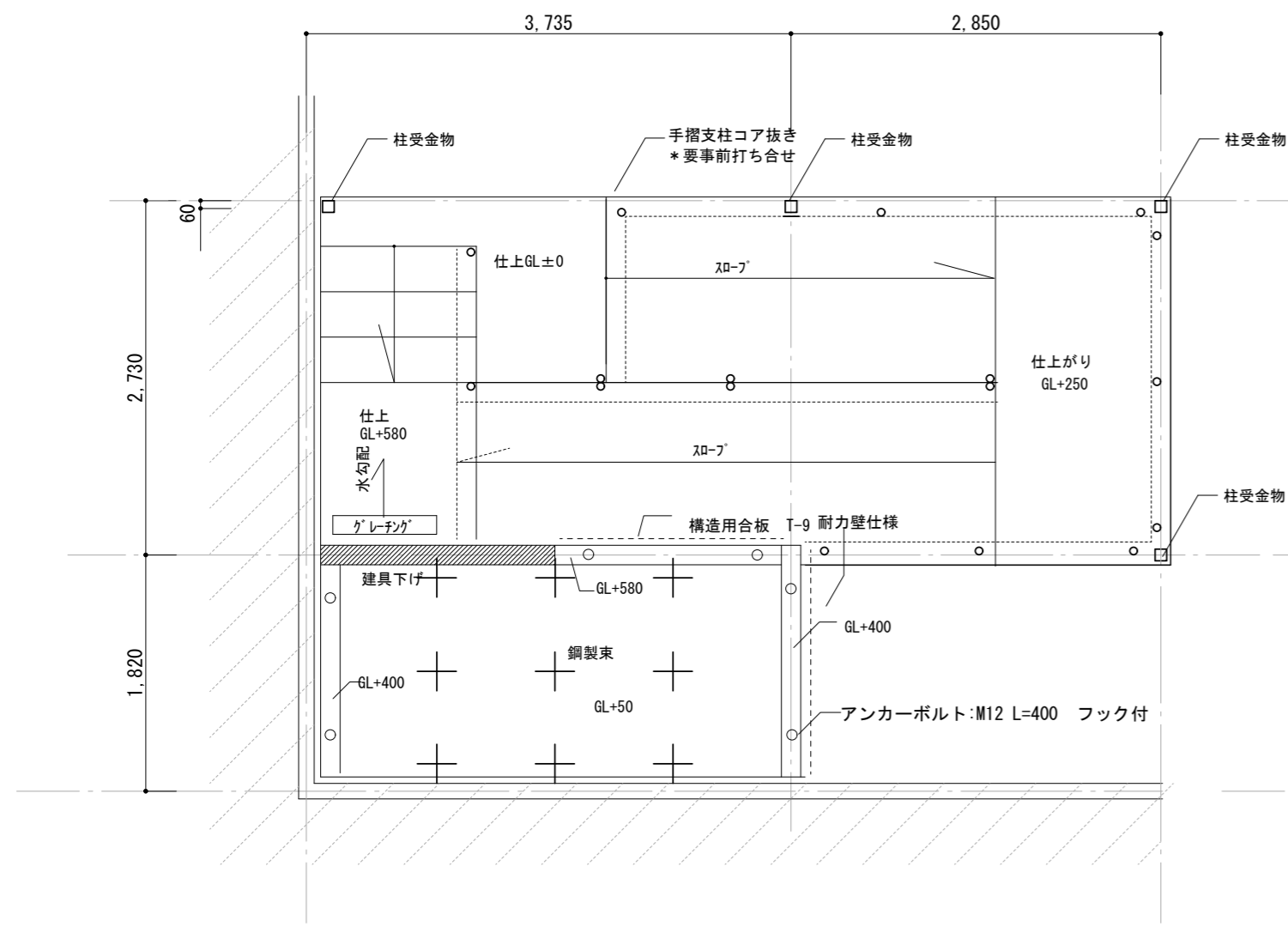
Date R5・1
Scale 1/50 他

Title 三日町資材室改修・スロープ設置工事

Drawing Title 平面詳細図・立面図。矩形図・展開図

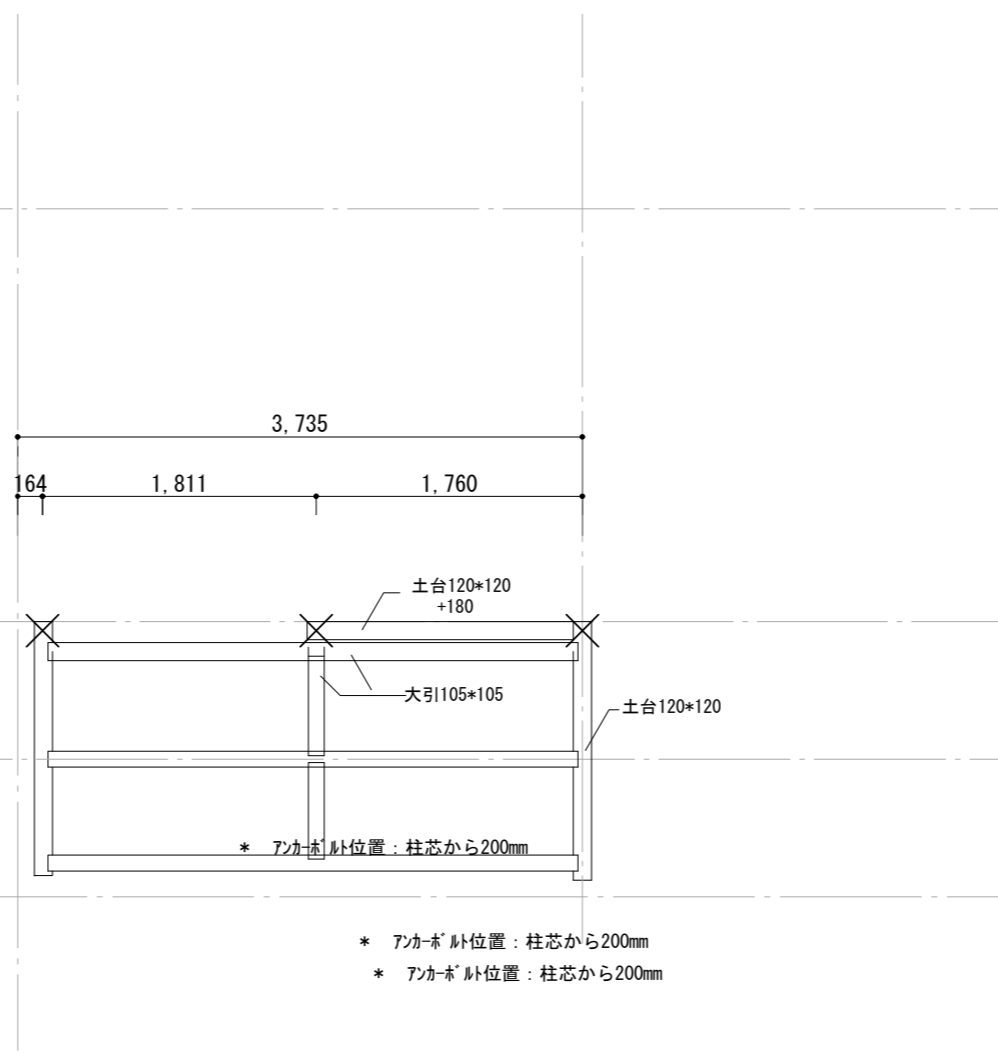
Sheet No. DM-1 / DM-02
整理番号 23001

本図面はA2作成(100%印刷) A3図面(70.7%)→141.4% (A2) A4印刷(50%)



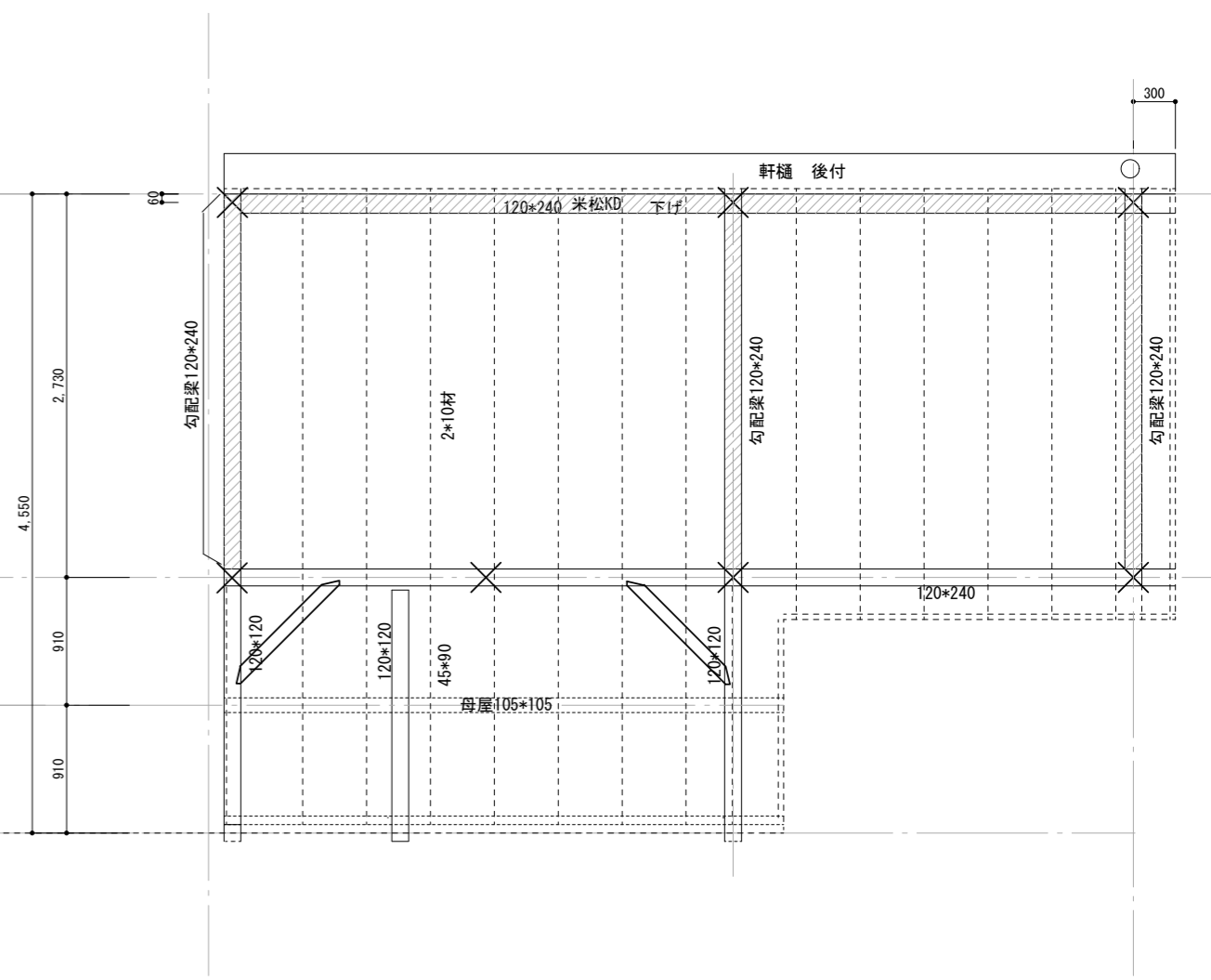
基礎伏図 S=1:50

*増築のため、参考寸法とし、要打ち合わせ 現地調整



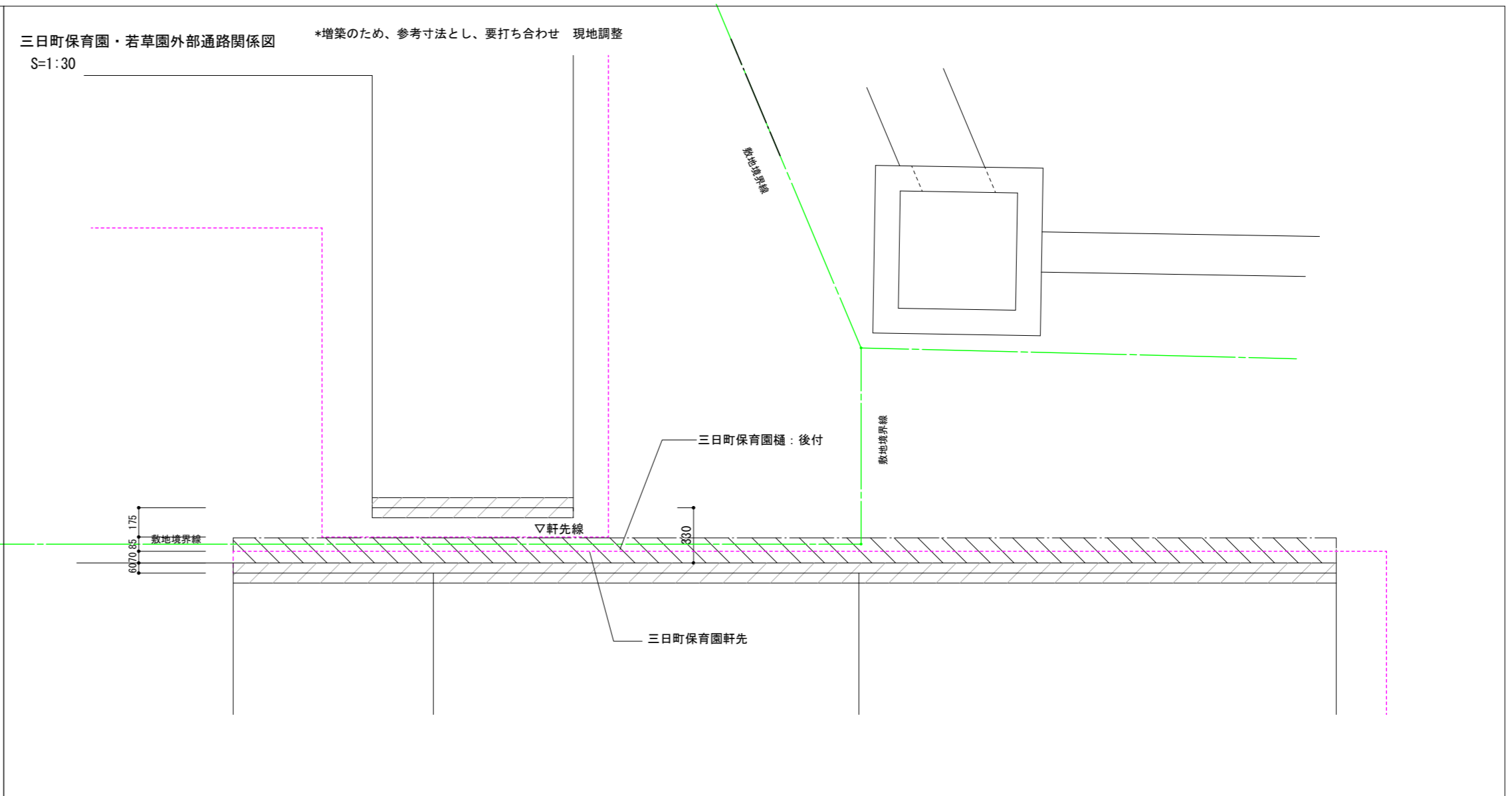
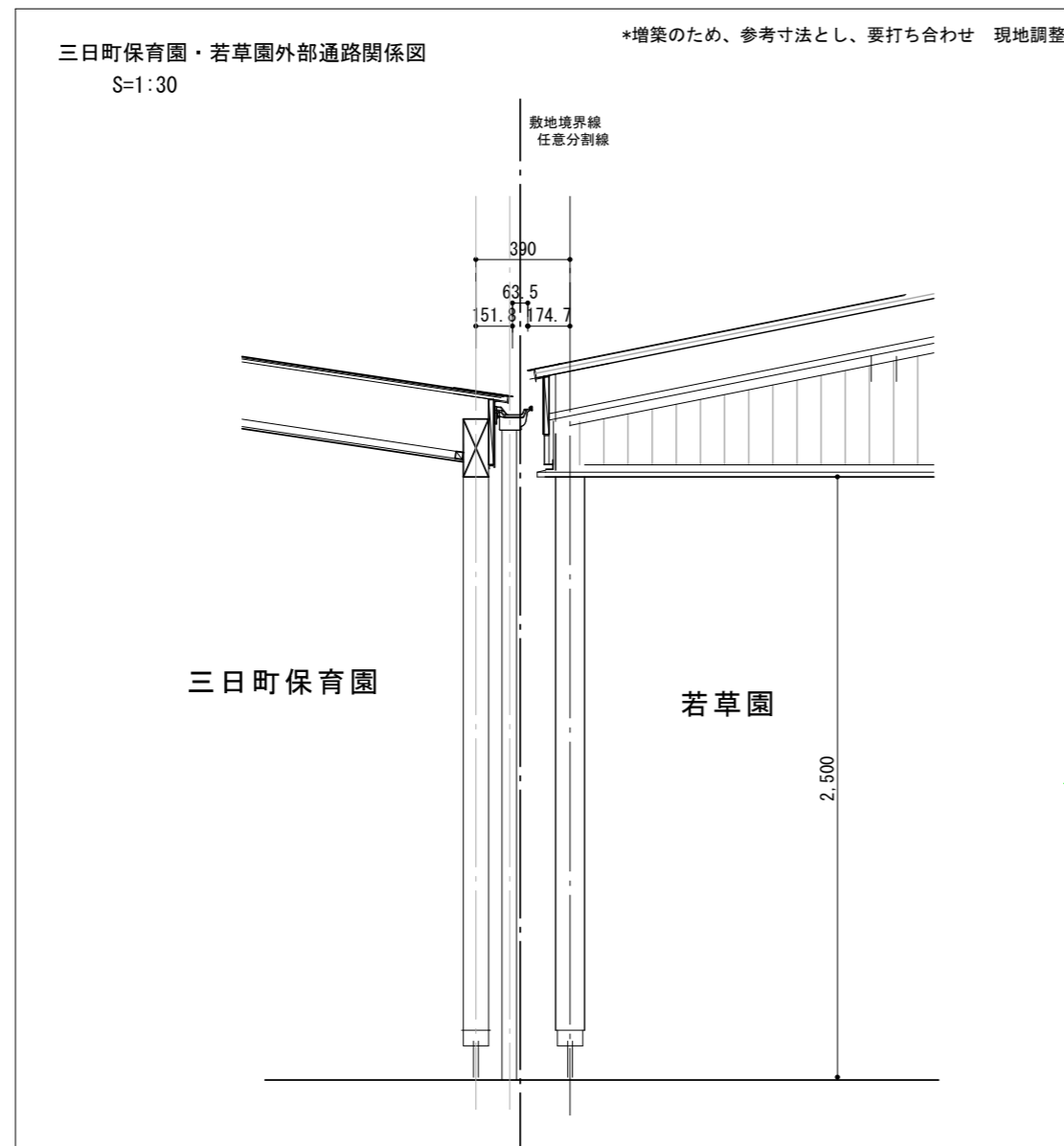
床伏図 S=1:50

*増築のため、参考寸法とし、要打ち合わせ 現地調整



梁伏・小屋伏図 S=1:50

*増築のため、参考寸法とし、要打ち合わせ 現地調整



電気設備工事 特記仕様書

1 工事名称 令和5年度 若草園増築改修・三日町保育園増築工事
2 工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字三日町 1456(内)
3 用途地域等 都市計画区域(内・外) 再建地域(無指定)
4 主要用途 児童福祉施設等(08210)[心身障害児母子通園訓練施設]
5 着工前の提出 青(白)焼煙小(A3版)2つ折製本2部、青(白)焼(A2版)2つ折製本1部を工事打合せとして提出のこと

6 工事項目(○印の付いたものを適用する。)
工事種別 工 事 種 別
電灯設備
動力設備
電熱設備
電機設備
受変電設備
静止形電源設備
発電設備
屋内情報通信設備
構内配線設備
情報表示設備
映像・音響設備
防犯・音響設備
防犯・入室管理設備
自動火災報知設備
中央空調設備
構内配線設備
構内通信設備
電波障害調査

電気設備工事特記仕様
1 共通事項
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理課長監督の「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編(平成19年版)」...

2 特記事項
(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。

章 項目 特記事項

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

1 適用基準等
2 機材等
3 機材の品質・性能証明
4 保 険
5 産 用
6 施工計画・施工図等
7 手続き
8 工事実績情報の登録
9 事故報告
10 電気保安技術者
11 工事で用いる電力、水など
12 工事で用いる設備
13 監督員事務所
14 足場、さん機類
15 発生材の処理

16 他工事との工事区分
17 保温、結露防止
21 電線類
22 合成樹脂製可とう管
23 二種金属製可とう管
24 電線本数、管径など
25 インサート
26 呼び線
27 フラッシュプレート
28 フロアプレートベース
29 ハンドホール蓋
30 支持金物、固定金物
31 あと施工アンカー
32 はつり
33 再用機器
34 撤去後の補修等

35 接地種の種別・表示等
接地種の種別
接地抵抗値
接地種の規格、数量

36 塗装工事
37 山留め
38 舗装工事
39 公共事業労務費調査に対する協力
40 不法無届の排除
41 工事経過記録

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 形式
3 発電機
4 原動機
5 燃 料
6 太陽光発電装置
7 電話交換機
8 電話機への配線
9 ローテンションアクトレット(亀甲形)
10 保安用接地地

1 工事範囲及び施工方法
項目 配 管 配 線 機 器 類 合成樹脂管配線 金属管配線 ケーブル配線
構内情報通信設備
映像・音響
誘導支援
テレビ共同受信設備

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 電気方式
2 施工場所及び面積
1 工事範囲
2 受変部
3 選管導線
4 接地種
5 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 引込ケーブル
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 直流電源装置
2 交流無停電電源装置
1 工事範囲
2 形式
3 発電機
4 原動機
5 燃 料
6 太陽光発電装置

1 工事範囲
2 電話交換機
3 電話機への配線
4 ローテンションアクトレット(亀甲形)
5 保安用接地地

1 工事範囲及び施工方法
項目 配 管 配 線 機 器 類 合成樹脂管配線 金属管配線 ケーブル配線
構内情報通信設備
映像・音響
誘導支援
テレビ共同受信設備

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 電気方式
3 接地種
4 配電線
5 主進断装置
6 高圧機器類
7 変圧器容量
8 進相用コンデンサ
9 リアクトル
10 自動力率制御装置
11 測定用補助接地

1 工事範囲
2 監視制御対象設備
3 表示操作盤
4 監視制御装置

1 工事範囲
2 電気方式
3 布設方法
4 柱上機器
5 高圧ケーブルの
6 その他
7 外灯設備
8 沈下対策
9 標識シート
10 予備配管

1 工事範囲
2 用途
3 施工方法
4 標識シート高さ

表2「機器取付高さ」図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりたい場合は監督員と協議する。

Table with columns: 名 称, 電 力 測 定 取 付 高 (mm), 名 称, 測 定 取 付 高 (mm). Lists various electrical equipment and their installation heights.

(取付高さは、打合せによる)

表1「完成書類」本工事了後下記の書類を提出すること。詳細については、協議による。

Table with columns: 名 称, 完 成 書 類, 部 数, 名 称, 完 成 書 類, 部 数. Lists required documents and their quantities.

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムのみ品質・グレードを規定する旨で、対象品の寸法図、諸元及びシステム構成等を参照して記載している。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arco-hori@inacatv.ne.jp
Title: 令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事
Drawing Title: 電気設備工事 特記仕様書
Sheet No.: E-01
Drawing No.: E-05
整理番号: 07013

照明器具姿図

分電盤 名称・形式	電気方式 幹線	主幹及び回路構成	回路 記号	分岐遮断器 A T	容量 (kw)	負荷名称	備考
電灯盤 鉄製	CVT	E3P60A次相	①	M30/20	.	非常灯	
			②	"	.	誘導灯	
			③	"	.	照明	
			④	"	.	予備	
			1	"	.	コンセント	
			2	"	.	コンセント	
			3	"	.	コンセント	
			4	"	.	コンセント	
			5	"	.	コンセント	
			6	"	.	コンセント	
			7	"	.	コンセント	
			8	"	.	コンセント	
			9	"	.	コンセント	
			10	"	.	コンセント	
			11	"	.	コンセント	
12	"	.	コンセント				
13	"	.	コンセント				
					.	予備	
					.	予備	
					.	予備	
					.	SP	

A	LED直付形 2500lm	B	LED付 ｸﾗｲﾄ 白熱灯60w相当	C	LEDﾌﾗｯｸﾄ 白熱灯60w相当
	LEKT41225N-LS9 ●LED (電球色) ●寸法: 幅120×1.250×高さ53 ●本体: 鋼板 白 ●LEDユニット: 10リチウム電池 乳白 ●定格電圧: AC100V~242V ●消費電力: 17.0W (A2200V時) ●器具光束: 2,500 lm 固有エネルギー消費効率: 147.0 lm/W ●寿命: 40,000時間 (光衰減率90%) ●相関色温度: 5000K 平均演色評価数 (Ra): 83 ●重量: 1.8kg ●LEDユニット: TEN000シリーズ 直付形 幅120	LED085031Y ●LEDユニットフラット形 8.0W以下 ランプ別売 ●器具光束: 径φ155×高さ68 ●埋込寸法: 径φ125×高さ75 ●材質: プラスチック (バーゼンホワイト) ●反射板: プラスチック (バーゼンホワイト) ●天井材の厚さ5~25mm以内 ●動作電圧: 110V LEDユニットフラット形8.0W以下ダウンライト7台まで ●必ずスイッチと併用してお使いください。 ●器具待機時電力約0.5W ●寿命: 40,000時間 ●LEDユニット: TEN000シリーズ 直付形 幅120		LED687930YL (W)-LS ●LED (電球色) ●寸法: 幅285×高さ90×出85 ●本体: プラスチック (ライトブルー) ●材質: アルミ樹脂 (乳白) ●ガード: プラスチック (クリアホワイト) ●定格電圧: AC100V ●消費電力: 6.5W ●器具光束: 420 lm ●固有エネルギー消費効率: 64.6 lm/W ●相関色温度: 2700K (電球色) ●平均演色評価数 (Ra): 80 ●寿命: 40,000時間 ●重量: 0.8kg ●LEDユニット: TEN000シリーズ 直付形 幅120	
D	LED付 ｸﾗｲﾄ 白熱灯60w相当	E	LEDﾌﾗｯｸﾄ ｸﾗｲﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾊﾞﾙﾌﾞ 50w相当	F	LED付 ｸﾗｲﾄ 水銀ﾗﾝﾌﾟ 100w相当
	LED085921Y (W) ●LEDユニットフラット形6.0W以下 ｼﾝｸﾞﾙ 全高30mmまで (ランプ別売) ●寸法: 径φ165×高さ100 (埋込寸法φ150) ●下面パネル: 鋼板 (バーゼンホワイト) ●下面カバー: アルミ フロスト電体上げ ●ON/OFFセンサー付き軒下用ダウンライト ●センサー送り回数: LEDユニットフラット形2台まで	D0L-4019YS ●アウトドアライト ●LED1個 ●消費電力15W ●器具光束1120lm ●色温度2700K Ra83		LED0253715N-LS9 ●埋込寸法: φ150 ●LEDユニット内蔵 ●器具光束: 幅165×高さ125 ●本体: 鋼板 ●反射板: 鋼板 (バーゼンホワイト) ●定格電圧: AC100V~242V ●消費電力: 17.1W (A2200V時) ●器具光束: 2,340 lm 固有エネルギー消費効率: 136.8lm/W ●寿命: 40,000時間 (光衰減率90%) ●相関色温度: 5000K 平均演色評価数 (Ra): 83 ●重量: 1.2kg ●LEDユニット: TEN000シリーズ 直付形 幅120	
a 9	非常灯 低天井用	b	避難口誘導灯 片面 C級	c	通路誘導灯 両面 C級
a 30	非常灯 高天井用				
	LED090221M ●LED x 1 ●寸法: 径φ100×高さ74 (埋込寸法) ●本体: ABS (アルミダイカスト) ●材質: CGC ●レンズ: ガラス ●常時消灯/非常時LED点灯 ●電源ユニット内蔵 (電圧100~242V) ●消費電力: 0.8W ●リモコン自己点検機能付 ●リモコン受発信部/点検スイッチ付 ●充電電池 (単1付) ランプモニタ (赤) 付 ●ニッケル水素電池 ●重量: 0.5kg ●非常灯設定番号: LAL-001 ●LED非常灯 埋込形 低天井用	FBK-10701-LS17-ET-10701 ●LEDモジュール L01 ●寸法: 143×164×45 ●本体: 樹脂 (白 マンセル値 N9.0) ●重量: 0.6kg ●非常時: LEDモジュール1灯点灯 ●非常時: LEDモジュール1灯点灯 ●避難口誘導灯片面 C級 壁・天井直付形		FBK-10701-LS17-ET-10714×2 ●LEDモジュール L01 ●寸法: 143×164×45 ●本体: 樹脂 (白 マンセル値 N9.0) ●重量: 0.6kg ●非常時: LEDモジュール1灯点灯 ●非常時: LEDモジュール1灯点灯 ●通路誘導灯両面 C級 壁・天井直付形	

図中記載の型番は参考型番とする。

特記なき配管、配線は下記による。

———	天井内いんべい配管、配線
— · — · —	露出配管、配線
— · — · —	天井内こがし配線
———	地中埋設配管
— · — · —	土間スラブ配管
———	電灯回路

———	EM-EEF 1.6-3C
———	EM-EEF 1.6-2C
———	EM-EEF 1.6-3C (1C=アース)
———	EM-EEF 1.6-2Cx2
———	EM-EEF 1.6-4C (1C=アース)
———	EM-EEF 1.6-2C+3C
———	EM-EEF 2.0-2C
———	EM-EEF 2.0-3C (1C=アース)

凡例

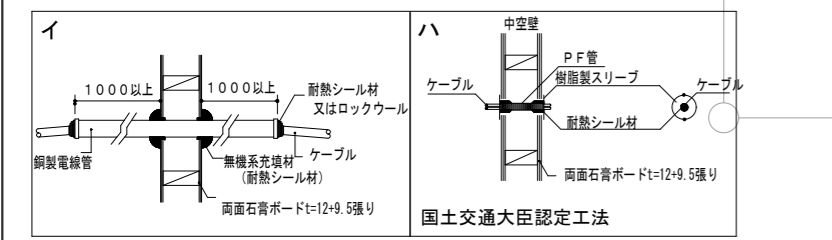
記号	名称
■	電灯盤
○	照明器具 直付
◎	ダウンライト
○	プラケット
▲	人感センサー
●	埋め込みスイッチ 1P15A×1
○	埋め込みスイッチ 1P15A×1+PL
●3	埋め込みスイッチ 3W15A×1
⊕E	埋め込みコンセント 2P15A×1 接地極付

防火上主要な間仕切【令114条1項】：下地-木製 W120 両面-石膏板-t=12.5+9.5 (小屋裏まで施工のこと)

【H12告示 第1358号】45分準耐火
設備配管、配線貫通部分・耐火被覆
空隙部(端部、天井面共)：ガラスウール充填

第129条の2の5第1項第七号次のイ～ハのいずれかに適合するものとする
イ 給水管、配電管その他の管の貫通する部分及び当該貫通する部分からそれぞれ両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で遮ること。
ロ 給水管、配電管その他の管の外径が、当該管の用途、材質その他の事項に応じて、国土交通大臣が定める数値未満であること。
配電管の場合 難燃材料または硬質塩化ビニル (JIS C8430) を使用し 肉厚5.5mm以上外形90mm未満

ハ 防火区画等を貫通する管に通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後45分間防火区画等の加熱側の反対側に火炎を出す原因となるき裂その他の損傷を生じないものとして、国土交通大臣の認定を受けたものであること。



- * 分電盤既存相談室に有
- * スイッチ高さをすべてFL+1400とする
- * コンセントは事務室以外、FL+1000かつ「ガードプレート」簡易錠付きとする
- * また気密コンセントボックス使用、設備開口気密テープ貼
- * インターモニター 事務室と既存リズム室の2か所
- * 既存事務室より 防災行政無線を事務室へ移設
同軸ケーブル+アンテナ

建築特記
1. 主要用途 児童福祉施設等 08210「心身障害児母子通園訓練施設」

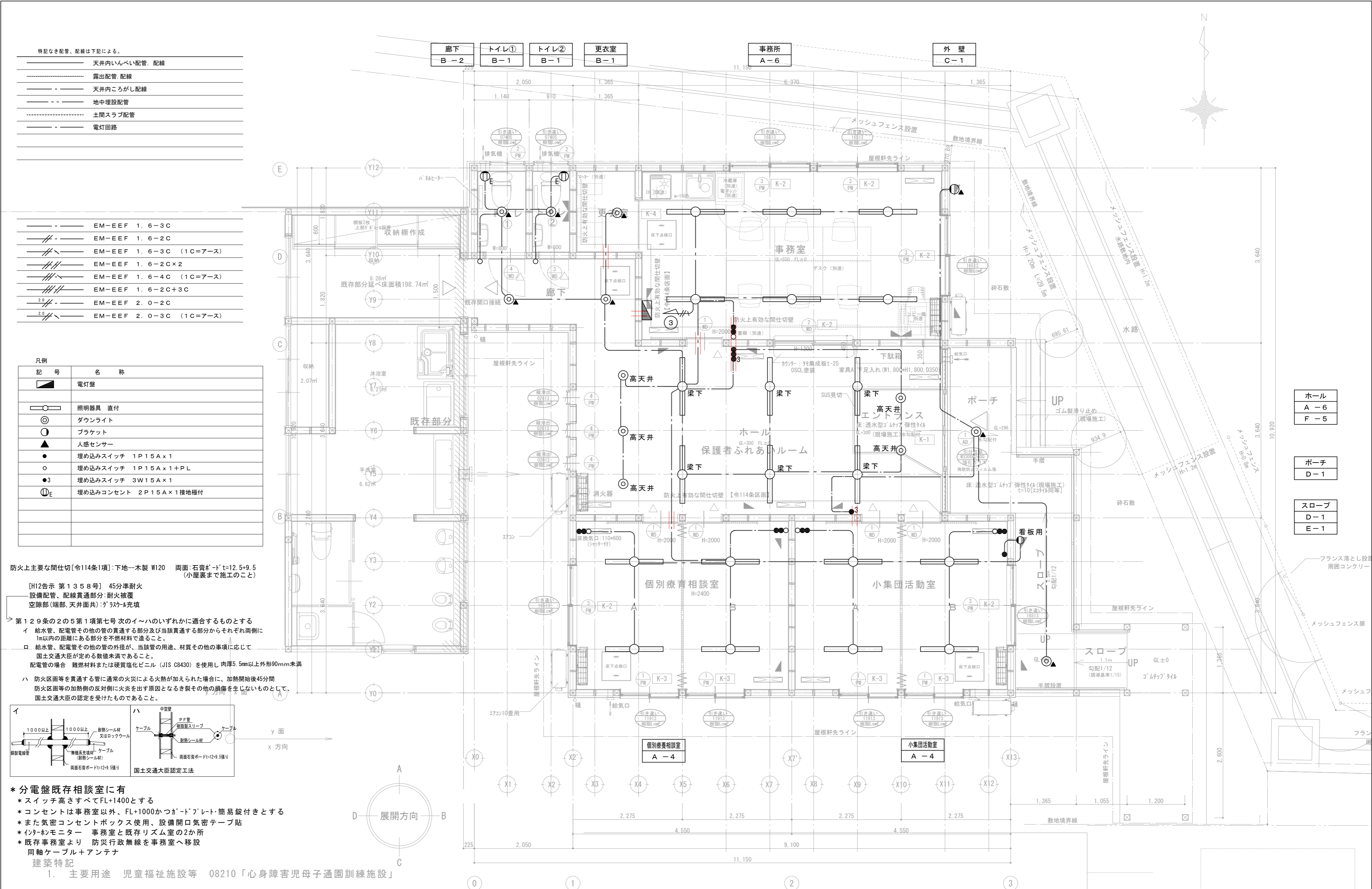
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail: arc-hori1@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
設計担当者
管理 建築士 堀口 隆
一級建築士 第229022号 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

Date R5・1
Scale 1/50
Title 令和5年度 若草園増築改修
・三日町保育園増築工事

Drawing Title 若草園増築改修
電灯設備図

Sheet No. E-03
D-***
整理番号 23001

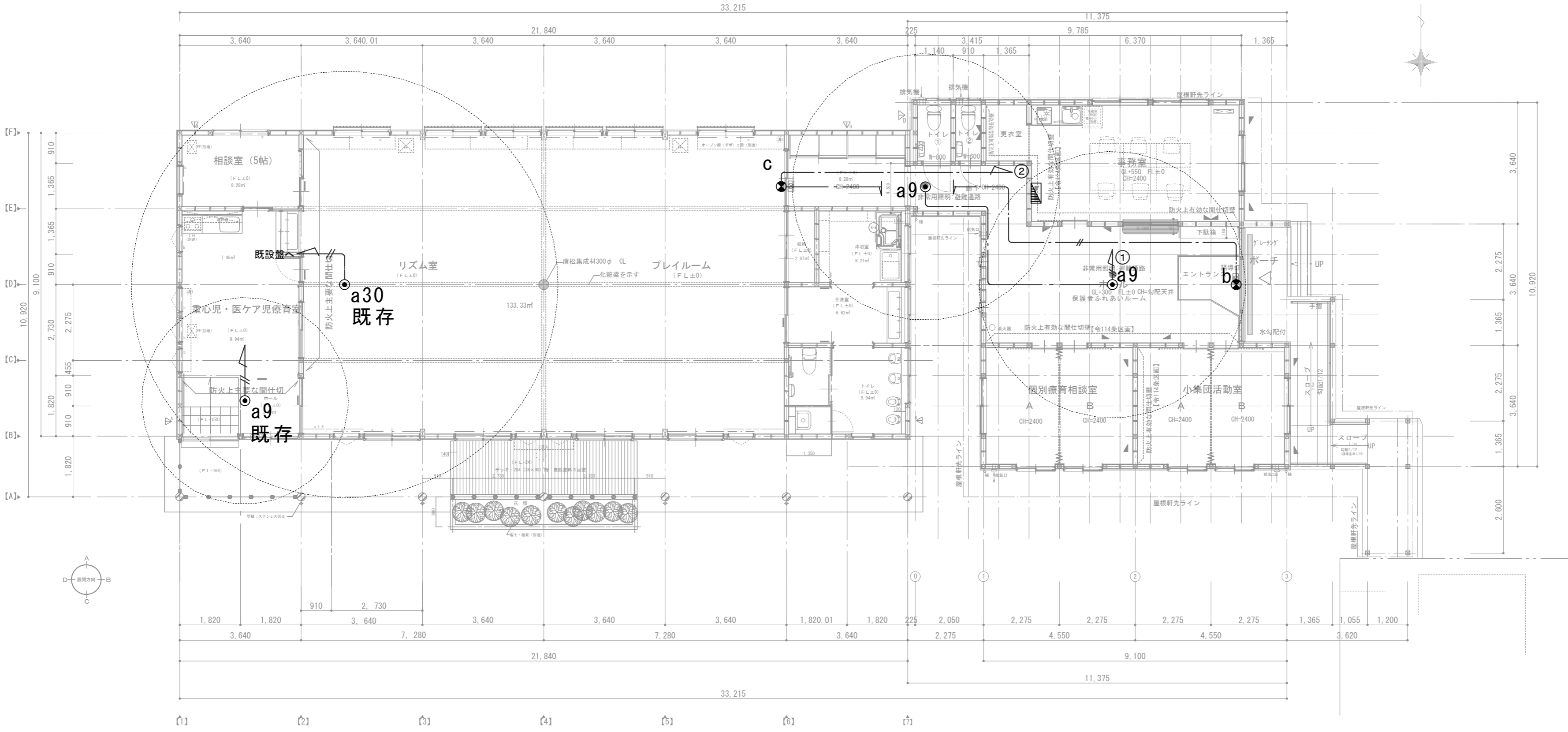


特記なき配管、配線は下記による。

———	天井内いんべい配管、配線
.....	露出配管、配線
———	天井内ごろご配線
———	地中埋設配管
.....	土間スラブ配管
———	電灯回路

———	EM-EEF 1.6-3C
———	EM-EEF 1.6-2C
———	EM-EEF 1.6-3C (1C=アース)
———	EM-EEF 1.6-2C×2
———	EM-EEF 1.6-4C (1C=アース)
———	EM-EEF 1.6-2C+3C
———	EM-EEF 2.0-2C
———	EM-EEF 2.0-3C (1C=アース)

凡例	記号	名称
	■	電灯盤
	●	非常灯
	⊙	誘導灯



防火上主要な間仕切〔令114条1項〕：下地—木製 W120 両面：石膏板・ $t=12.5+9.5$ (小屋裏まで施工のこと)
 [H12告示 第1358号] 45分準耐火
 設備配管、配線貫通部分：耐火被覆
 空隙部(端部、天井面共)： ケ スチール充填

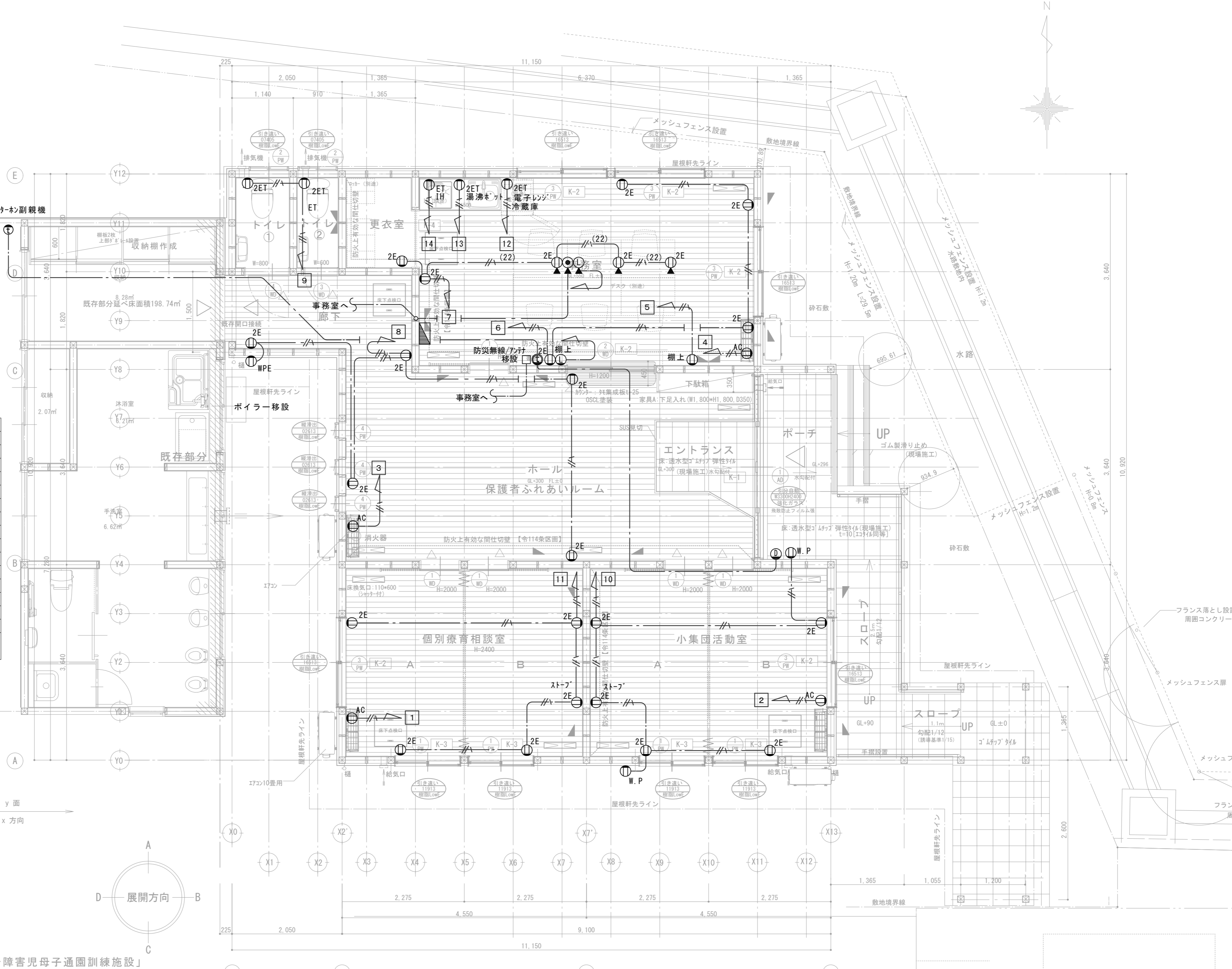
特記なき配管、配線は下記による。

	天井内いんべい配管、配線
	露出配管、配線
	天井内ころがし配線
	地中埋設配管
	土間スラブ配管
	電灯回路

	EM-EEF 1.6-3C
	EM-EEF 1.6-2C
	EM-EEF 1.6-3C (1C=アース)
	EM-EEF 1.6-2C x 2
	EM-EEF 1.6-4C (1C=アース)
	EM-EEF 1.6-2C+3C
	EM-EEF 2.0-2C
	EM-EEF 2.0-3C (1C=アース)
【電話】	
	EM-FCPEE-S0.65-3P
【LAN】	
	EM-UTP-CAT5
【防災無線】	
	EM-5C-FB
【インターホン】	
	EM-AE1.2-2C

凡例	記号	名称
		電灯盤
	2E	埋め込み接地ダブルコンセント 2P15A x 2E
	2ET	埋め込みアースターミナル付ダブルコンセント 2P15A x 2ET
	1ET	埋め込みアースターミナル付コンセント 2P15A x 1ET
	AC	埋め込み15・20A兼用型接地コンセント 2P15/20A x E
	WP	アースターミナル付防水コンセント
	2E	フロアコンセント 2個口アース付
	TEL	TEL端末
	TEL	TEL端末 フロア用
	LAN	LAN端末
	LAN	LAN端末 フロア用
	IC	カラーインターホン 親機
	MON	増設モニター
	IC	カメラ付きドアホン

*コンセントは事務室以外、FL+1000かつが「ドプレート」簡易錠付きとする



防火上主要な間仕切【令114条1項】: 下地-木製 W120 両面: 石膏板-t=12.5+9.5 (小屋裏まで施工のこと)

[H12告示 第1358号] 45分耐火設備配管、配線貫通部分: 耐火被覆 空隙部(端部、天井面共): ガラス充填

*分電盤既存相談室に有

- *スイッチ高さすべてFL+1400とする
- 事務室とトイレ以外のコンセント高さ: FL+1000とする
- *また気密コンセントボックス使用、設備開口気密テープ貼
- *インターホンモニター 事務室と既存リズム室の2か所
- *既存事務室より 防災行政無線を事務室へ移設 同軸ケーブル+アンテナ

平面詳細図 SCALE 1/50

建築特記

1. 主要用途 児童福祉施設等 08210「心身障害児母子通園訓練施設」

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
 E-mail: arc-horil@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (伊那)F第39211号
 管理 建築士 堀口 隆
 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11944-1
 Phone 0265-79-2685 Fax 0265-79-2685

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date R5・1
 Scale 1/50

令和5年度 若草園増築改修
 ・三日町保育園増築工事

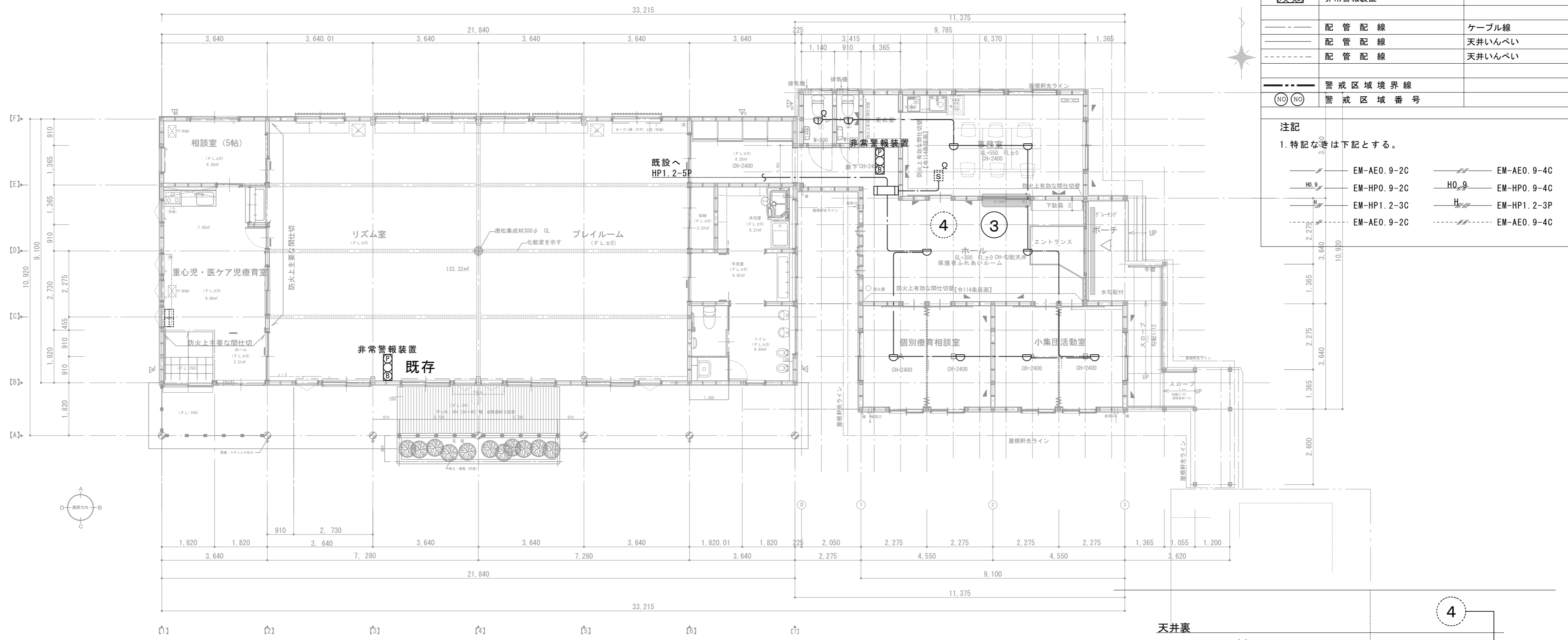
Drawing Title 若草園増築改修
 コンセント設備図

Sheet No. E-05
 D-**
 整理番号 23001

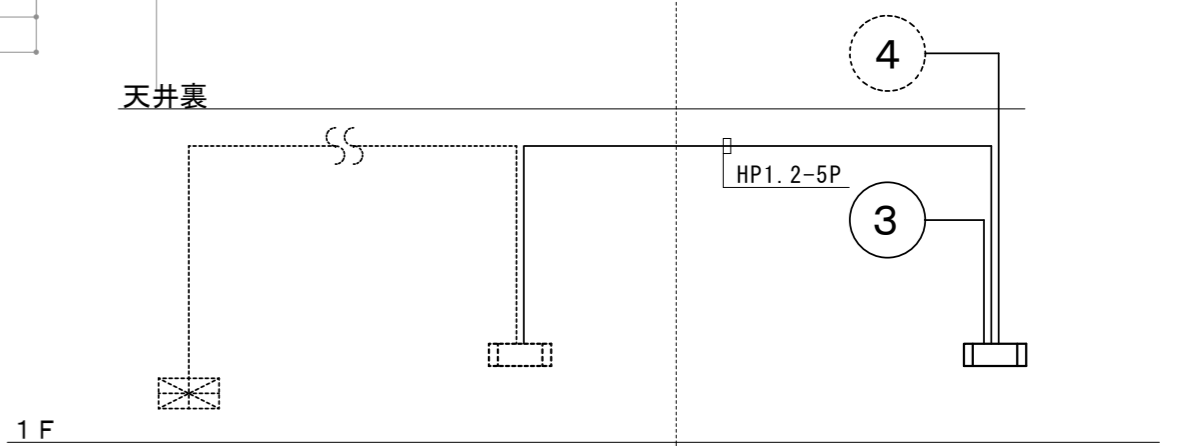
記号	名称	記事
	火災受信盤	P- -
	副受信機	
	機器収容箱	ⓅⓈ 収容
	光電式スポット型感知器	2種
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	1種 70℃ 防水
	終端抵抗	10K Ω
	非常警報装置	
	配管配線	ケーブル線
	配管配線	天井いんべい
	配管配線	天井いんべい
	警戒区域境界線	
	警戒区域番号	

注記
1. 特記なきは下記とする。

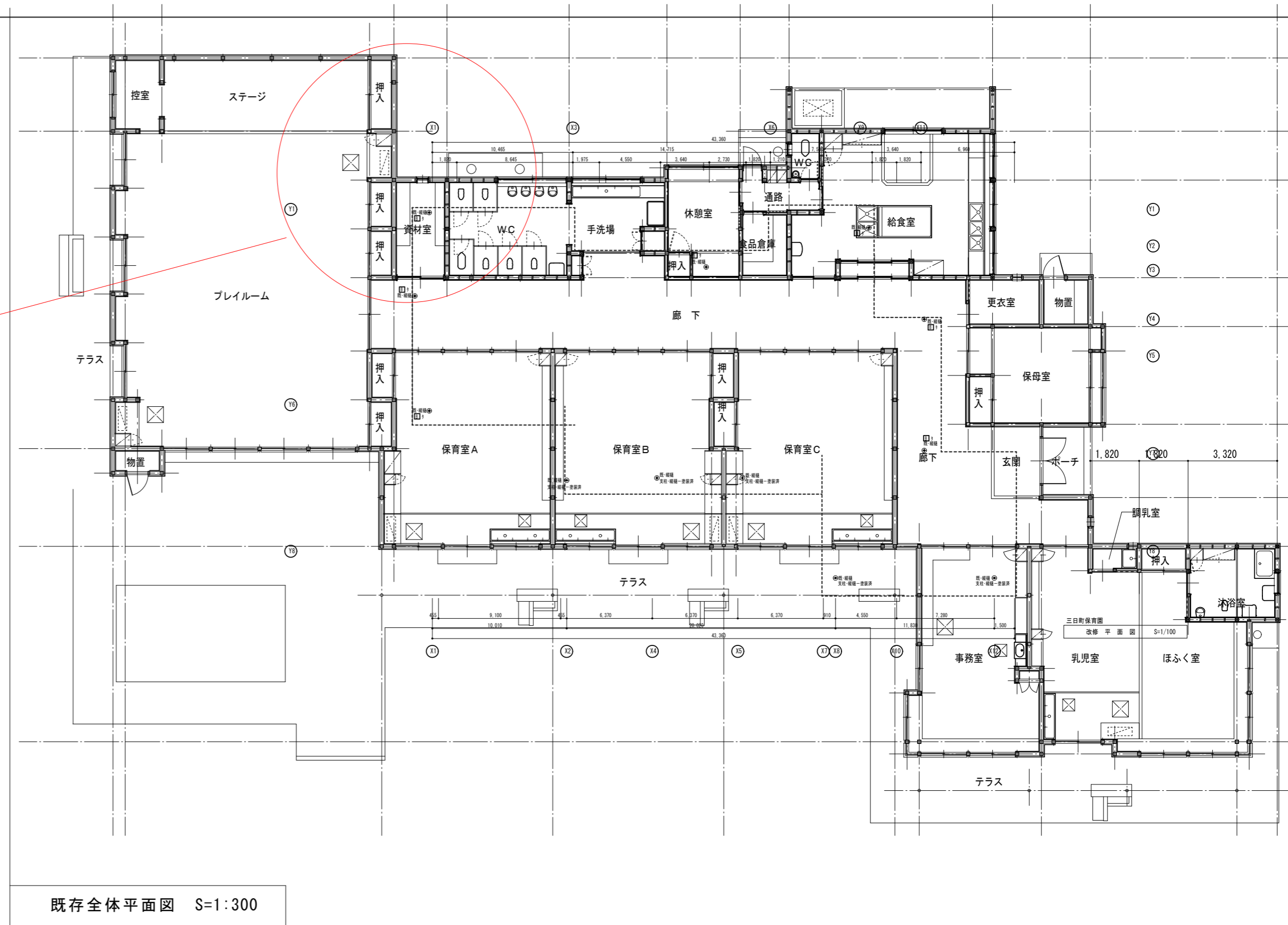
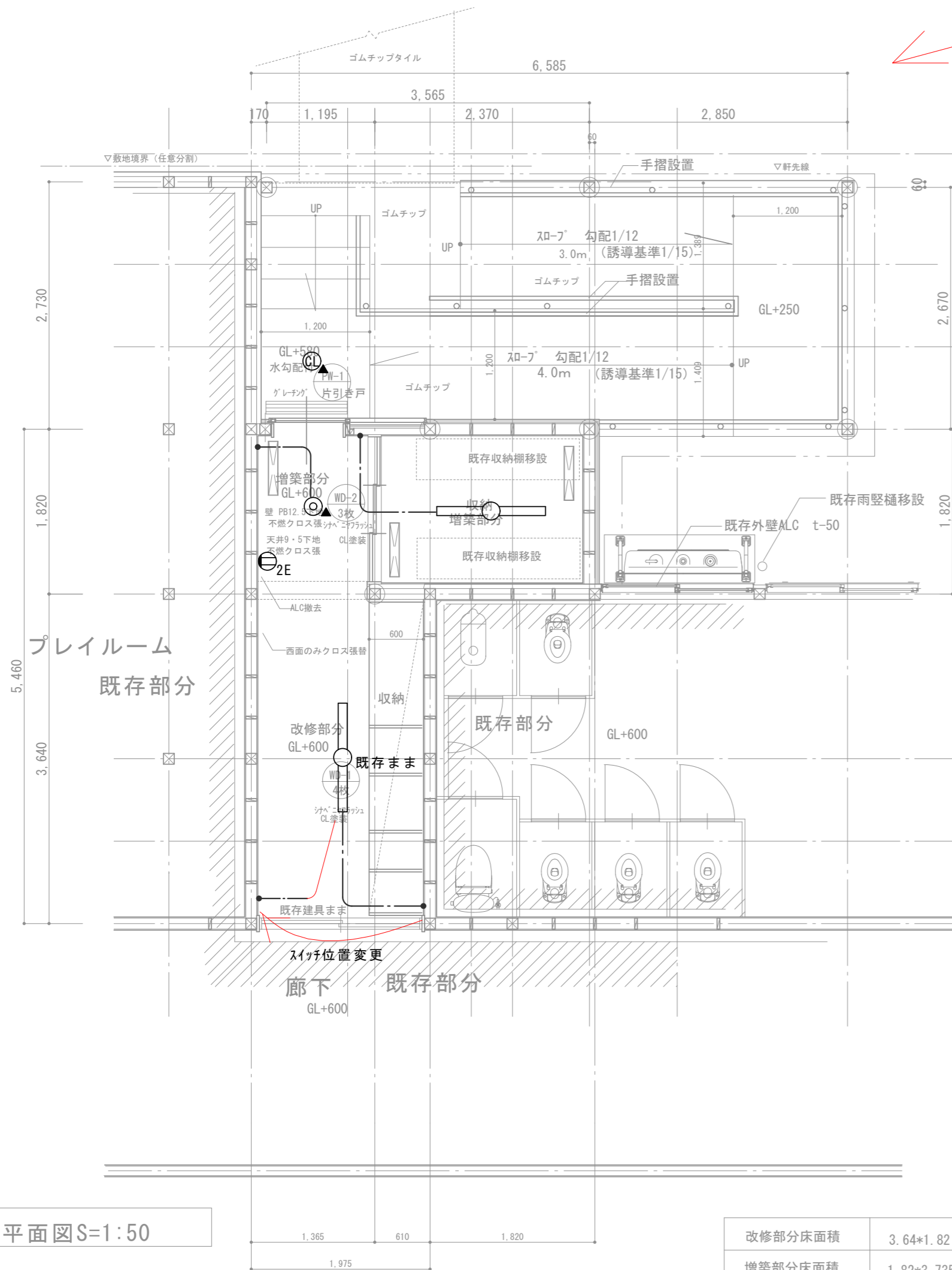
	EM-AE0.9-2C		EM-AE0.9-4C
	EM-HP0.9-2C		EM-HP0.9-4C
	EM-HP1.2-3C		EM-HP1.2-3P
	EM-AE0.9-2C		EM-AE0.9-4C



防火上主要な間仕切[令114条1項]: 下地一木製 W120 両面: 石膏ボード t=12.5+9.5 (小屋裏まで施工のこと)
 [H12告示 第1358号] 45分準耐火
 設備配管、配線貫通部分: 耐火被覆
 空隙部(端部、天井面共): グラスウール充填



系統図



既存全体平面図 S=1:300

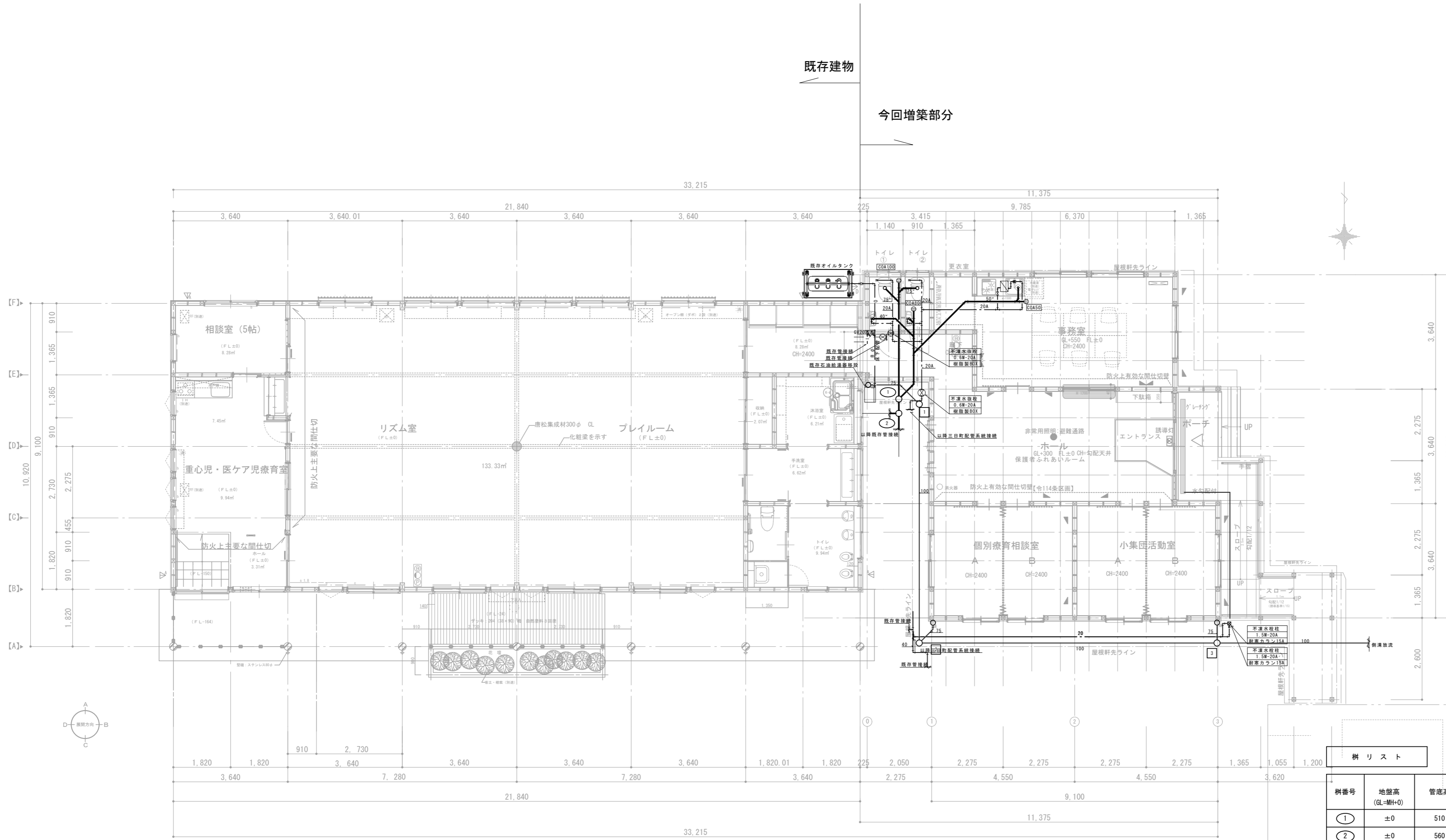
平面図S=1:50

改修部分床面積	3.64×1.82	6.625m ²
増築部分床面積	1.82×3.735	6.797m ²
増築部分建築面積	24.775m ²	外部への高い開放性を有し、通行の用途のみ

機械設備工事 特記仕様書		
I 工事概要		
1 工事名称	令和5年度若草園増築改修・三日町保育園増築工事	
2 工事場所	長野県上伊那郡箕輪町大字三日町	
3 用途地域等	都市計画区域(第○号)外 用途地域(無指定)	
4 主要用途	児童福祉施設等(08210)心身障害児母子通園訓練施設——特殊建築物	
5 着工前の提出	書(白)図様小(A3版)2つ折製本2部、書(白)様(A2版)2つ折製本1部を工事打合せ時と提出による(分属発注の場合においても、他工事箇面の合本を原則とする)	
6 工事種目	建設区分(○)のついたものを適用する。表1	
7 指定部分	※ なし ○ あり (工期:)	
8 設備概要	(○)のついたものは、主要方式を示す。表2	
II 機械設備工事特記仕様		
1 一般事項	(1) 特記仕様表及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理施設整備所「公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編(平成19年版)」、公共建築改修工事標準仕様書 機械設備工事編(平成19年版) (以下「標準仕様書」という。)及び関係設備・環境調整等の「公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編 平成19年版)」(以下「標準図」という。)による。	
2 特記事項	(1) 項目は番号に(○)の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、(○)の付いたものを適用する。○印のない場合は、※印の付いたものを適用する。 (3) ○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。	
3 適用基準等	○ 適用基準等	
4 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承認を受けるものとする。 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発臭しないか、発臭が極めて少ないものとする。 少ないホルムアルデヒドを発生しないものとは発臭量規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発臭量が極めて少ないものとは発臭量が第三種のものをい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを採用するものとする。またホルムアルデヒドの発臭量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒドの発臭量 規制対象外: F☆☆☆☆ 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品、次の表示があるJAS認定品(非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等) 同 第三種: F☆☆☆ 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品、昭15 E10の規格品等	
5 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承認を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督員に提出して、承認を受ける。なお、標準仕様書に規定される取扱い、試験成績表等を含む。	
6 鉄 除	本工事着手前に工事事務所及び建築材料等を、本工事完了後1週間まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出すること。 本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇入れに努めること。	
7 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別工事管理書および施工図等を作成し、監督員の承認を受ける。 また、画が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画(実施)書を作成し、監督員に提出する。	
8 環境対策	ISO14001 対象工事 施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画を記載し、現場においては特に環境に配慮する。 ISO14001 対象外工事 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続きを遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。 施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督員に提出する。 ※ 適用する ○ 適用しない	
9 手続	本工事に下記の当該個別規格基準(1級・2級)を適用させる。(資格者の写しを提出する) ○ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ・ 絶縁結施工(保温工事) ○ 冷凍空調調湿機器施工(チャンリユニット、パッケージ型空気調和機の取付け及び調整)	
10 電気保安技術者	○ 別契約の関係機材が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置 絶縁足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成15年4月策定)」により 特記事項については、「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とする。なお、改善措置機材による場合は、手すり先行用足場型と同等の機能を確保するように努めること。 ※ 設けない ○ 設ける (号) ・ 建築工事仕様書	
11 技士等の活用	本工事に必要な工事用電力、水及び排気管などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。 構内に作ることが ※ できる ○ できない	
12 足場等	・ 構外足場 ※ 構内指示の場所に設けし、構内指示の場所には特記 (1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ○ なし ○ あり() (2) フロンガス回収設備の法に基づく措置の該当 ○ なし ○ あり() (3) 冷暖房回収費用は(・ 本工事 ・ 別業工事)	
13 監督員事務所	冷暖房の回収にあつては、「特定製品に係るフロン回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」に従って行い、監督員に第一種フロン回収業者資格者等の写し、フロン回収証明書を提出する。 ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再資源化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む)を行い、監督員に、特定家庭用機器再資源化管理書(家電リサイクル券)の写しを提出すること。 (4) 引渡しを要するもの ※ なし ○ あり() (5) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、構外処理による、適切に処分すること (6) 出納計画) ・ 廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し、監督員の承認を受けること。 ・ 廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書提出すること。	
14 工事用電力、水、その他	(ア) 特別管理産業廃棄物 ※ なし ○ あり() (イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コンクリート() ・ コंकクリート及び鉄から成る建設資材() ・ 木 材 () ・ アスファルトコンクリート()	
15 発生材の処理	(ウ) その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物() ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物() ※再生資源利用計画等の提出 次のもの利用及び処理を行う場合は、「*****建設副産物処理設計計算要領」(*****)に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に添付し、監督員に提出し、また、工事完了時には建設副産物の処理実績報告書を監督員に提出すること。	
16 養生材の取扱い	養生材の取扱いについては、「*****建設副産物処理設計計算要領」(*****)に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に添付し、監督員に提出し、また、工事完了時には建設副産物の処理実績報告書を監督員に提出すること。	
17 養生材の取扱い	養生材の取扱いについては、「*****建設副産物処理設計計算要領」(*****)に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に添付し、監督員に提出し、また、工事完了時には建設副産物の処理実績報告書を監督員に提出すること。	

18 総合調整	工事現場に搬入するもの 土砂、砕石、加熱アスファルト混合物 施工により発生するもの 建設副産物 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落石が決定した場合は、分別解体等令で定める特記第1号表1〜9のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に送付書提出し、もとのとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。 ・ 対象外工事 ※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い、報告書提出する。 ・ 別途 総合調整の項目 ・ 風量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 初期運転状態の記録 ・ 実地での環境衛生調査の測定 ・ 浄化槽放流水の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定 ・ 気圧調整 測定箇所は、監督員の指示による。	
19 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。	
20 耐震措置	機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し原則に据え付け、取付け又は支持を行う。 耐震量の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建設設備耐震設計施工指針(建設省住宅用建築指導課 監修1997年版)による。 設置場所 設計用標準震度 一般の施設 重要要素 一般要素 重要要素 一般要素 上層部、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中層部 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 一階及び地下部 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6) 注(1) 設置場所の区分は標準仕様書による。注(2) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 (1) 本工事の施設は(一)一般施設 ・ 特定施設とする。 (2) 地域係数は1.0とする。 (3) 100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても標準を考慮し、据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によるものとする。 (4) 重要要素(重要要素、重要要素)は標準による。 (5) 再資源化の割合が70%以上の場合は、十分な強度を有する方法で固定し、水平相対方向の地震力に対して、つり合おもりが付からぬようにし、十分な強度を有することとする。 特記されていない寸等のサイズは、機器付属品を除き標準のサイズと同じとする。 本工事では標準規定の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第6編 通信・情報設備工事 第1章 機材 第1節 電線類等 表1.1.1電線類2次の仕様を追加する。 (EM-C E E S, EM-U T P, EM-M E E S, EM-E B T) 対象配管系統 冷水 冷却水 消火(水用) 油 ・ ガス 検査の種類 浸透探傷検査(PT)又は放射線探傷検査(MT) ・ 放射線探傷検査(RT) 既存のコンクリート部の壁、壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。 (1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに採用する支持金物はステンレス製(SUS304)とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはロックワッシャー(樹脂製)を取り付ける。 (2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 (3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けとする。 図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工種目で別に指定されたものは除く。 ・ 切り出し中の良質土(ただしシウム管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類 地中埋設及び埋設用ケーブルは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設の設置場所は図示によるほか、屋外埋設部分の寸法及び曲がり部に留意する。 (1) 給水管 ・ 地中埋設機 (2) 配管表示テープ (2) ガス管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ (3) 油 管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ (4) 消火管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ ・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。 主機械室 ・ ダクトの産生の外壁は下記による。内装は(・ 20mm ・ 25mm) 内 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 外 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 主機械室 ・ アルミガラスクロス 配管室・廊下など ・ フラッシュ板 屋外部分 ・ アルミガラスクロス 屋外露出・多湿箇所 ・ ステンレス鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー 配管の保護の外壁は下記による。内装は(・ 20mm ・ 25mm) 内 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 外 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 主機械室 ・ アルミガラスクロス 配管室・廊下など ・ フラッシュ板 屋外部分 ・ アルミガラスクロス 屋外露出・多湿箇所 ・ ステンレス鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー	
21 弁等のサイズ	22 電線類	
23 接続部の非破壊検査	対象配管系統 冷水 冷却水 消火(水用) 油 ・ ガス 検査の種類 浸透探傷検査(PT)又は放射線探傷検査(MT) ・ 放射線探傷検査(RT) 既存のコンクリート部の壁、壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。 (1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに採用する支持金物はステンレス製(SUS304)とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはロックワッシャー(樹脂製)を取り付ける。 (2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 (3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けとする。 図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工種目で別に指定されたものは除く。 ・ 切り出し中の良質土(ただしシウム管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類 地中埋設及び埋設用ケーブルは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設の設置場所は図示によるほか、屋外埋設部分の寸法及び曲がり部に留意する。 (1) 給水管 ・ 地中埋設機 (2) 配管表示テープ (2) ガス管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ (3) 油 管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ (4) 消火管 ・ 地中埋設機 ・ 埋設用表示テープ ・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。 主機械室 ・ ダクトの産生の外壁は下記による。内装は(・ 20mm ・ 25mm) 内 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 外 装 各種機材室 ・ アルミガラスクロス 主機械室 ・ アルミガラスクロス 配管室・廊下など ・ フラッシュ板 屋外部分 ・ アルミガラスクロス 屋外露出・多湿箇所 ・ ステンレス鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー	
24 はつり	25 支持金物・固定金具	
26 埋戻し土・盛土	27 地中埋設機及び埋設表示用ケーブル	
28 保 温	29 塗 装 下記箇所に使用する。外面めっき電線管の露出部分は塗装を施す。 土中埋設の鋼管(ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く)及び金属製継手(金具を含む)にはペトリウム系高粘着テープ及びフラスケーターによる防食処理を行う。(埋設配管に際しては、防食処理不要な材料とする。) 切取り面とその周辺の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1mを超える場合には、山留めを行うものとする。 図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。 本工事が公共事業労働費削減の対象工事となった場合、調査等に必要な事項を正確に記入し監督員に提出する等、必要な協力を行う。また、本工事の工期経過後においても同様とする。 公共事業労働費削減の対象工事となった場合に正確な調査等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存すること、日頃より使用している現場管理の資金時間管理を適切に行うこと。 本工事の一部について下掲契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)が上記同様の義務を負う旨定める。 請負者は電圧法令を遵守し、不法無届局を構成した車両を使用してはならない。 工事経過報告書、毎月1回監督員に提出する。 内容: 日誌、天候、工事進捗状況、工事進捗状況写真、その他監督員の指示する事項 調査代金500万円以上の工事については、工事実績情報(CORINS)の登録を行うものとする。 ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として、20%納入する(種類ごと最低1個)。 再使用する機器類は現場で可能な洗剤による洗浄等の措置を行う。 建物内で火気の使用は原則として行わない。 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督員に報告すること。測定はパッシブ型採取器により行う。 測定対象室() ・ 測定箇所() 下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。 施工計画書 調査項目() 調査項目() 調査方法() 調査範囲() 調査方法() 調査方法()	
30 防食処理	31 山留め	
32 施工区分	33 施工区分	
34 施工区分	34 公共事業労働費削減に 対する協力	
35 不法無届局の排除	36 工事実績情報の登録	
37 予備品等	38 再使用品の清掃	
38 再使用品の清掃	39 火気の使用	
39 火気の使用	40 室内空気中の化学物質 の濃度測定	
40 室内空気中の化学物質 の濃度測定	41 施工計画	
41 施工計画	42 施工調査	
42 施工調査	43 あと施工アンカー	
43 あと施工アンカー	44 既設パイプ、フック等	
44 既設パイプ、フック等	1 工事用電力、水、 その他 本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び保管室等の維持管理などの費用は、請負者の負担とする。 既設コンセントの使用 ※ 可 ・ 可 既設給水栓の使用 ※ 可 ・ 可 養生範囲 養生方法 (ア) 特別管理産業廃棄物 ※ なし ○ あり() (イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コンクリート() ・ コंकクリート及び鉄から成る建設資材() ・ 木 材 () ・ アスファルトコンクリート() (ウ) その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物() ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物() ※再生資源利用計画等の提出 次のもの利用及び処理を行う場合は、「*****建設副産物処理設計計算要領」(*****)に基づき、再生資源の利用計画等を施工計画書に添付し、監督員に提出し、また、工事完了時には建設副産物の処理実績報告書を監督員に提出すること。	
1 設計温度	2 ばい煙濃度計	
2 ばい煙濃度計	3 煙 突	
3 煙 突	4 煙 道	
4 煙 道	5 空気調和 と冷房 設備	
5 空気調和 と冷房 設備	6 空気調和 と冷房 設備	
6 空気調和 と冷房 設備	7 空気調和 と冷房 設備	
7 空気調和 と冷房 設備	8 空気調和 と冷房 設備	
8 空気調和 と冷房 設備	9 空気調和 と冷房 設備	
9 空気調和 と冷房 設備	10 空気調和 と冷房 設備	
10 空気調和 と冷房 設備	11 空気調和 と冷房 設備	
11 空気調和 と冷房 設備	12 空気調和 と冷房 設備	
12 空気調和 と冷房 設備	13 空気調和 と冷房 設備	
13 空気調和 と冷房 設備	14 空気調和 と冷房 設備	
14 空気調和 と冷房 設備	15 空気調和 と冷房 設備	
15 空気調和 と冷房 設備	16 空気調和 と冷房 設備	
16 空気調和 と冷房 設備	17 空気調和 と冷房 設備	
17 空気調和 と冷房 設備	18 空気調和 と冷房 設備	
18 空気調和 と冷房 設備	19 空気調和 と冷房 設備	
19 空気調和 と冷房 設備	20 空気調和 と冷房 設備	
20 空気調和 と冷房 設備	21 空気調和 と冷房 設備	
21 空気調和 と冷房 設備	22 空気調和 と冷房 設備	
22 空気調和 と冷房 設備	23 空気調和 と冷房 設備	
23 空気調和 と冷房 設備	24 空気調和 と冷房 設備	
24 空気調和 と冷房 設備	25 空気調和 と冷房 設備	
25 空気調和 と冷房 設備	26 空気調和 と冷房 設備	
26 空気調和 と冷房 設備	27 空気調和 と冷房 設備	
27 空気調和 と冷房 設備	28 空気調和 と冷房 設備	
28 空気調和 と冷房 設備	29 空気調和 と冷房 設備	
29 空気調和 と冷房 設備	30 空気調和 と冷房 設備	
30 空気調和 と冷房 設備	31 空気調和 と冷房 設備	
31 空気調和 と冷房 設備	32 空気調和 と冷房 設備	
32 空気調和 と冷房 設備	33 空気調和 と冷房 設備	
33 空気調和 と冷房 設備	34 空気調和 と冷房 設備	
34 空気調和 と冷房 設備	35 空気調和 と冷房 設備	
35 空気調和 と冷房 設備	36 空気調和 と冷房 設備	
36 空気調和 と冷房 設備	37 空気調和 と冷房 設備	
37 空気調和 と冷房 設備	38 空気調和 と冷房 設備	
38 空気調和 と冷房 設備	39 空気調和 と冷房 設備	
39 空気調和 と冷房 設備	40 空気調和 と冷房 設備	
40 空気調和 と冷房 設備	41 空気調和 と冷房 設備	
41 空気調和 と冷房 設備	42 空気調和 と冷房 設備	
42 空気調和 と冷房 設備	43 空気調和 と冷房 設備	
43 空気調和 と冷房 設備	44 空気調和 と冷房 設備	
44 空気調和 と冷房 設備	45 空気調和 と冷房 設備	
45 空気調和 と冷房 設備	46 空気調和 と冷房 設備	
46 空気調和 と冷房 設備	47 空気調和 と冷房 設備	
47 空気調和 と冷房 設備	48 空気調和 と冷房 設備	
48 空気調和 と冷房 設備	49 空気調和 と冷房 設備	
49 空気調和 と冷房 設備	50 空気調和 と冷房 設備	
50 空気調和 と冷房 設備	51 空気調和 と冷房 設備	
51 空気調和 と冷房 設備	52 空気調和 と冷房 設備	
52 空気調和 と冷房 設備	53 空気調和 と冷房 設備	
53 空気調和 と冷房 設備	54 空気調和 と冷房 設備	
54 空気調和 と冷房 設備	55 空気調和 と冷房 設備	
55 空気調和 と冷房 設備	56 空気調和 と冷房 設備	
56 空気調和 と冷房 設備	57 空気調和 と冷房 設備	
57 空気調和 と冷房 設備	58 空気調和 と冷房 設備	
58 空気調和 と冷房 設備	59 空気調和 と冷房 設備	
59 空気調和 と冷房 設備	60 空気調和 と冷房 設備	
60 空気調和 と冷房 設備	61 空気調和 と冷房 設備	
61 空気調和 と冷房 設備	62 空気調和 と冷房 設備	
62 空気調和 と冷房 設備	63 空気調和 と冷房 設備	
63 空気調和 と冷房 設備	64 空気調和 と冷房 設備	
64 空気調和 と冷房 設備	65 空気調和 と冷房 設備	
65 空気調和 と冷房 設備	66 空気調和 と冷房 設備	
66 空気調和 と冷房 設備	67 空気調和 と冷房 設備	
67 空気調和 と冷房 設備	68 空気調和 と冷房 設備	
68 空気調和 と冷房 設備	69 空気調和 と冷房 設備	
69 空気調和 と冷房 設備	70 空気調和 と冷房 設備	
70 空気調和 と冷房 設備	71 空気調和 と冷房 設備	
71 空気調和 と冷房 設備	72 空気調和 と冷房 設備	
72 空気調和 と冷房 設備	73 空気調和 と冷房 設備	
73 空気調和 と冷房 設備	74 空気調和 と冷房 設備	
74 空気調和 と冷房 設備	75 空気調和 と冷房 設備	
75 空気調和 と冷房 設備	76 空気調和 と冷房 設備	
76 空気調和 と冷房 設備	77 空気調和 と冷房 設備	
77 空気調和 と冷房 設備	78 空気調和 と冷房 設備	
78 空気調和 と冷房 設備	79 空気調和 と冷房 設備	
79 空気調和 と冷房 設備	80 空気調和 と冷房 設備	
80 空気調和 と冷房 設備	81 空気調和 と冷房 設備	
81 空気調和 と冷房 設備	82 空気調和 と冷房 設備	
82 空気調和 と冷房 設備	83 空気調和 と冷房 設備	
83 空気調和 と冷房 設備	84 空気調和 と冷房 設備	
84 空気調和 と冷房 設備	85 空気調和 と冷房 設備	
85 空気調和 と冷房 設備	86 空気調和 と冷房 設備	
86 空気調和 と冷房 設備	87 空気調和 と冷房 設備	
87 空気調和 と冷房 設備	88 空気調和 と冷房 設備	
88 空気調和 と冷房 設備	89 空気調和 と冷房 設備	
89 空気調和 と冷房 設備	90 空気調和 と冷房 設備	
90 空気調和 と冷房 設備	91 空気調和 と冷房 設備	
91 空気調和 と冷房 設備	92 空気調和 と冷房 設備	
92 空気調和 と冷房 設備	93 空気調和 と冷房 設備	
93 空気調和 と冷房 設備	94 空気調和 と冷房 設備	
94 空気調和 と冷房 設備	95 空気調和 と冷房 設備	
95 空気調和 と冷房 設備	96 空気調和 と冷房 設備	
96 空気調和 と冷房 設備	97 空気調和 と冷房 設備	
97 空気調和 と冷房 設備	98 空気調和 と冷房 設備	
98 空気調和 と冷房 設備	99 空気調和 と冷房 設備	
99 空気調和 と冷房 設備	100 空気調和 と冷房 設備	

5. ダクトの区分	低圧とする(高圧1及び高圧2の部位は図示による。)	
6. 長方形ダクトの工法	・ アングルフランジ工法 ・ コーナポルト工法(共板 ・ スライド)	
7. 風量測定口	取付け場所は、 ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入ダクト 風量調整ダンパーの上流又は下流 ・ 空調機のサブライチンパーからの分岐ダクト	
8. チャンパ	(1) 内貼りを施すチャンパの表示寸法は外法とする。 (2) 空気調和機に取付けるサブライチンパー及びレタランチャンパで消音内貼りしたチャンパには、点検口を設ける。なお点検口の寸法は図示による。 (3) 外壁に露する分岐りに直接取付けするチャンパ及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。	
9. 防振ダンパ	(1) 選構方式 ※ 選構式(電気式(定格力200V、0.5A以下)) (2) 選構方式 ※ 選構式(電気式(定格力200V、0.5A以下))	
10. 配管材料	(1) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) (2) 冷排水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) (3) 高気管(給水管) ※ 配管用炭素鋼管(黒) (4) 給水管(排水管) ※ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40) ・ 配管用炭素鋼管(黒) (5) 油管、油用高気管 ※ 配管用炭素鋼管(白) (6) 配管用炭素鋼管(白) (7) 配管用炭素鋼管(白) (8) 配管用炭素鋼管(白) (9) 配管用炭素鋼管(白) (10) 配管用炭素鋼管(白) (11) 配管用炭素鋼管(白) (12) 配管用炭素鋼管(白) (13) 配管用炭素鋼管(白) (14) 配管用炭素鋼管(白) (15) 配管用炭素鋼管(白) (16) 配管用炭素鋼管(白) (17) 配管用炭素鋼管(白) (18) 配管用炭素鋼管(白) (19) 配管用炭素鋼管(白) (20) 配管用炭素鋼管(白) (21) 配管用炭素鋼管(白) (22) 配管用炭素鋼管(白) (23) 配管用炭素鋼管(白) (24) 配管用炭素鋼管(白) (25) 配管用炭素鋼管(白) (26) 配管用炭素鋼管(白) (27) 配管用炭素鋼管(白) (28) 配管用炭素鋼管(白) (29) 配管用炭素鋼管(白) (30) 配管用炭素鋼管(白) (31) 配管用炭素鋼管(白) (32) 配管用炭素鋼管(白) (33) 配管用炭素鋼管(白) (34) 配管用炭素鋼管(白) (35) 配管用炭素鋼管(白) (36) 配管用炭素鋼管(白) (37) 配管用炭素鋼管(白) (38) 配管用炭素鋼管(白) (39) 配管用炭素鋼管(白) (40) 配管用炭素鋼管(白) (41) 配管用炭素鋼管(白) (42) 配管用炭素鋼管(白) (43) 配管用炭素鋼管(白) (44) 配管用炭素鋼管(白) (45) 配管用炭素鋼管(白) (46) 配管用炭素鋼管(白) (47) 配管用炭素鋼管(白) (48) 配管用炭素鋼管(白) (49) 配管用炭素鋼管(白) (50) 配管用炭素鋼管(白) (51) 配管用炭素鋼管(白) (52) 配管用炭素鋼管(白) (53) 配管用炭素鋼管(白) (54) 配管用炭素鋼管(白) (55) 配管用炭素鋼管(白) (56) 配管用炭素鋼管(白) (57) 配管用炭素鋼管(白) (58) 配管用炭素鋼管(白) (59) 配管用炭素鋼管(白) (60) 配管用炭素鋼管(白) (61) 配管用炭素鋼管(白) (62) 配管用炭素鋼管(白) (63) 配管用炭素鋼管(白) (64) 配管用炭素鋼管(白) (65) 配管用炭素鋼管(白) (66) 配管用炭素鋼管(白) (67) 配管用炭素鋼管(白) (68) 配管用炭素鋼管(白) (69) 配管用炭素鋼管(白) (70) 配管用炭素鋼管(白) (71) 配管用炭素鋼管(白) (72) 配管用炭素鋼管(白) (73) 配管用炭素鋼管(白) (74) 配管用炭素鋼管(白) (75) 配管用炭素鋼管(白) (76) 配管用炭素鋼管(白) (77) 配管用炭素鋼管(白) (78) 配管用炭素鋼管(白) (79) 配管用炭素鋼管(白) (80) 配管用炭素鋼管(白) (81) 配管用炭素鋼管(白) (82)	



樹番号	地盤高 (GL=MH+0)	管底高	樹深さ	樹記号	差
①	±0	510	510	45YS 100-150	塩ビ
②	±0	560	560	90Y 100-150	既存樹を取替え

防火上主要な間仕切[令114条1項]: 下地—木製 W120 両面: 石膏板-t=12.5+9.5 (小屋裏まで施工のこと)

[H12告示 第1358号] 45分準耐火
設備配管、配線貫通部分: 耐火被覆
空隙部(端部、天井面共): ガラスウール充填

汚水樹リスト

樹番号	地盤高 (GL=MH+0)	管底高	樹深さ	樹記号	差
①	±0	510	510	45YS 100-150	塩ビ
②	±0	560	560	90Y 100-150	塩ビ 既存樹を取替え

雨水樹リスト

樹番号	地盤高 (GL=MH+0)	管底高	樹深さ	樹記号	差
①	±0	300	300	45L 100-150	塩ビ
②	±0	370	370	90LX 100-150	塩ビ
③	±0	470	470	90Y 100-150	塩ビ

器具表

名称	参考品番	仕様	男子トイレ	女子トイレ	事務室	合計
洋風大便器	CS597BCS	防露式手洗なし密結形ロータンク 温水洗浄暖房便座(フタ付)(TCF5514)	1	1		2
棚付二連紙巻器	YH701		1	1		2
壁掛手洗器	LSSL870BSR	自閉式単水栓 排水金具 床給水止水栓	1	1		2
流し台	L=1500	右シンク 吊戸棚 電気温水器13L内蔵 ステンレス水切り棚			1	1

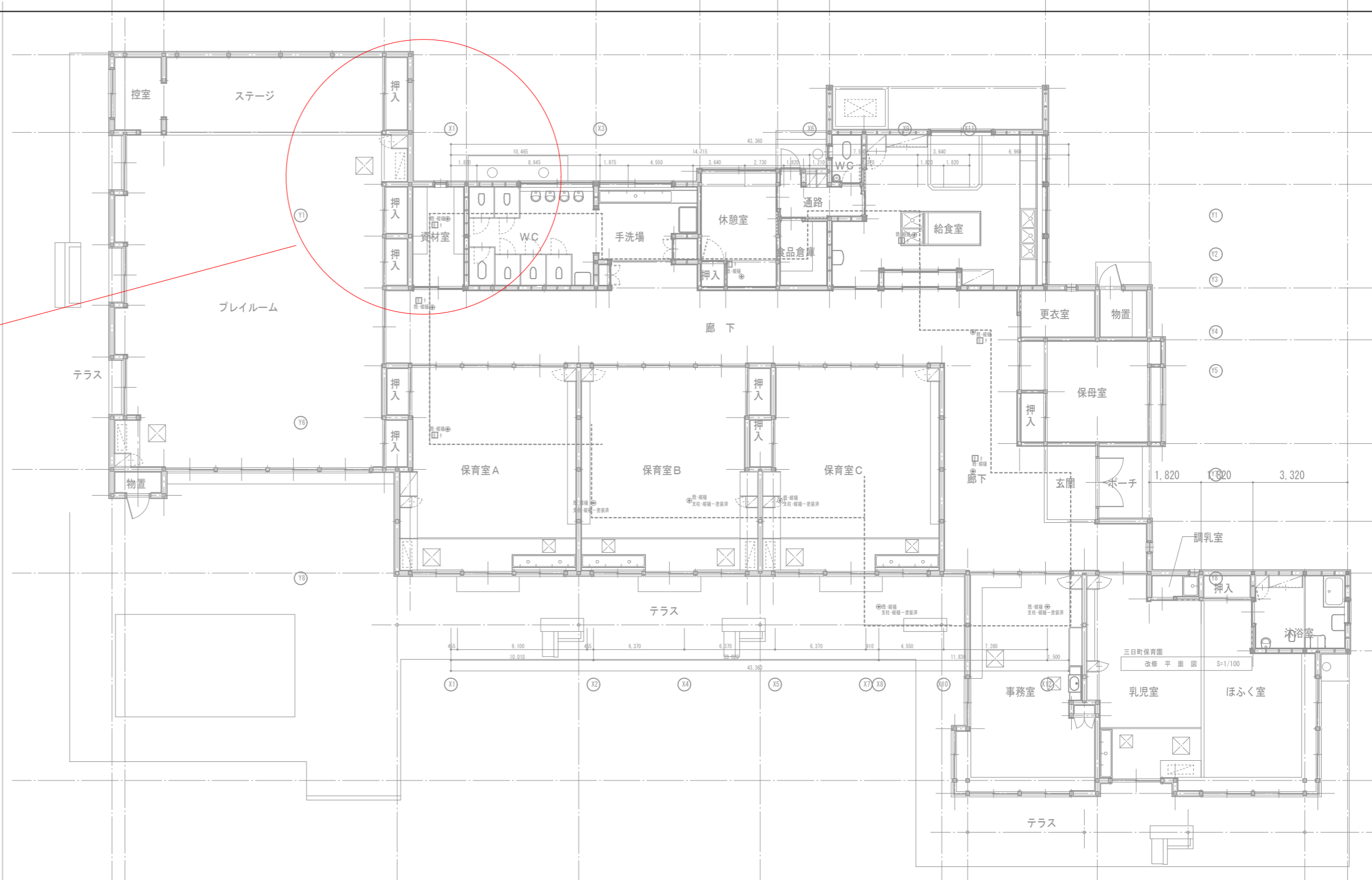
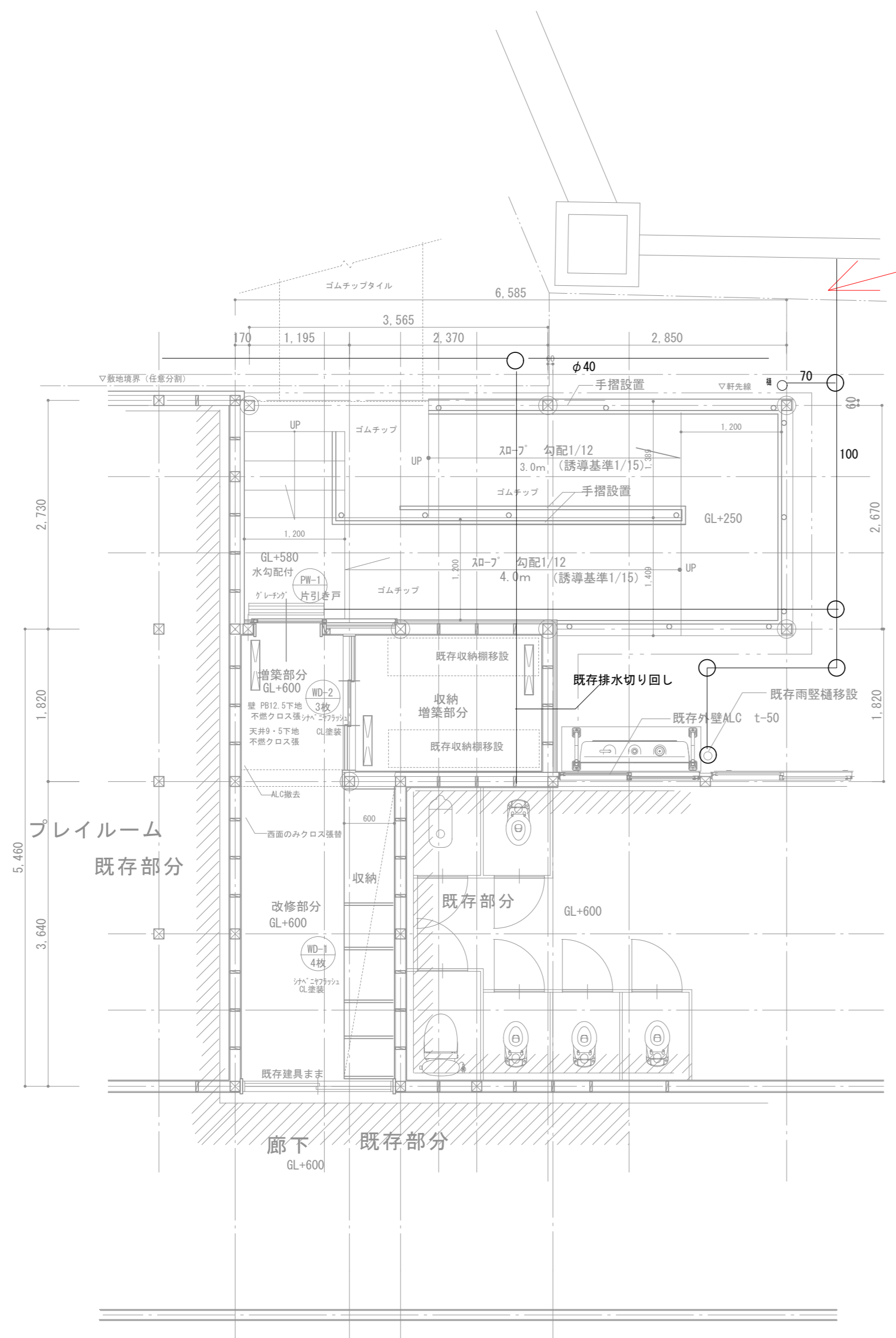


浸透枳
150φ塩ビ蓋
浸透槽
(500 x 500 x 500H)
x 4ヶ所

機器表

記号	機器名称	形式	仕様	電気容量 (60HZ)		台数	設置場所	備考	
				φ	V				
RAC-1	空冷ヒートポンプ ルームエアコン (寒冷地仕様)	MSZ-KXV5622 (壁掛)	冷房能力: 標準 5.6kW	1	100	3.955 kW	圧縮機	1	事務室
			暖房能力: 標準 6.7kW				FAN(外)		
			付属品: ワイヤレスリモコン				FAN(内)		
RAC-2	空冷ヒートポンプ ルームエアコン (寒冷地仕様)	MSZ-KXV2822 (壁掛)	冷房能力: 標準 2.8kW	1	100	1.98 kW	圧縮機	2	個別療養相談室 小集団活動室
			暖房能力: 標準 4.0kW				FAN(外)		
			付属品: ワイヤレスリモコン				FAN(内)		
RAC-3	空冷ヒートポンプ ルームエアコン (寒冷地仕様)	MSZ-NXV6322S (壁掛)	冷房能力: 標準 6.3kW	1	200	3.955 kW	消費電力	1	
			暖房能力: 標準 7.1kW						
			付属品: ワイヤレスリモコン						
			冷媒: R32 φ6.35/φ9.52						

防火上主要な間仕切[令114条1項]: 下地一木製 W120 両面: 石膏板 t=12.5+9.5 (小屋裏まで施工のこと)
[H12告示 第1358号] 45分準耐火
設備配管、配線貫通部分: 耐火被覆
空隙部(端部、天井面共): グラスファイバー充填



既存全体平面図 S=1:300

平面図S=1:50

改修部分床面積	3.64*1.82	6.625m ²
増築部分床面積	1.82*3.735	6.797m ²
増築部分建築面積	24.775m ²	外部への高い開放性を有し、通行の用途のみ